

# (仮称)山梨県国中消防共同指令センター一整備工事

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-00	表紙・図面リスト	—	A-20	改修後展開図 (1)	1/50	E-01	特記仕様書	—	M-01	特記仕様書	—
A-01	特記仕様書1	—	A-21	改修後展開図 (2)	1/50	E-02	凡例	—	M-02	配置図	1/200
A-02	特記仕様書2	—	A-22	改修後展開図 (3)	1/50	E-03	分電盤結線図 照明器具姿図	—	M-03	衛生設備 器具表	—
A-03	特記仕様書3	—	A-23	改修後展開図 (4)	1/50	E-04	拡声・電気錠機器姿図	—	M-04	衛生設備 改修前3階平面図	1/50
A-04	特記仕様書4	—	A-24	2階天井伏図	1/50	E-05	幹線設備 屋外平面図	1/100	M-05	衛生設備 改修前屋上平面図	1/50
A-05	特記仕様書5	—	A-25	改修前キープラン	1/50	E-06	幹線設備 屋上平面図	1/50	M-06	衛生設備 改修後3階平面図	1/50
A-06	特記仕様書6	—	A-26	改修後キープラン	1/50	E-07	電灯設備 3階平面図	1/50	M-07	衛生設備 改修後屋上平面図	1/50
A-07	特記仕様書7	—	A-27	建具表 (1)	1/30	E-08	非常照明・誘導灯設備 3階平面図	1/50	M-08	冷暖房設備 機器表	—
A-08	案内図・配置図	1/200	A-28	建具表 (2)	1/30	E-09	コンセント設備 3階平面図	1/50	M-09	冷暖房設備 改修前3階平面図	1/50
A-09	仕上表	—	A-29	建具表 (3)	1/30	E-10	空調室内機電源設備 3階平面図	1/50	M-10	冷暖房設備 改修前屋上平面図	1/50
A-10	改修前3階平面図	1/50	A-30	建具表 (4)	1/30	E-11	放送設備 3階平面図	1/50	M-11	冷暖房設備 改修後3階平面図	1/50
A-11	改修後3階平面図	1/50	A-31	建具表 (5)	1/30	E-12	自動火災報知設備 3階平面図	1/50	M-12	冷暖房設備 改修後屋上平面図	1/50
A-12	改修前3階天井伏図	1/50	A-32	建具表 (6)	1/30	E-13	撤去 (参考) 設備 3階平面図	1/50	M-13	換気設備 機器表・計算表	—
A-13	改修後3階天井伏図	1/50	A-33	建具表 (7)	1/30	E-14	取外し再取付 2階平面図	1/50	M-14	換気設備 改修前3階平面図	1/50
A-14	改修前水廻り詳細図	1/25	A-34	建具表 (8)	1/30				M-15	換気設備 改修後3階平面図	1/50
A-15	改修後水廻り詳細図	1/25	A-35	部分詳細図	図示						
A-16	改修前展開図 (1)	1/50	A-36	2階仮設計画図	1/50						
A-17	改修前展開図 (2)	1/50	A-37	3階仮設計画図	1/50						
A-18	改修前展開図 (3)	1/50									
A-19	改修前展開図 (4)	1/50									

甲府地区消防本部3階改修工事	設計図	令和 7 年 2 月 (金 祝)

仕様書	
I 工事概要	
1. 工事場所	山梨県甲府市伊勢3丁目8-23
2. 敷地面積	
3. 建物規模	消防署 5階建て R C造一部S造 1階 1065.433㎡ 2階 1074.773㎡ 3階 967.573㎡ PH1 54.641㎡ PH2 18.480㎡ 合計 3180.900㎡
4. 工事内容	3階内装改修工事
5. 工事範囲	

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。  
・「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

工事項目	工事種目	工事内容	備考
② 仮設工事	一式		
3 防水改修工事			
4 外壁改修工事 コンクリート打直し仕上げ外壁			
外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁			
外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁			
外壁改修工事 塗り仕上げ外壁			
⑤ 建具改修工事	一式		
⑥ 内装改修工事	一式		
⑦ 塗装改修工事	一式		
8 耐震改修範囲以外の躯体改修工事			
耐震改修工事			
9 環境配慮改修工事			

## II 建築改修工事仕様

- 共通仕様
  - 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（令和4年版）」による。
  - また、改修工事に関しては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（令和4年版）」による。
  - 工事関係提出書類等については、「工事関係提出書類一覧表（常備課）」（常備課HPに掲載）を熟読し、遺漏の無いように提出すること。（特に留意すべき事項については、特記仕様書に重複して記載している。）
- 特記仕様
  - 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
  - 特記事項は、○印の付いたものを適用する。  
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
○印と◎印の付いた場合は、ともに適用する。
  - 特記事項に記載の〔 . . . 〕内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
  - 特記事項に記載の（ . . . ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
  - 特記事項に記載の（別2 . . . ）は、標仕の「別図2 ポルト間隔等及び溶接継手の間先形状」の該当項目を示す。
  - ☐印は「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律（グリーン購入法）」の特定調達品目を示す。
- 適用基準等
  - 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版）
  - 工事写真ガイドブック（建築工事編及び解体工事編）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成30年版）
  - 建築物解体工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 最新版）

特記事項		R6.4
1	<p>① 電子的納品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「電子的成果品作成要領」による。 （県ホームページ:トップ 県政情報・統計＞入札・公共事業関係＞電子納品＞電子納品要領（常備課）・常備課工事写真撮影要領 参照）</li> <li>完成図（製本版） 一冊（A3縮小版） 注）その他の紙媒体による提出物については、監督職員と協議すること。</li> </ul> <p>② 技能士の活用を積極に図ること。また、施工計画書に技能士の指名・資格証明書を添付すること。 なお、防水工事及び塗装工事については、技能士の活用を必須とする。</p> <p>③ 現場への搬入路は、破壊のないよう留意し、もし破壊した場合は速やかに復旧すること。</p> <p>④ 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に基づき、「山梨県グリーン購入の推進を図るため方針」により定められた次の資料に関しては、同法の判断基準を満たすもの採用に努め、建設機械については原則使用すること。 なお、採用が困難な場合は理由書を添付して報告すること。（コスト、納期、使用部位へ適応性など）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 再生木質ボード（パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板）  陶磁器質タイル、高炉セメント、フライアッシュセメント、再生加熱アスファルト混合物  再生骨材等、小径丸太材（間伐材）、排出ガス対策型建設機械 </div> <p>注）高炉セメント、フライアッシュセメントは鉄筋コンクリート道には使用しない。 注）再生加熱アスファルト混合物は積極的に採用する。（プラントから4.0km以内の現場）</p> <p>次の製品に関しては同法の判断基準を満たすものから選定すること。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 掲示板、黒板、ホワイトボード、カーテン、カーペット </div> </p> <p>⑤ 高炉セメント8種を以下の部位に使用すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ラップルコンクリート</li> <li>捨てコンクリート</li> <li>場所打ちコンクリート杭地盤</li> <li>外構工事等に伴う地中部分のコンクリート工作物</li> </ul> <p>⑥ 環境対策及び再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法を書面等により、明確にすること。 注）建設機械については、排ガス対策型の建設機械の使用を原則とする。</p> <p>⑦ 工事特性・創意工夫・社会性等実施状況について（請負工事費500万円以上） 工事成績評定の対象工事について、請負者は、自ら立案・実施した創意工夫や技術力に関する項目、地域社会への貢献として評価出来る項目に関する事項を、所定の様式により事前に提出することができる。</p> <p>⑧ 工事の着手に先立ち、次の施工計画書を提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書</li> <li>品質計画、一工程の施工の確認及び施工の具体的な計画を定めた工程別の施工計画書 注）軽微な工種など、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合は必要としない。</li> <li>安全対策、使用材料、施工体制（下請け施工者の責任者等）を記載すること。</li> </ul> <p>⑨ 建設副産物実態調査について（請負工事費100万円以上） 請負者は、「再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書」を作成し、総合施工計画書に添付すること。 注）「建設リサイクル報告様式（計画書・実施書）（Excel様式）」の最新版（国土交通省ホームページ）で作成すること。</p> <p>工事完了後は、「再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書」を作成し、完成書類に添付すること。 また、電子データを電子媒体（D、DVD）により監督職員に提出すること。なお、提出に当たっては、事前に「記入内容チェックツール」によるエラーチェックを行うこと。</p> <p>なお、建設副産物情報交換システム（COBRIS）の利用することも可能であり、その場合は電子データの提出は不要とする。 （入力内容については、システム上でチェックした上で、自社で1年間保管しておくこと。）</p> <p>⑩ 暴力的団等からの不当要求及び工事妨害の排除について 請負者は、工事の施工に当たり、暴力的団等からの不当要求及び工事妨害を受けた場合は、その旨を直ちに監督職員に報告するとともに、所轄の警察署に届け出を行い、捜査に必要な協力を行うこと。 この場合において、工程等を変更せざるをえなくなったときは、速やかに監督職員と協議すること。 なお、請負者が不当要求等に関する報告を怠った場合は、「山梨県建設工事に係る指名停止等措置要領」に基づき、指名停止措置を行うこととする。</p> <p>11 地中埋設物について 設計図書を参考に、詳細に現地調査を行うこと。</p> <p>⑫ 居ながら工事について 施設利用者等の安全に十分に配慮すること。 外壁等の吹付工事を行う場合は、十分な飛散防止対策を行うとともに、駐車車両についても車両用ビニールカバーで覆うなどの対策を行うこと。なお、飛散等による苦情及び被害があった場合は、施工者にて誠実に対応すること。</p> <p>⑬ ワンデーレスポンスについて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 ・「ワンデーレスポンス」とは 受注者からの質問、協議等への回答は、基本的に「その日のうち」に指示、通知等を行うよう対応する。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうちに」に通知することである。</li> <li>受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行うこと。</li> <li>受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較調査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。</li> <li>ワンデーレスポンスの実施にあたっては、山梨県ホームページに掲載しているワンデーレスポンス実施の手引き（令和6年4月）に基づき、取り組むものとする。</li> <li>効果・課題等を把握するため、アンケート等のフォローアップ調査を実施する場合がありますため協力すること。</li> </ol> <p>⑭ 主任技術者又は監理技術者の専任について（請負工事費4000万円以上 建築一式は8000万円以上） 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。 なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、請負者に通知した日（「完成検査結果通知書」等における日付）とする。</p> <p>⑮ 低騒音型建設機械の使用について 本工事において、原則「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（昭和62年3月30日建設省経機第58号）」に基づき、低騒音型建設機械を使用する。 なお、低騒音型建設機械については、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程（平成9年建設省告示第1536号最終改正平成20年国土交通省告示第361号）」に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。 また、施工現場において指定機械であることを識別するラベルが確認できるように、建設機械を写真撮影し、監督職員に提出するものとする。</p> <p>⑯ 公共事業労働費調査について 当該工事が公共事業労働費調査の対象工事となった場合には、監督職員の指示によりこれに協力しなければならない。</p> <p>⑰ ゴム製品等について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ゴム製品等の品質確認等 東洋ゴム化工品（株）、ニッタ化工品（株）で製造された製品や材料を用いる場合には、契約時点で同社が製造するゴム製品等に対して受注者が指定した第三者（東洋ゴム化工品（株）、ニッタ化工品（株）と資本面・人面でも関係がない者）によって作成された品質を証明する書類を提出し、監督職員の確認を得るものとする。</li> </ol>	

	<p>なお、必要な品質証明書は、以下の試験および検査において、製品に応じて必要な規格について取得するものとする。</p> <p>(2) ゴム製品等の品質確認をした場合における取扱い 第三者による品質証明書類を提出し監督職員の確認を得た場合であっても、後に製品不良等が判明した場合の受注者の取扱い責任が免責されるものではない。</p> <p>⑱ 連休2日適用工事について 本工事は連休2日適用工事とし、4週8休を見込んでいます。取り扱いについては、令和6年5月1日から適用する「連休2日適用工事実施要領」による。 また、予定価格の算定については、月単位の連休2日の補正係数を乗じて算定する。 対象期間における現場閉鎖の達成状況を確認し、月単位の4週8休に満たない場合は、補正係数を週間の補正係数に変更し、週期の4週8休に満たない場合は、補正係数を除き減額変更を行うものとする。 なお、詳細は令和6年3月2日付け国会契第37号、国営管第589号、国営計第171号、国営建第13号による「常備課工における連休2日促進工事実施要領」の受注者希望方式の精算方法による。</p> <p>⑲ 法定外の労災保険の付保について 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。</p> <p>20 特別監理技術者について（請負工事費8000万円以上3億円未満（JV等除く）） 本工事において、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（以下、「特別監理技術者」という。）の配置を行う場合は以下の(1)～(8)の要件を全て満たさなければならない。 (1) 建設業法第26条第3項ただし書による監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。 (2) 監理技術者補佐は、一級施工管理技士補、又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、特別監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。 (3) 監理技術者補佐は受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。 (4) 同一の特別監理技術者が配置できる工事の数は、本工事を含め同時に2件までとする。（ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に同一性が認められるもの（当初の請負契約以外の請負契約が随時契約により締結される場合に限る。）については、これは複数の工事を一の工事とみなす。） (5) 特別監理技術者が業務できる工事は山梨県内の工事であること。 (6) 特別監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行できること。 (7) 特別監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。 (8) 監理技術者補佐が担う業務等について、書面により明らかにすること。</p> <p>特別監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合、又は配置を要しなくなった場合は適切にコリンズ（CORINS）への登録を行うこと。</p> <p>⑳ 現場環境の整備（快適トイレ）について 本工事は、快適トイレ設置の対象工事とする。実施にあたっては、「建設現場における快適トイレ設置に関する実施要領」に基づき、取り組むものとする。なお、受注者は同要領（実施方法）第4（2）により原則、工事着手前までに工事打合せ簿により発注者へ協議を行い、監督職員の承認を得て実施するものとする。</p> <p>㉑ デジタル工事写真の小黒板情報電子化について デジタル工事写真の小黒板情報電子化は、発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黒板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。 本工事でデジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承認を得たうえでデジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事（以降、「対象工事」と称する）とすることができる。対象工事では、以下の1. から4. の全てを実施することとする。 (1) 対象機器の導入 受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降、「使用機器」と称する）については、山梨県土整備部常備課工事写真撮影要領・同解説（3.工事写真の撮影）に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。 信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL：http://www.cryptrec.go.jp/list.html）に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督員に対し、工事着手前に、本工での使用機器について提示するものとする。 なお、使用機器の事例として、URL（http://www.cals.jaic.or.jp/CIW/sharing/index_digital.html）記載の「デジタル工事写真の小黒板情報電子化対応ソフトウェア」を参照された。ただし、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。 (2) デジタル工事写真における小黒板情報の電子的記入黒板情報を電子画像として同時に記録 受注者は、28-(1)の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黒板情報の電子的記入を行う項目は、山梨県土整備部常備課工事写真撮影要領・同解説「3.工事写真の撮影」による。 ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工程については、使用機器の利用を限定するものではない。 (3) 小黒板情報の電子的記入の取扱い 本工事の工事写真の取扱いは、山梨県土整備部常備課工事写真撮影要領・同解説及び国土交通省大臣官房官庁営繕部常備課工事写真撮影要領に準ずるが28-2に示す小黒板情報の電子的記入については、山梨県土整備部常備課工事写真撮影要領・同解説「4.編集の禁止」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部常備課工事写真撮影要領「4.編集の禁止」で規定されている写真編集には該当しない。 (4) 小黒板情報の電子的記入を行った写真の納品 受注者は、28-(2)に示す小黒板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黒板情報電子化写真」と称する。）を、工事完成時に監督員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者は URL（https://www.joomsia.org/kokuban/）のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。 なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することができる。</p> <p>㉒ 建設現場における遠隔臨場に関する試行工事（受注者希望型） 本工事は、「建設現場における遠隔臨場に関する試行要領」に基づき、遠隔臨場の実施を希望することができる。 受注者は、工事請負契約後に遠隔臨場の利用を希望する場合は、速やかにその旨を協議する工事打合せ簿を監督職員に提出し、承諾を得なければならない。</p>	
--	--	--

24	<p>情報共有システムの活用 本工事は、監督員及び請負者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る「情報共有システム（発注者指定型・基本適用型）」の活用対象工事である。活用にあたっては、「山梨県土整備部常備課情報共有システム試行要領」に基づき実施すること。 請負者は、次の要件を満たす情報共有システムを選定し、監督員の承認を得ること。 なお、別途発注の関連工事がある場合は、別途発注工事請負者と協議の上システムを選定すること。 ＜山梨県土整備部常備課情報共有システム機能仕様書＞ ・監督員及び請負者が利用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、請負者が行うものとする。 ・利用開始日、必要なユーザーID数、ディスク容量等の使用やワークフロー機能の対象者数については、監督員の承認を得た上で決定すること。 ・請負者は、サービス提供者と次の内容を含めた契約を締結するものとする。 ① 情報共有システムに関する障害を適正に処理、解決できる体制を整える旨 ② サービス提供者が善良なる管理者の注意をもってしても防弊し得ない不正アクセス等により、情報漏洩、データ破壊、システム停止等があった場合、速やかに請負者に連絡を行い適正な処置を行う旨 ③ ②の場合において、サービス提供者に重大な管理瑕疵があると監督員若しくは請負者が判断した場合、又は復旧若しくは処理対応が不適切な場合には、請負者はサービス提供者と協議の上情報共有システムの利用を停止することができる旨 ・請負者は、監督員から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等求められる場合、協力しなければならない。</p> <p>25 ウィークリースタンスの実施 本業務は、ウィークリースタンスの対象工事である。実施にあたっては、「山梨県ウィークリースタンス実施要領」に基づき、受発注者相互に協力し、取り組むものとする。</p> <p>26 都市公園内に設置する現場事務所等 都市公園内に現場事務所等を設置する場合は、都市公園法第6条の規定に基づき、公園管理者の許可を受けること。なお、許可を受けた場合は、山梨県都市公園条例第9条の規定により、使用料を支払うものとする。</p> <p>27 建築業許可等を有しない者の報告について 「山梨県暴力団排除条例の施行に伴う、公共工事からの暴力団排除」を目的として、受注者は、下請負契約を締結する場合には、金額・工程の如何にかかわらず、未域の下請負者までを対象に建築業許可等の有無を確認し、許可を有しない者がある場合は、下記について監督員に報告するものとする。 なお、提出は打合せ簿によるものとする。ただし、メールによる提出も可能なものとし、この場合は、後日、打合せ簿を提出するものとする。 1. 会社名 2. 代表者名（ふりがな） 3. 代表者生年月日</p>	
----	--	--

特記事項	変更事項	設計年月：2025.03	工事名称 (仮称)山梨県国中消防共同指令センター整備工事	図面名称 特記仕様書（1）	縮尺 A1：NS A3：NS	図面番号 A-01
		承認 中込 担当 作図				



株式会社 **ディナック** 中日本  
Design Room：山梨県甲府市相生1-5-15-2F  
TEL：0551-220-7400  
山梨県知事登録 第 1-031984 号  
一級建築士 第 217345 号 中込 秀

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Remarks). Rows include ① 一般共通事項, ② 工事実績情報の登録, ③ 施工計画書, 4 法令等の適用区分, 5 電気保安技術者, ⑥ 施工条件, ⑦ 発生材の処理等, ⑧ 環境への配慮, ⑨ 材料の品質等, 10 特別な材料の工法, 11 施工数量調査.

Table with 2 columns: ② 技能士, ③ 化学物質の濃度測定, ④ 設備工事との取合い, ⑤ 設計 G L, ⑥ 足場その他, ⑦ 既存部分の養生, ⑧ 仮設間仕切り, ⑨ 監督職員事務所, ⑩ 工事用水, ⑪ 工事用電力, ⑫ 既存防水層の撤去, ⑬ 防水改修工事, ⑭ 既存下地の処理, ⑮ アスファルト防水.

Table with 2 columns: ⑮ 改質アスファルトシート防水, ⑯ 合成高分子系ルーフィングシート防水, ⑰ 遮膜防水, ⑱ 脱気装置, ⑲ シーリング, ⑳ アルミニウム製窓木. Includes detailed tables for waterproofing methods and window materials.

Table with 2 columns: ⑳ 改質アスファルトシート防水, ㉑ 合成高分子系ルーフィングシート防水, ㉒ 遮膜防水, ㉓ 脱気装置, ㉔ シーリング, ㉕ 鋼管製といの防露巻き, ㉖ ルーフドレン, ㉗ アルミニウム製窓木, ㉘ 折板葺. Includes detailed tables for waterproofing materials and window materials.

Table with 2 columns: ㉙ 外壁改修工事 共通事項, ㉚ 外壁改修工事. Includes detailed tables for exterior wall repair materials and performance standards.

Table with 6 columns: 特記事項, 変更事項, 設計年月 (2025.03), 工事名称 (山梨県中消防共同指令センター整備工事), 図面名称 (特記仕様書(2)), 縮尺 (A1: NS, A3: NS), 図面番号 (A-02).



株式会社ディナック中日本
Design Room: 山梨県甲府市相生1-5-15-2F
TEL: (055) 220-7400
山梨県知事登録 第 1-031984 号
一級建築士 第 217345 号 中込 秀

Table with 2 columns: 設計年月 (2025.03), 工事名称 (山梨県中消防共同指令センター整備工事).

Table with 2 columns: 図面名称 (特記仕様書(2)), 縮尺 (A1: NS, A3: NS), 図面番号 (A-02).



⑤ 建築改修工事	① 木製建具 (建築工事標準仕様書)	かまち戸の樹種 かまち ( ) 鏡板 ( ) (16.7.2)
		ふすまの上張り (表16.7.3)
	① 建具用金物	鍵
		マスターキー ※製作する(既存マスターキーに合わせる) ・製作しない [5.7.4]
	1.2 自動ドア開閉装置	鍵箱
		市販品 [5.7.4]
	形式 ・30組用 ・60組用 ・120組用	
	1.3 自閉式上吊り引戸装置	ドアの種類 センサーの種類
		※スライディングドア 種類 ・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSL-1 ・DSL-2 ・スイングドア 種類 ・SND-1 ・SND-2
	1.4 重量シャッター	※マットスイッチ ※光線(反射)スイッチ
		※音波スイッチ ※電流スイッチ
	1.5 軽量シャッター	※タッチスイッチ
		※押しボタンスイッチ
1.6 オーバーヘッドドア	※ペダルスイッチ	
	※多機能使用スイッチ	
1.7 ガラス	・凍結防止措置(適用箇所は建具表による)	
	材料 ※ SUS304、アルミニウム製等防錆性能を有するもの [5.10.2]	
性能	※ 改修仕様5.8.31による [5.10.3] [表5.10.1]	
	・製造所標準仕様による	
	・製造所標準仕様による	

⑥ 内装改修工事	① 改修範囲	既存開口切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲 [6.1.3]
		※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
	② 既存床の撤去並びに下地補修	天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 [6.1.3]
		※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
	③ 既存壁の撤去並びに下地補修	天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 [6.1.3]
		※既存のまま
	4 木材	ビニルシート等の除去 ※仕上材のみ(接着剤共) [6.2.2]
		・下地モルタル共(※図示の範囲 ・除去範囲すべて)
	③ 既存壁の撤去並びに下地補修	合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目貫し工法 [6.2.2]
		改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 [6.2.2]
	4 木材	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2] [4.4.9]
		※モルタル塗り(塗厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない)
	5 集材等	表面仕上げの程度 ・A種 ※B種 ・C種 [6.5.1] [表6.5.1]
		現場搬入時の木材の含水率 ※A種 ・B種 [6.5.2] [表6.5.3]
6 床張り用合板及びその他の合板	既存処理木材 ・使用する(使用箇所) [6.5.2]	
	構造材及び下地材の品質の基準 ※改修仕様6.5.2(a)(2)(iv)による [6.5.2]	
7 防虫、防蟻処理	造作材の材面の品質の基準 ※A種 ・B種 [6.5.2] [表6.5.4]	
	代用樹脂を使用しない箇所 ( ) [6.5.2] [表6.5.4]	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	集材材及び単板積層材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 [6.5.2]	
	構造用集材材 [6.5.2]	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	施工箇所 品名 強度等級 材面の品質 接着性能 樹種名 寸法(mm)	
	※A種 ・1種 ・使用環境A	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	※B種 ・2種 ・使用環境B	
	※C種 ・3種 ・使用環境C	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	構造用単板積層材 [6.5.2]	
	施工箇所 接着性能 曲げ性能 樹種名 寸法(mm)	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	・使用環境1	
	・使用環境2	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	造作用集材材 [6.5.2]	
	施工箇所 樹種名 見付け材面の品質 寸法(mm)	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	※1等 ・2等	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	化粧ばり造作用集材材 [6.5.2]	
	施工箇所 心材の樹種名 化粧薄板の樹種名 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 寸法(mm)	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	※1等 ・2等	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	単板積層材 [6.5.2]	
	施工箇所 表面の品質 防虫処理 寸法(mm)	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	※天然化粧加工	
	・する	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	・塗装加工	
	・しない	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	・化粧加工しない	
	(・1等・2等・3等)	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	合板のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 [6.5.2]	
	普通合板 [6.5.2] [6.13.2]	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	施工箇所 厚さ(mm) 表板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 その他の処理	
	(床) ・5.5	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	・3.0	
	・1類	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	・ラワン	
	・しな	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	構造用合板 [6.5.2]	
	施工箇所 厚さ(mm) 表板の樹種名 接着の程度 等級 板面の品質 防虫処理	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	(床) 12.0	
	・特類	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	※1類	
	・しない	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	天然化粧合板 [6.13.2]	
	施工箇所 厚さ(mm) 化粧板の樹種名 接着の程度 防虫処理 その他の処理	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	(壁、天井) ・3.2	
	・なら	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	※4.2	
	・しおじ	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	・1類	
	・2類	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	特殊加工化粧合板 [6.13.2]	
	施工箇所 厚さ(mm) 化粧加工の方法 表面性能 加工面 接着の程度 防虫処理 その他の処理	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	(壁、天井) ※4.0	
	・オーバーレイ	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	・プリント	
	・塗装	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	防虫処理 ※行う(※改修仕様6.5.2(h)(3)による) ・図示) [6.5.5]	
	防蟻防虫処理 ・行う(※図示) [6.5.5]	
⑥ 床張り用合板及びその他の合板	防虫、防蟻防虫処理剤の種類及び品質 [6.5.5]	
	表面処理用木材保存剤(防虫・防蟻剤)は監督職員の承諾のものとする。	

⑦ 接着剤 (内装改修工事全般)	[6.5.2] [6.5.4] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.5.6] [6.13.2] [6.14.2] [6.16.3]
	壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂(以下「ユリア樹脂等」という)又はホルムアルデヒド系防腐剤を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量
	※規格対象外 ・第三種
	※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。
	⑧ 軽量鉄骨天井下地 [6.6.2] [表6.6.1]
	野縁等の種類 屋外(・19形 ※25形) 屋内(※19形 ・25形) [6.6.2] [表6.6.1]
	既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない [6.6.4]
	あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う ・行わない [6.6.4]
	屋外の軒天井、ビロティ天井等 [6.6.3.4]
	野縁受、吊りボルト、インサートの間隔及び周辺部からの距離 ※図示
	野縁の間隔 ※図示
	耐風圧性を考慮した補強 ※図示
	天井下地材における耐震性を考慮した補強 [6.6.4]
	・行う(補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示)
⑧ 軽量鉄骨天井下地 [6.7.3] [表6.7.1]	
スタッド、ランナーの種類 ※改修仕様表6.7.1による) ・図示 [6.7.3] [表6.7.1]	
スタッドの高さが5mを超える場合 ※ 図示 [表6.7.1]	
⑧ 軽量石膏壁下地 [6.8.2]	
ビニル床シート及びビニル床タイルの特殊機能 [6.8.2]	
帯電防止 ・帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満	
又は体積電気抵抗値(JIS A 1454)1×10 <sup>10</sup> ~1×10 <sup>12</sup> Ω程度	
耐動荷重 JIS A 1454による、へこみ試験、残留へこみ試験、滑り試験、摩耗性試験、層間かく離強度試験(発泡層のあるビニル床シートのみ)及びキャスター性試験等の試験後、異常がないこと	
⑧ 軽量石膏壁下地 [6.8.2]	
種類 記号 施工箇所 色柄 厚さ(mm) 特殊機能	
※発泡層のないもの ※NC ※無地 ※2.5	
・発泡層のあるもの ※マーブル柄 ※耐動荷重	
・ ※耐動荷重	
・ ※耐動荷重	
・ ※耐動荷重	
⑧ 軽量石膏壁下地 [6.8.3]	
工法 ※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所: ) [6.8.3]	
⑧ 軽量石膏壁下地 [6.8.2]	
種類 記号 施工箇所 色柄 寸法(mm) 厚さ(mm) 特殊機能	
・コシジヨシヨシ CT ※無地 ・300×300 ※2.0	
・ビニ床タイル(半硬質) ※納物 ・450×450	
・コシジヨシヨシ CTS ※無地 ・300×300 ※2.0	
・ビニ床タイル(軟質) ・450×450	
・特シニ床タイル HT ※無地 ・300×300 ※2.0	
・置敷きビニ床タイル HTL ※無地 ・500×500	
・ ※耐動荷重	
⑧ 軽量石膏壁下地 [6.8.2]	
ビニル幅木 材質 ※軟質 ・硬質 [6.8.2]	
高さ(mm) ※60 ・75 ・100	
厚さ(mm) ※1.5	
⑧ 軽量石膏壁下地 [6.8.2]	
ゴム床タイル 色柄 ( ) [6.8.2]	
厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0	
寸法 ( )	
⑧ 軽量石膏壁下地 [6.9.2] [表6.9.1]	
種別 バイル形状 織り方 色柄等 帯電性 備考	
・A種 ・おひしき ・ウレタンカーペット ※無地 ※人体帯電圧3kV以下	
・B種 ・ループバイル ・タフタフカーペット ・納物 (標準品)	
・C種 ・おしき併用 ・タフタフカーペット	
下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm	
⑧ 軽量石膏壁下地 [6.9.3] [表6.9.2]	
タフテッドカーペット バイル形状 バイル長さ(mm) 工法 帯電性 備考	
・カットバイル ※5~7 ※全面接着工法 ※人体帯電圧3kV以下	
・ループバイル ※4~6 ・グリッパー工法	
・レベルループバイル ※4	
・カット、ループ併用	
下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm	
⑧ 軽量石膏壁下地 [6.9.3]	
ニードルパンチカーペット 厚さ(mm) 帯電性 ※人体帯電圧3kV以下 [6.9.3]	
備考	
⑧ 軽量石膏壁下地 [6.9.3.4]	
タイルカーペット 種類 寸法(mm) 総厚さ(mm) 帯電性 備考	
※ループバイル ※第一種 ※500×500 ※6.5 ※人体帯電圧3kV以下(70~77kHz)	
・カットバイル ※第二種	
・カット、ループ併用	
タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し	
階段部分 ※模様流し ・市松敷き	
⑧ 軽量石膏壁下地 [6.9.3]	
見切り、押え金物 ・適用する(材質、形状等 ※図示) ( ) [6.9.3]	
⑧ 軽量石膏壁下地 [6.10.2] [表6.10.1~8]	
種別 施工箇所 仕上げの種類	
・弾性ウレタン樹脂系塗床材 ※平滑仕上げ	
・エポキシ樹脂系塗床材 ※平滑仕上げ(※平滑 ・防汚)	
・厚膜流し層仕上げ(※平滑 ・防汚)	
・樹脂モルタル仕上げ(※平滑 ・防汚)	
・防汚仕上げ	
⑧ 軽量石膏壁下地 [6.10.2]	
ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 [6.10.2]	
※規制対象外 ・第三種	

1.4 フローリング張り	単層フローリング [6.11.2~7] [表6.11.1,3]
	種類 樹種 厚さ(mm) 大きさ(mm) 繊維材 工法
	・フローリングボード 種大張用 ※なら ※15 幅 ※75
	直張用 ※なら ※15 長さ 400以上
	※合成樹脂発泡シート
	・フローリングブロック 直張用 ※なら ※15 ※303×303
	・モザイクパケット 直張用 ・なら ・8
	※合成樹脂発泡シート
	・接着工法
	単層フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種
	天然化粧合板フローリング [6.11.2,3,5,6] [表6.11.2,4]
	種類 樹種 種別又は大きさ(mm) 防蟻処理 工法
	・複合1種 種大張用 ※なら ・A種 15以上
	・複合2種 ・B種 12以上
・複合3種 直張用 ※C種 12以上	
厚さ 12以上	
幅 75以上	
長さ 900以上	
※合成樹脂発泡シート	
・接着工法	
複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種	
⑧ 軽量石膏壁下地 [6.11.6]	
仕上げ塗装 ・塗装品 ( ) [6.11.6]	
・無塗装品(・塗装する 施工箇所: )	
種類 ※ウレタン樹脂ワックス塗り	
・オールドステインのラウワックス塗り	
・生地のままワックス塗り	
⑧ 軽量石膏壁下地 [6.12.2] [表6.12.1]	
下地の種類 量の種別	
・改修仕様 表6.5.9による床組 ※B種	
・ポリスチレンフォーム床下地 ※C種	
量表及び量床はVOC含有量が少ないものとする	
⑧ 軽量石膏壁下地 [6.13.2] [表6.13.1]	
種類 JISの記号 厚さ(mm)、規格等	
○せつこうボード GB-R ○J-5(準不燃) ※12.5(不燃) ・15.0(不燃)	
・シーリングせつこうボード GB-S 12.5(不燃)	
・強化せつこうボード GB-F 12.5(不燃) ・15.0(不燃)	
・せつこうラスボード GB-L 9.5	
・化粧せつこうボード(木目) GB-D 12.5(不燃) 幅440mm程度	
模様(※経目 ・板目) 専用下地材付き	
・不燃積層せつこうボード GB-NC 9.5(不燃) ・化粧なし(下地張り用)	
・化粧あり(トラバーチン模様)	
・けい酸カルシウム板 0.8FK 1.0FK タイプ2(無石綿)	
・6 ・8	
・ロックウール化粧吸音板 DR ※75×75(※9(不燃) ・12( ))	
※凹凸バツ(※12(不燃) ・15 ・19( ))	
・ロックウール吸音ボード1号 RW-B ・25	
・グラスウール吸音ボード2号32K GW-B ・25(ガラスクロス包)	
・硬質毛セメント板 GW HW ・15 ・20 ・25	
・普通毛セメント板 NH ・15 ・20 ・25	
・硬質毛セメント板 HF ・12 ・15 ・18 ・21	
・普通毛片セメント板 NF ・30	
・単板張りパーティクルボード [6.13.2] [表6.13.1]	
・無研磨板(VN) ・研磨板(VS)	
・10 ・12 ・15 ・18	
・化粧パーティクルボード [6.13.2] [表6.13.1]	
・単板オーバーレイ(DV)	
・フタフタオーバーレイ(DO) ・塗装(DC)	
・10(難燃) ・12(難燃)	
・メディアムデンシティファイバーボード [6.13.2] [表6.13.1]	
MDF ・無地MF(RS)	
・化粧MDF(・DV ・DO ・DC)	
・3 ・7 ・9 ・12	
・ハードボード(素地) [6.13.2] [表6.13.1]	
HB ・未研磨板(RN) ・研磨板(RS)	
・2.5 ・3.5 ・5 ・7	
・ハードボード(化粧) [6.13.2] [表6.13.1]	
HB ・内装用化粧(DI) ・外装用化粧(DE)	
・2.5 ・3.5 ・5 ・7	
・インシュレーションボード [6.13.2] [表6.13.1]	
IB A級二次加工品	
(・天井仕上 ・内装仕上)	
・9 ・12 ・15 ・18	
○メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903による 厚さ1.2	
⑧ 軽量石膏壁下地 [6.13.2]	
パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2]	
※規制対象外 ・第三種	
⑧ 軽量石膏壁下地 [6.13.3]	
軽量鉄骨下地ボード造骨壁の遮音シール材 [6.13.3]	
※適用する ・適用しない	
合板類の厚付け ・A種 ※B種 [6.13.3] [表6.13.3]	
⑧ 軽量石膏壁下地 [6.14.2]	
壁紙の種類 防火性能 備考	
施工箇所 紙 繊維 フラフク その他(化学繊維) 無機質	
女子仮眠室 ・ ・ ・ ・ ・不燃・準不燃・難燃	
・ ・ ・ ・ ・不燃・準不燃・難燃	
・ ・ ・ ・ ・不燃・準不燃・難燃	
・ ・ ・ ・ ・不燃・準不燃・難燃	
・ ・ ・ ・ ・不燃・準不燃・難燃	
・ ・ ・ ・ ・不燃・準不燃・難燃	
⑧ 軽量石膏壁下地 [6.14.2]	
壁紙のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 [6.14.2]	
素地ごしらえ [6.14.3] [表7.2.4] [表7.2.5] [表7.2.7]	
モルタル面、プラスター面 ・A種 ※B種(施工箇所: )	
コンクリート面 ・A種 ※B種(施工箇所: )	
せつこうボード面 ・A種 ・B種(施工箇所: )	

特記事項	変更事項	図面名称	縮尺	図面番号
		特記仕様書(4)	A1 : NS A3 : NS	A-04
				
<b>株式会社 ディナック 中 日 本</b> Design Room : 山梨県甲府市相生1-5-15-2F TEL : (055) 220-7400 山梨県知事登録 第1-031984号 一般建築士 第217345号 中込 秀				
設計年月 : 2025.03 工事名称 (仮称)山梨県国中消防共同指令センター整備工事		図面名称 特記仕様書(4)		
承認	中込	担当	作図	

⑥ 内装改修工事
③ モルタル塗り
防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）
防水剤の種類は建築用のモルタルに用いるセメント防水剤とする。（JIS A 1404による試験）
混合割合 遅延時間 曲げ及び圧縮強度比 吸水比 透水性
セメント重量の5%以下 JIS R 5201の試験8において 70%以上 95%以下 80%以下 (294.0kPaの水圧を1時間かける)

2.9 黒板及びホワイトボード
① 表示
① ブラインド
③ フリーアクセスフロア
③ プラインドボックス及びカテナボックス
③ 天井点検口
③ 床点検口
③ 防煙垂れ壁
③ トイレブース
③ 階段滑り止め
③ 階段手すり

(20.2.9)
種類 寸法(mm) 色彩 備考
・黒板 ※焼付け ※緑・黒 ※平面・曲面・スクリーン付引分
・ホワイトボード ※ほうろう ※白 ※平面・曲面・スクリーン付引分
(20.2.11)
区分 材質 寸法(mm) 厚さ(mm) 取付け高さ 書体
・衝突防止表示 ※ステンレス製 ※30φ ※市販品 ※図示
(・画面・片面) ※図示
① 窓名札 ※亚克力板 ※図示 ※5 ※図示
① デクトグラフ
① 扉番号
・階数表示
・建物案内板 ※亚克力板 ※図示 ※5 ※図示
・各階案内板
案内用記号はJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とする。
① 既存再使用する(養生方法: ) [2.3.1] [5.1.6]
① 新設する [20.2.14]
形式 種類 スラットの材質 スラットの幅(mm) 施工箇所
① 縦形 ※ギヤ式 ・コード式 ※アルミニウム合金製 ※25
・操作棒式
・縦形 ・1本操作コード ・アルミスラット ・80
※2本操作コード ・クロスラット ・100
(20.2.15)
材質 操作方式 遮光性能 寸法(mm) 施工箇所 備考
※ポリエステル ・電動式 ・1級 ・図示
・綿 ・スプリング式 ・2級
・チェーン式 ・3級
(20.2.16)
・既存再使用する(養生方法: ) [2.3.1] [5.1.6]
・新設する [20.2.16]
形式 開閉操作 ひだの種類 施工箇所 備考
・シングル ・片引き ・電動 ・フランスひだ
・ダブル ・引分け ・ひも引き ・箱ひだ・つまひだ
・手引き ・ブレンひだ・片ひだ
(20.2.17)
・既存再使用する(養生方法: ) [2.3.1] [5.1.6]
・新設する [20.2.14]
材質 ※アルミニウム製 ・ステンレス製
形式 ・片引き ・引分け(※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)
形状 ・C形 ・D形 ・I形
① 既存再使用する(養生方法: ) [2.3.1] [5.1.6]
・新設する
・市販品(アルミニウム製 押出材)
溝幅×深さ(mm) ・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80
表面処理 ※B-1 ・B-2(※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
・図示
材質 寸法 形式 外枠 内枠
※アルミニウム製 ・450×450 ①一般形 ・屋内外用 ①鋸縁タイプ ①鋸縁タイプ
・600×600 ①室内用 ・目地タイプ ・目地タイプ
・密閉形
(20.2.24)
・固定式
材質 厚さ(mm) 高さ(mm) 備考
※鋼入り磨き板ガラス ※6.8 ※500 アルミ製枠付き
・練入り磨き板ガラス
・可動式
種類 材質 高さ(mm) 備考
・垂直降下式(巻取り型) ※不燃布(不燃認定品) ※500 ・800 ガイドレール ※固定式(壁埋込み型) ・可動式(天井収納型)
・回転降下式 鋼板製又はアルミ製 ※500 ・800 表面仕上げ ※天井張り
降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置(埋込み型)
(19.2.2)
施工箇所 種類 寸法(mm) 厚さ(mm)
屋内 ※塩化ビニル製 ※300×300 ※7.0
・レジンコンクリート製 ※300×300
・磁器又はせっ器質タイル ※300×300
屋外 ※レジンコンクリート製 300×300 ※3.0
・磁器又はせっ器質タイル 300×300
ブロックパターンはJIS T 9251による。

4.0 くつきマット
4.1 流し台ユニット
4.2 洗面カウンター
③ 収納家具
4.4 鋼製書架及び物品棚
4.5 屋内掲示板

材質 受栓 備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・ステンレス鋼(SUS304)
・硬質アルミニウム合金製 ・硬質アルミニウム合金
・ステンレス鋼(SUS304)製
種類 寸法(L=mm) 適用内容 規格・品質等
・流し台 ※1200・1500・1800 トラップ付き ※優良住宅部品
・コンロ台 ※600・700 バックガード ※あり (セクショナルキッチン1型)
・扉戸棚 ※1200・900・600 ※市販品
・水切棚 ※1200・900 ステンレス製 ※1段式 ※市販品
材質 ・メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) ・人工大理石
奥行(mm) ・約450 ・約600
材質 形状・寸法 ※図示
合板、集成材、MDF、パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 ・非放散
種類 規格等 耐荷重による種類
・鋼製書架 JIS S 10391による ・1種 ・2種 ・3種
・鋼製物品棚 ・4種 ・5種 ・6種
枠の材質 ※アルミニウム製
表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り

⑦ 塗装改修工事
① 材料
② 下地調整
③ 養生ごしらえ
④ 錆止め塗料塗り
⑤ 塗装

⑦ 塗装改修工事
① 材料
② 下地調整
③ 養生ごしらえ
④ 錆止め塗料塗り
⑤ 塗装
⑥ 屋根用高反射率塗料
屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
・防火材料
・屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・次の箇所を除き防火材料とする(箇所: )
塗替えでR/B種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す
種類 [7.2.2~] [表7.2.1~]
下地面等 種類 ひび割れ部の補修
木部 不透明塗料塗りの場合 ・RA種 ※RB種 ・RC種
透明塗りの場合 ・RA種 ※RB種 ・RC種
鉄鋼面 不透明塗料塗りの場合 ・RA種 ※RB種 ・RC種
重詰め塗料 塗膜の剥離
モルタル面及びせっこうプaster面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 ・行う
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 ・行う
コンクリート面(DP以外)の場合 ・RA種 ※RB種 ・RC種 ・行う
押出成形セメント板面 ・RA種 ※RB種 ・RC種
せっこうボード面及びその他ボード面 ・RA種 ※RB種 ・RC種
種類 [7.3.2~] [表7.3.1~]
下地面等 種類
木部 不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種
透明塗りの場合 ・A種 ※B種
鉄鋼面 耐候性塗料塗りの場合 ・A種 ※B種 ・C種
上記以外の場合 ・A種 ・B種 ※C種
重詰め塗料 塗膜の剥離
モルタル面及びせっこうプaster面 ・A種 ※B種
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面 ・A種 ※B種
コンクリート面(DP以外)の場合 ※A種 ・B種
押出成形セメント板面 ・A種 ※B種
せっこうボード面及びその他ボード面 目地:継目処理工法 ※A種 ・B種
目地:継目処理工法以外 ・A種 ※B種
種類 [7.3.3.4] [表7.3.1~3]
下地面等 錆止め塗料の種類 工程の種類
SOP 新規 見え隠れ部 A種 ※A種 ・B種 ・C種
塗替え 見え隠れ部 ・A種 ※B種 ・C種
鉄鋼面 新規 1回目 C種 ※A種 ・B種 ・C種
2.3回目 D種
塗替え RA種 RB種 RC種 E種 ・A種 ※B種 ・C種
・A種 ・B種 ※C種
EP-G 新規 見え隠れ部 B種 ※A種 ・B種 ・C種
塗替え 見え隠れ部 ・A種 ※B種 ・C種
SOP 新規 鋼製建具等 ※A種 ・B種 ※A種 ・B種 ・C種
その他 ・A種 ※B種 ・A種 ※B種 ・C種
塗替え ※A種 ・B種 ・A種 ※B種 ※C種
DP 鋼製建具等 B種 改修仕様 表7.4.6
その他 ・A種 ※B種 ・C種
EP-G 新規 鋼製建具等 ※A種 ・B種 ・C種
塗替え その他 ・A種 ※B種 ・A種 ※B種 ※C種
種類 [7.5.1~7.13.2] [表7.5.1~7.13.1]
塗装 塗替えの種類 新規の種類
・合成樹脂顔料ペイント塗り(SOP) 木部 ※A種 ※B種 ・C種 ※A種(屋外) ※B種(屋内)
鉄鋼面 ・A種 ※B種 ・C種 ・A種 ※B種
重詰め塗料 鋼製建具 鋼製建具 ※A種 ・B種 ・C種 ※B種
その他 ・A種 ※B種 ・C種
・クリヤラッカー塗り(CL) ・A種 ※B種 ・A種 ※B種
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD) ・A種 ※B種 ・A種 ※B種
① 耐候性塗料塗り(DP) 鉄鋼面 改修仕様 表7.8.1 改修仕様 表7.8.1
重詰め塗料 改修仕様 表7.8.1 改修仕様 表7.8.1
コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・A-1種 ・A-2種 ・A-1種
・B-1種 ・B-2種 ・B-1種
・C-1種 ・C-2種 ・C-1種
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) コンクリート面、モルタル面等 ・A種 ※B種 ・C種 ・A種 ※B種
木部 ・A種 ※B種 ・C種 ※A種
鉄鋼面 ・A種 ※B種 ・C種 ・A種 ※B種
重詰め塗料 ・A種 ※B種 ・C種 ※A種
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ・A種 ※B種 ・A種 ※B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) ・A種 ※B種 ・A種 ※B種
・ステイン塗り ・ビグメントステイン塗り - -
・オイルステイン塗り(OS) - -
・水性鉄部用塗料塗り - -
・木材保護塗料塗り(WP) ・A種 ※B種 -
塗料の種類等
クリヤラッカー塗り(CL) [表7.6.1]
種類がA種の場合における、改修仕様 表7.6.1の工程2の着色
・溶剤形着色剤(溶剤形ステイン)
・油性染料着色剤(オイルステイン)
耐候性塗料塗り(DP) [表7.8.1~7.8.2]
上塗り塗料の等級
鉄鋼面 ・1級( ) ・2級( ) ※3級( )
重詰め塗料 ・1級( ) ・2級( ) ※3級( )
水性鉄部用塗料塗り
水性変性エポキシ樹脂系塗料及び水性鉄部用シリコン系塗料塗り 各2回塗り
ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) [表7.11.1]
改修仕様 表7.11.1の工程1の着色
・適用する
オイルステイン塗り(OS)の仕様 [表7.12.2]
・図示による
⑥ 屋根用高反射率塗料
種類 ※JIS K 5675 (・1種1級 ・1種2級 ・1種3級 ・2種1級 ・2種2級 ・2種3級)
下塗材
上塗材と同一製造所の製品とし、仕様は製造所の指定による

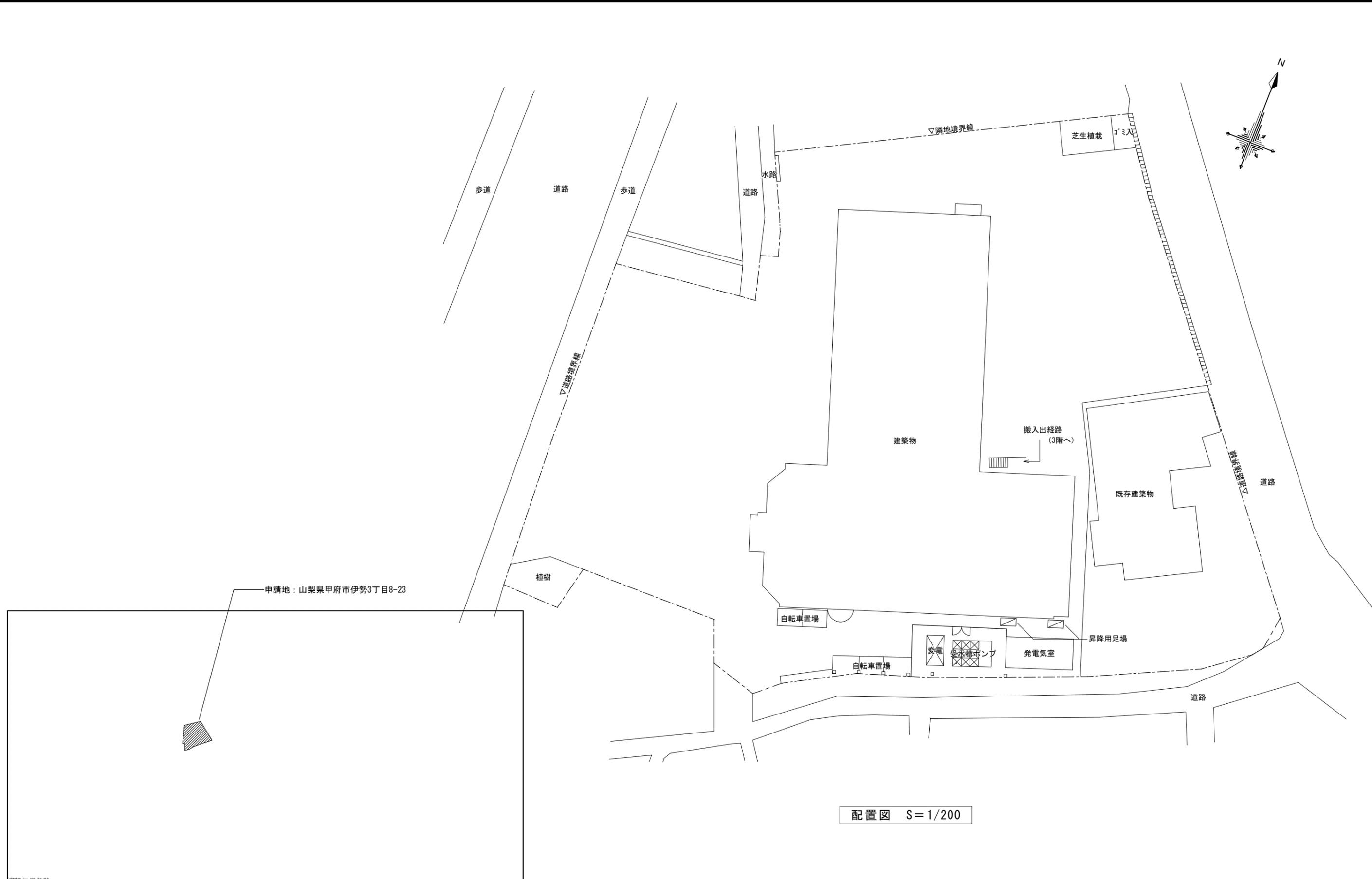
8 耐震改修工事 共通事項	1 適用範囲	工事内容 ・鉄筋コンクリート造骨組 ・鉄筋鉄骨コンクリート造骨組及び鉄骨造骨組の耐震改修工事の鉄筋工事 ・あと施工アンカー工事 ・コンクリート工事 ・鉄骨工事 ・グラウト工事 ・連続繊維補強工事 ・スリット新設工事 ・免震改修工事 ・制震改修工事	8-3 あと施工アンカー工事	1 あと施工アンカー 材料等 ・金属系アンカー セット方式 ※本体打込み式 引張耐力 ※図示 せん断耐力 ※図示 接合部の種類、径、長さ ※図示 性能確認試験 ・実施する(試験方法及び試験数 ※図示) ・実施しない 接着系アンカー アンカーの種類 ※カブセル型 引張耐力 ※図示 せん断耐力 ※図示 接着剤の品質 ※有機系・無機系 アンカー筋の種類 ※改修仕様表8.2.1の異形棒鋼・金ねじボルト 性能確認試験 ・実施する(試験方法及び試験数 ※図示) ・実施しない	6 高い強度のコンクリート 7 断熱材兼用型枠 8 コンクリートの打込み工法等	設計基準強度 設計基準強度Fc (N/mm <sup>2</sup> ) ・27 ・30 ・33 ・36 適用箇所 [8.1.4]	8-5 鉄骨工事	1 3 耐火被覆	種別等 種別 ・耐火材吹付け ・耐火材巻付け ・ラス張りモルタル塗り ・耐火塗料	[8.18.1~8.18.9]
	8-1 撤去工事	1 既存部分の撤去等 撤去範囲 ※図示 既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断 ※図示 はつり出した鉄筋及び鉄骨の処理 ※露出部分は、錆止め塗料塗りを行う	2 穿孔前の埋込み配管等の探査 3 施工確認試験	6 高い強度のコンクリート 7 断熱材兼用型枠 8 コンクリートの打込み工法等	設計基準強度 設計基準強度Fc (N/mm <sup>2</sup> ) ・27 ・30 ・33 ・36 適用箇所 [8.1.4]	8-6 グラウト工事		1 モルタル及びグラウト材	構造体用モルタル ※[8.2.6]による 柱底均しモルタル ※無収縮モルタル グラウト材 ※無収縮グラウト材(セメント、混和材、砂は無収縮モルタルに準ずる) 無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は次による 無収縮モルタルの材料及び割合 混和材 セメント系(酸化カルシウム、カルシウムサルファルミネート等によって調整する性質を利用するもの)とする。 セメント JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通又は早強ポルトランドセメントとする。 砂 (社)土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 配合比 (各重量比) (セメント+混和材):砂=1:1 無収縮モルタルの品質及び試験方法 [表8.2.10] コンシステンシー Jローによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 8±2秒 ブリーディング 練混ぜ2時間後のブリーディング率 2.0%以下 凝結時間 凝結開始時間 1時間以上 終結時間 10時間以内 無収縮性 材齢 7日 収縮しないこと 圧縮強度 材齢 3日 25.0 N/mm <sup>2</sup> 以上 材齢 28日 45.0 N/mm <sup>2</sup> 以上 付着強度 材齢 28日 3.0 N/mm <sup>2</sup> 以上 塩化物量 0.30kg/m <sup>3</sup> 以上 試験方法 (1) 日本道路公団規格JIS 312-1999(無収縮モルタル品質管理試験方法)による。 (2) 塩化物量は、JIS A 5308(レディーミクストコンクリート)の9.6塩化物含有量の試験方法による。	
8-2 鉄筋工事	1 鉄筋	鉄筋の種類 種類の記号 呼び名 (mm) ・SD295A ※D16以下 ・SD345 ※D19以下 ・	2 コンクリートの品質	9 鉄骨製作工場 1 鉄骨製作工場 鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨センター又は(社)全国鋼構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める( )グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・監督員による承認する工場	設計基準強度 設計基準強度Fc (N/mm <sup>2</sup> ) ・36 適用箇所	8-7 連続繊維補強工事	1 連続繊維補強工法	連続繊維補強工法 ・「連続繊維補強材を用いた既存鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計・施工指針」(財)日本建築防協会発行)の第4章[補強工事の施工]による工法又は同等の性能を有する工法 ・(財)日本建築防協会からの評価を受けた工法	[8.2.1]	
	2 溶接金網	網目の形状、寸法等 網目の形状、寸法(縦×横)(mm) 鉄筋の径又は呼び名(mm) 規格 ※100×100 ※6.0 JIS G 35511による	3 コンクリートの材料	10 溶接金網 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※鉄骨溶接基準図による 適用箇所 ※柱、梁、プレスのフランジ端部の完全溶込み溶接部 ※図示( )	設計基準強度 設計基準強度Fc (N/mm <sup>2</sup> ) ・36 適用箇所	8-7 連続繊維補強工事	2 連続繊維シート	連続繊維の材料 炭素繊維 ・アラミド繊維 ・ガラス繊維 連続繊維の材質 引張強度(含浸硬化後) ・( ) N/mm ヤング係数(含浸硬化後) ・( ) N/mm 繊維目付質量 ・( ) g/m <sup>2</sup> シート厚さ ・( ) mm シート張り方向 ※図示 定着方法 ※図示 含浸接着剤 ・低臭型 プライマー ・低臭型 断面修復材 下地調整剤	[8.24.5] [8.24.6]	
8-2 鉄筋工事	3 鉄筋の継手及び定着	継手の長さ ※鉄筋の重ね継手の長さは、建築基準法施行令第73条による。(図示) 鉄筋の定着長さ ※鉄筋の定着長さは、建築基準法施行令第73条による。(図示)	4 コンクリートの調合強度	11 スタッド 鋼材の材質等 種類の記号 適用箇所 規格等 ※JISによる ※JISによる ※JISによる ※JISによる	設計基準強度 設計基準強度Fc (N/mm <sup>2</sup> ) ・36 適用箇所	12 錆止め塗装	耐火被覆材の接着する面の塗装 ・行う(※JIS K 5622 ・) ※行わない	[8.17.3]		
	4 鉄筋のかぶり厚さ	鉄筋の重ね継手の長さ ※鉄筋の重ね継手の長さは、建築基準法施行令第73条による。(図示) 鉄筋の定着長さ ※鉄筋の定着長さは、建築基準法施行令第73条による。(図示)	5 無筋コンクリート	12 錆止め塗装 耐火被覆材の接着する面の塗装 ・行う(※JIS K 5622 ・) ※行わない	設計基準強度 設計基準強度Fc (N/mm <sup>2</sup> ) ・36 適用箇所					
8-2 鉄筋工事	5 壁の配筋	壁配筋の重ね継手の長さ ※壁配筋の重ね継手の長さは、建築基準法施行令第73条による。(図示)	5 無筋コンクリート	12 錆止め塗装 耐火被覆材の接着する面の塗装 ・行う(※JIS K 5622 ・) ※行わない	設計基準強度 設計基準強度Fc (N/mm <sup>2</sup> ) ・36 適用箇所					
8-2 鉄筋工事	6 壁開口部の補強	耐震壁の開口部補強 ※図示								
8-2 鉄筋工事	7 ガス圧接	圧接部の確認試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験								
8-2 鉄筋工事	8 既存構造物との取合い	割裂補強筋 種類 材料 材質 径 本数ピッチ等 適用箇所 ※スパイラル筋 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 ※SR235 ・ ※φ6 ( ) ※φ9 ( ) ※φ15のD+ナシ (mm) ( )								
8-2 鉄筋工事		・はしご筋 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋) ※SD295A ・ ・ D10 壁面内方向筋 ( ) 壁面外方向筋 ( )								
特記事項										

8-8	耐震スリット新設工事	1 スリットの施工	<p>既存撤去部の配管等の調査 ※鉄筋探査機（金属探知機）により調査し、鉄筋、配管類の位置に差し出しを行う ・はつり出しによる</p> <p>スリットの幅及び深さ ※図示</p>	[8.25.1] [8.25.1]																																																																																			
		9 環境配慮改修工事	<p>1 石綿含有建材の除去工事</p> <p>分析による石綿含有の調査 ・行う（採取箇所 ※図示）</p> <p>調査方法</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>調査方法（1材料当たりの試料数）</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析（※3） ・ 定量分析（-3）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析（※3） ・ 定量分析（-3）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析（※3） ・ 定量分析（-3）</td> </tr> </table> <p>※行わない（受注者による調査の結果、分析調査が必要となった場合は、分析を行うこと。その場合、事前に監督員と協議すること。）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>分析方法 ※JIS A 1481（建材製品中のアスベスト含有率測定方法）による 分析結果については、監督職員に報告すること 報告書の様式 ・（社）日本作業環境測定協会発行「石綿分析結果報告書」</p> </div> <p>石綿粉じん濃度測定 行う（測定箇所 ※図示） 測定時期、場所及び測定点数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定箇所</th> <th>測定点数 (各処理作業室ごと)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>測定1</td> <td></td> <td>処理作業室内</td> <td>各（ ）点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定2</td> <td>処理作業前</td> <td>施工区画周辺 又は敷地境界</td> <td>計2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定3</td> <td></td> <td>処理作業室内</td> <td>各（ ）点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定4</td> <td></td> <td>セキュリティゾーン 入口</td> <td>各1点</td> <td>空気の流れを確認</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定5</td> <td>処理作業中</td> <td>負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>各1点</td> <td>除じん装置の性能確認</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定6</td> <td></td> <td>施工区画周辺 又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定7</td> <td>処理作業後 (隔離シート 撤去前)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各（ ）点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定8</td> <td></td> <td>施工区画周辺 又は敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 施工区画とは、処理作業室、セキュリティゾーン、廃棄物置場、資材置場等を含む本処理室に直接又は間接的に係る区画、施工区画周辺とは、その区画境界の前後1m以内の範囲をいう。 (2) 処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、監督職員と協議する。</p> <p>測定方法 JIS K 3850-1（空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び定電電子顕微鏡法）による。</p> <p>種類 ※位相差顕微鏡法 試料採取フィルターを工分割し、一方を位相差顕微鏡法として使用し、他方はその結果が高い場合（10本/L以上）を行う位相差・分散顕微鏡法用に保存しておく。 ・位相差、分散顕微鏡法</p> <p>測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定3 (作業環境)</th> <th>測定1, 4, 5, 7 (室内環境)</th> <th>測定2, 6, 8 (大気環境)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メンブレンフィルターの直径 (mm)</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量 (L/分)</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間 (分)</td> <td>5</td> <td>120</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>計数視野数</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>定量限界 (本/L)</td> <td>50</td> <td>0.5</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定記録項目 (1) 除去する石綿含有建材の種類 (2) 測定点の位置の図面 (3) 測定日時、天候、気流 (4) 試料採取条件 (5) 標本作製方法 (6) 使用顕微鏡の種類（開口数を含む） (7) 計数条件（HSEテストスライドの読取りグループ番号を含む） (8) 繊維数濃度（位相差顕微鏡法の場合は総繊維数濃度、位相差・分散顕微鏡法の場合は石綿繊維数濃度） (9) 定量限界 (10) その他</p> <p>石綿含有吹付け材の除去（レベル1） ・ 行う [9.1.3] 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※改修標仕9.1.3 (2) (7) (a)~(b)による 除去した石綿含有吹付け材等の処理 ※密封処理（二重袋梱包） ・セメント固化 除去対象範囲 ※図示 作業場の隔離 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>石綿含有保温材等の除去（レベル2） ・ 行う [9.1.4] 除去対象範囲 ※図示</p> <p>石綿含有成形板の除去（レベル3） ・ 行う [9.1.5]</p> <p>石綿含有仕上塗材の除去 ・ 行う [9.1.6] ・ 湿式集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 ・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 以下の条件を全て満たした上で、湿潤化及び隔離養生（負任不要）と同等以上の粉じん飛散防止</p>	材料名	調査方法（1材料当たりの試料数）		※定性分析（※3） ・ 定量分析（-3）		※定性分析（※3） ・ 定量分析（-3）		※定性分析（※3） ・ 定量分析（-3）	適用	測定名称	測定時期	測定箇所	測定点数 (各処理作業室ごと)	備考	・	測定1		処理作業室内	各（ ）点		・	測定2	処理作業前	施工区画周辺 又は敷地境界	計2点		・	測定3		処理作業室内	各（ ）点		・	測定4		セキュリティゾーン 入口	各1点	空気の流れを確認	・	測定5	処理作業中	負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各1点	除じん装置の性能確認	・	測定6		施工区画周辺 又は敷地境界	4方向各1点		・	測定7	処理作業後 (隔離シート 撤去前)	処理作業室内	各（ ）点		・	測定8		施工区画周辺 又は敷地境界	4方向各1点			測定3 (作業環境)	測定1, 4, 5, 7 (室内環境)	測定2, 6, 8 (大気環境)	メンブレンフィルターの直径 (mm)	25	25	47	試料の吸引流量 (L/分)	1	5	10	試料の吸引時間 (分)	5	120	240	計数視野数	50	50	50	定量限界 (本/L)	50
材料名	調査方法（1材料当たりの試料数）																																																																																						
	※定性分析（※3） ・ 定量分析（-3）																																																																																						
	※定性分析（※3） ・ 定量分析（-3）																																																																																						
	※定性分析（※3） ・ 定量分析（-3）																																																																																						
適用	測定名称	測定時期	測定箇所	測定点数 (各処理作業室ごと)	備考																																																																																		
・	測定1		処理作業室内	各（ ）点																																																																																			
・	測定2	処理作業前	施工区画周辺 又は敷地境界	計2点																																																																																			
・	測定3		処理作業室内	各（ ）点																																																																																			
・	測定4		セキュリティゾーン 入口	各1点	空気の流れを確認																																																																																		
・	測定5	処理作業中	負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各1点	除じん装置の性能確認																																																																																		
・	測定6		施工区画周辺 又は敷地境界	4方向各1点																																																																																			
・	測定7	処理作業後 (隔離シート 撤去前)	処理作業室内	各（ ）点																																																																																			
・	測定8		施工区画周辺 又は敷地境界	4方向各1点																																																																																			
	測定3 (作業環境)	測定1, 4, 5, 7 (室内環境)	測定2, 6, 8 (大気環境)																																																																																				
メンブレンフィルターの直径 (mm)	25	25	47																																																																																				
試料の吸引流量 (L/分)	1	5	10																																																																																				
試料の吸引時間 (分)	5	120	240																																																																																				
計数視野数	50	50	50																																																																																				
定量限界 (本/L)	50	0.5	0.3																																																																																				

2 外断熱改修工事	<p>断熱材の種類 [9.2.1]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>発泡剤の種類</th> <th>ホルムアルデヒド 放出による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td>・ A種 [G]</td> <td>F☆☆☆☆等級</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td>・ A種 [G]</td> <td>F☆☆☆☆等級</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム保温材</td> <td>・ A種 [G]</td> <td>F☆☆☆☆等級</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム保温材</td> <td>・ A種 [G]</td> <td>F☆☆☆☆等級</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール</td> <td>・</td> <td>F☆☆☆☆等級</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ グラスウール</td> <td>・</td> <td>F☆☆☆☆等級</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>外装材の種類 [9.3.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>既存外壁の仕上材の撤去 ・ あり ・ なし [9.2.3] 下地の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様 [9.2.4] 透気層 ・ あり ( mm) ・ なし [9.2.4] 試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。 [9.2.4] 特記なき事項は、製造所の仕様による。</p> <p>断熱材の種類 [9.3.1]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>発泡剤の種類等</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">打込み 工 法</td> <td>・ ビーズ法ポリスチレン フォーム保温材</td> <td>A種 [G]</td> <td>※25 ※一般部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 押出法ポリスチレン フォーム保温材</td> <td rowspan="2">・ 保温板2種b ・ 保温板3種b (スキャン層付き)</td> <td>※25 ・ 接地部分</td> </tr> <tr> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム 保温材</td> <td>※A種 [G]</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">現場発 泡工法</td> <td>・ 吹付け硬質ウレタン フォーム</td> <td>※A種1 [G] ※A種1H</td> <td>難燃性を 有するもの ※15 ・ 一般部 ・</td> </tr> </tbody> </table> <p>植栽基盤及び材料 [9.4.1] [9.4.2] ・ 屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の種類等 ※図示</p> <p>工法 [9.4.3] かん水装置 ・ 設置する（工事区分は図示による） 既存保護層の撤去 ・ 行う</p> <p>路床の構成及び厚さ [9.5.1] ・ 道断層 厚さ (mm) ※150 ・ 凍上抑制層 厚さ (mm) ※150 ・ フィルター層 厚さ (mm) 車道部 ※150 歩道部 ※50</p> <p>路床安定処理 ※添加材料による安定処理 添加材料の種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 [G] ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 ( ) ・ 消石灰 ( ) 添加量 ( ) kg/m<sup>3</sup> (目標ORR ※5以上) ・ ジオテキスタイル 単位面積質量 60g/m<sup>2</sup>以上 厚さ (mm) 0.5~1.0 引張強さ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 1.5×10cm/sec以上</p> <p>盛土の種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]</p> <p>道断層及び凍上抑制層の材料 ・ 道断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 厚さは図示 ・ 凍上抑制層 ※再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込砂利 ・ 砂 厚さは図示</p> <p>発生土の処理 ※構外搬出適切処理 ・ 構内指定場所に敷均し ・ 構内指定場所に堆積 ・ 構内指定場所に処分（搬出調査等を監督職員に提出する）</p> <p>路床土の支持力比 (ORR) 試験 ※行う ・ 行わない 路床の軟固度試験 ※行う ・ 行わない 砂の粒度試験 ※行う ・ 行わない</p> <p>路盤材料 ・ 再生クラッシュラン [G] ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] [9.5.4]</p>	種類	発泡剤の種類	ホルムアルデヒド 放出による区分	厚さ (mm)	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・ A種 [G]	F☆☆☆☆等級	・	・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材	・ A種 [G]	F☆☆☆☆等級	・	・ 硬質ウレタンフォーム保温材	・ A種 [G]	F☆☆☆☆等級	・	・ フェノールフォーム保温材	・ A種 [G]	F☆☆☆☆等級	・	・ ロックウール	・	F☆☆☆☆等級	・	・ グラスウール	・	F☆☆☆☆等級	・	種類	防火性能	・	・	種類	発泡剤の種類等	厚さ (mm)	施工箇所	打込み 工 法	・ ビーズ法ポリスチレン フォーム保温材	A種 [G]	※25 ※一般部	・ 押出法ポリスチレン フォーム保温材	・ 保温板2種b ・ 保温板3種b (スキャン層付き)	※25 ・ 接地部分	・	・ 硬質ウレタンフォーム 保温材	※A種 [G]	・	・	現場発 泡工法	・ 吹付け硬質ウレタン フォーム	※A種1 [G] ※A種1H	難燃性を 有するもの ※15 ・ 一般部 ・
種類	発泡剤の種類	ホルムアルデヒド 放出による区分	厚さ (mm)																																																		
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・ A種 [G]	F☆☆☆☆等級	・																																																		
・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材	・ A種 [G]	F☆☆☆☆等級	・																																																		
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	・ A種 [G]	F☆☆☆☆等級	・																																																		
・ フェノールフォーム保温材	・ A種 [G]	F☆☆☆☆等級	・																																																		
・ ロックウール	・	F☆☆☆☆等級	・																																																		
・ グラスウール	・	F☆☆☆☆等級	・																																																		
種類	防火性能																																																				
・	・																																																				
種類	発泡剤の種類等	厚さ (mm)	施工箇所																																																		
打込み 工 法	・ ビーズ法ポリスチレン フォーム保温材	A種 [G]	※25 ※一般部																																																		
	・ 押出法ポリスチレン フォーム保温材	・ 保温板2種b ・ 保温板3種b (スキャン層付き)	※25 ・ 接地部分																																																		
			・																																																		
・ 硬質ウレタンフォーム 保温材	※A種 [G]	・	・																																																		
現場発 泡工法	・ 吹付け硬質ウレタン フォーム	※A種1 [G] ※A種1H	難燃性を 有するもの ※15 ・ 一般部 ・																																																		

効果があることを個々の現場ごとに示すこと。 集じん装置を備えたカバー付きの工具であること。 集じん装置はHEPA74枚を有し、集じんした石綿等が作業空間その他外部環境に漏出しないこと。 当該集じん装置付き工具の集じん性能として、作業中の作業場所の総繊維濃度が0.15本/cm <sup>3</sup> (作業環境の石綿管理濃度)を下回ることが示されていること。	<p>路盤厚さ (mm) 車道部 ※150 歩道部 ※100 路盤の軟固度試験 ※行う ・ 行わない</p> <p>舗装材料及び厚さ [9.5.5] [9.5.6] 車道部 ※改質アスファルトI型 厚さ (mm) ※50 歩道部 ※ストレートアスファルト 厚さ (mm) ※30</p> <p>透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ※行う ・ 行わない [9.5.9]</p>
--	--

特 記 事 項	変 更 事 項		<p>株式会社 <b>ディナック</b> 中日本 Design Room : 山梨県甲府市相生1-5-15-2F TEL: (055)・220・7400 山梨県知事登録 第 1-031984 号 一級建築士 第 217345 号 中込 秀</p>	<p>設計年月: 2025.03</p> <p>承認 中込 担当 作図</p>	<p>工事名称 (仮称)山梨県国中消防共同指令センター整備工事</p>	<p>図面名称 特記仕様書 (7)</p>	<p>縮尺 A1 : NS A3 : NS</p>	<p>図面番号 A-07</p>
------------------	------------------	---	---	---	---	---------------------------	-----------------------------------	----------------------



配置図 S=1/200

案内図

特記事項	変更事項



株式会社 **ディナック** 中日本  
Design Room: 山梨県甲府市相生1-5-15-2F  
 TEL: (055)-220-7400  
 山梨県知事登録第 1-031984 号  
 一般建築士 第 217345 号 中込 秀

設計年月: 2025.03  
 承認 中込 担当 作図

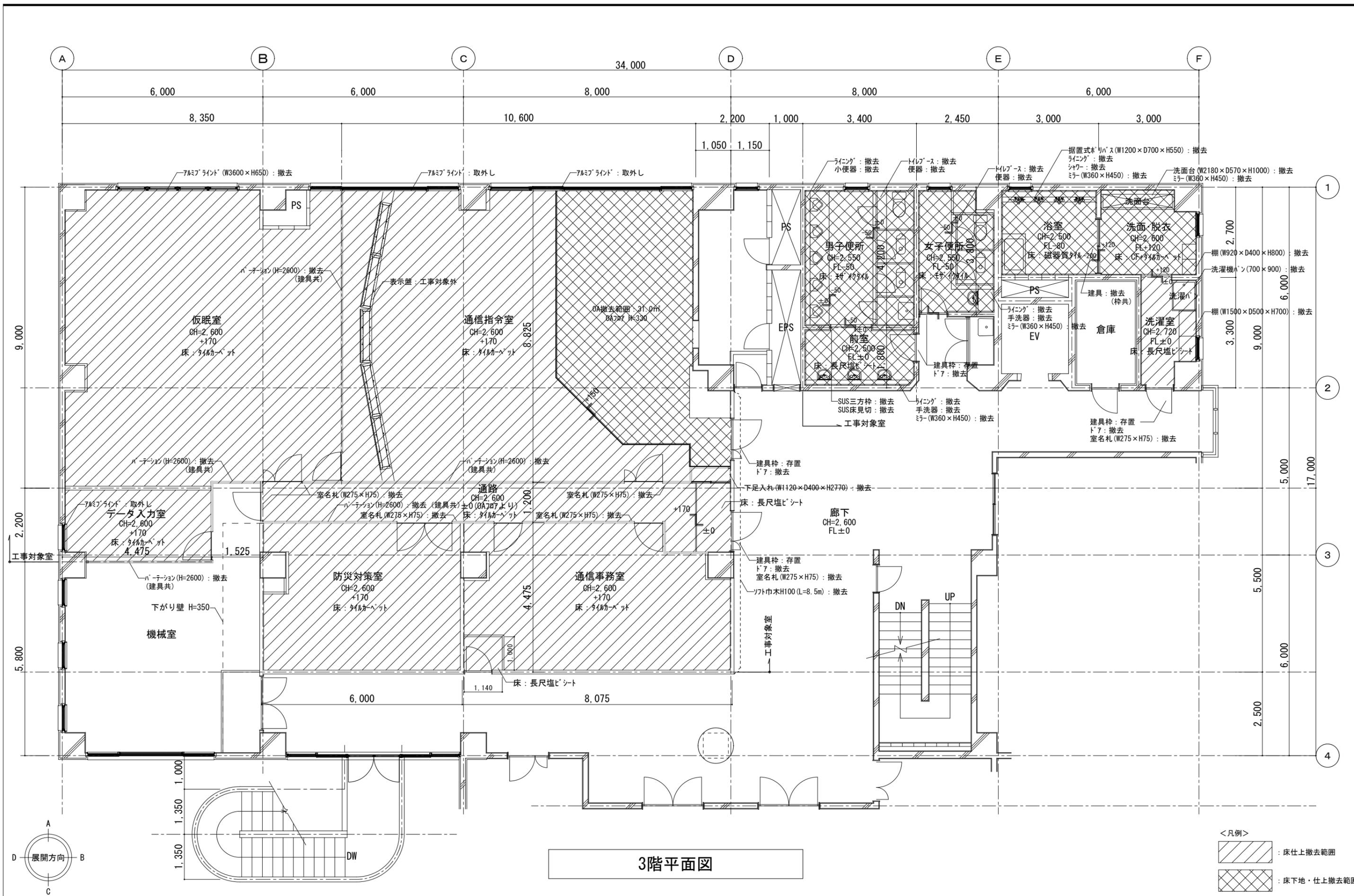
工事名称  
 (仮称)山梨県中消防共同指令センター整備工事

図面名称  
 案内図・配置図

縮尺  
 A1: 1/200  
 A3: 1/400  
 図面番号  
 A-08

内 部 仕 上											
部屋名		床		巾木	壁		廻り縁	天井		CH	備考
通信指令室	現況	下地 仕上	フリーアクセスフロア【存置】/一部フリーアクセスフロア【撤去】 タイルカーペット【撤去】	ソフト巾木 H=100【撤去】	下地 仕上	モルタル【存置】 ソフトタイプ吹付【存置】/パーテーション t=60【撤去】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 石膏ボード t=9.5【撤去】、岩綿吸音板 t=12【撤去】	2,600 (FL+170)	可動式パーテーション W1100×H1500【新設】 下足入れ：既製品 中段付 30人用 ※三島精機 BST5-6HKM同等品【新設】
	改修工事	下地 仕上	既存フリーアクセスフロア/一部フリーアクセスフロア【新設】 タイルカーペット【新設】	ソフト巾木 H=60【新設】	下地 仕上	既存モルタル ソフトタイプ吹付【新設】/パーテーション t=60【新設】	塩ビ製【新設】	下地 仕上	LGS下地【新設】 石膏ボード t=9.5【新設】、岩綿吸音板 t=12【新設】	2,600 (FL+170)	アルミブラインド【再取付】
通路	現況	下地 仕上	フリーアクセスフロア【存置】/モルタル金ゴテ【存置】 タイルカーペット【撤去】/長尺塩ビシート t=2.5【撤去】	ソフト巾木 H=100【撤去】	下地 仕上	— パーテーション t=60【撤去】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 石膏ボード t=9.5【撤去】、岩綿吸音板 t=12【撤去】	2,600 (FL+170)	
	改修工事	下地 仕上			下地 仕上			下地 仕上			
通信事務室	現況	下地 仕上	フリーアクセスフロア【存置】/モルタル金ゴテ【存置】 タイルカーペット【撤去】/長尺塩ビシート t=2.5【撤去】	ソフト巾木 H=100【撤去】	下地 仕上	LGS下地、石膏ボード t=12.5【存置】 ソフトタイプ吹付【存置】/パーテーション t=60【撤去】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 石膏ボード t=9.5【撤去】、岩綿吸音板 t=12【撤去】	2,600 (FL+170)	室名札：SUSフレーム室名札（側面型）×3 ※フジタ FKY81同等品【新設】 可動式パーテーション W1000×H1500【新設】
	改修工事	下地 仕上	既存フリーアクセスフロア/一部フリーアクセスフロア【新設】/既存モルタル金ゴテ タイルカーペット【新設】/長尺塩ビシート t=2.5【新設】	ソフト巾木 H=60【新設】	下地 仕上	既存LGS下地、石膏ボード t=12.5 ソフトタイプ吹付【新規】/パーテーション t=60【新設】	塩ビ製【新設】	下地 仕上	LGS下地【新設】 石膏ボード t=9.5【新設】、岩綿吸音板 t=12【新設】	2,600 (FL+170)	アルミブラインド ※タチカワブラインド シルキーRDS同等品【新設】
防災対策室	現況	下地 仕上	フリーアクセスフロア【存置】 タイルカーペット【撤去】	ソフト巾木 H=100【撤去】	下地 仕上	LGS下地、石膏ボード t=12.5【存置】 ソフトタイプ吹付【存置】/パーテーション t=60【撤去】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 石膏ボード t=9.5【撤去】、岩綿吸音板 t=12【撤去】	2,600 (FL+170)	
	改修工事	下地 仕上			下地 仕上			下地 仕上			
仮眠室 1・2	現況	下地 仕上	フリーアクセスフロア【存置】 タイルカーペット【撤去】	ソフト巾木 H=100【撤去】	下地 仕上	LGS下地、石膏ボード t=12.5【存置】 ソフトタイプ吹付【存置】/パーテーション t=60【撤去】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 石膏ボード t=9.5【撤去】、岩綿吸音板 t=12【撤去】	2,600 (FL+170)	室名札：SUSフレーム室名札（側面型）×1 ※フジタ FKY81同等品【新設】 室名札：SUSフレーム室名札（正面型）×1 ※フジタ FK81同等品【新設】 個室ブース：パーテーション H=2000、建具 W=800【新設】 ブース番号：カッティングシート×9箇所【新設】 仮眠ベッド（既製品）×10、収納ロッカー 鍵付（既製品）×10【新設】 アルミブラインド ※タチカワブラインド シルキーRDS同等品【新設】
	改修工事	下地 仕上	既存フリーアクセスフロア タイルカーペット【新設】	ソフト巾木 H=60【新設】	下地 仕上	既存LGS下地、石膏ボード t=12.5 ソフトタイプ吹付【新規】/パーテーション t=60【新設】	塩ビ製【新設】	下地 仕上	LGS下地【新設】 石膏ボード t=9.5【新設】、岩綿吸音板 t=12【新設】	2,600 (FL+170)	
データ入力室 ↓	現況	下地 仕上	フリーアクセスフロア【存置】 タイルカーペット【撤去】	木製巾木 H=100【撤去】	下地 仕上	LGS下地、石膏ボード t=12.5【存置】 ビニルクロス貼り【撤去】/パーテーション t=60【撤去】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 石膏ボード t=9.5【撤去】、岩綿吸音板 t=12【撤去】	2,600 (FL+170)	室名札：SUSフレーム室名札（正面型）×1 ※フジタ FK81同等品【新設】 仮眠ベッド（既製品）×1、収納ロッカー 鍵付（既製品）×1【新設】
女性仮眠室	改修工事	下地 仕上	既存フリーアクセスフロア タイルカーペット【新設】	木製巾木 H=60【新設】	下地 仕上	LGS下地、石膏ボード t=12.5 ビニルクロス貼り【新設】/パーテーション t=60【新設】	塩ビ製【新設】	下地 仕上	LGS下地【新設】 石膏ボード t=9.5【新設】、岩綿吸音板 t=12【新設】	2,600 (FL+170)	アルミブラインド【再取付】
男子便所	現況	下地 仕上	軽量コンクリート押え t=55【存置】、モルタル t=30【撤去】 モザイクタイル 50角貼り【撤去】	半磁器質タイル 100角【撤去】	下地 仕上	モルタル【存置】/ライニング：GB t=100【撤去】 半磁器質タイル 100角貼り【撤去】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 フレキシブルボード t=6.0 VP【撤去】	2,550 (FL-50)	トイレブース【新設】 SUS三方枠【新設】
	改修工事	下地 仕上	置床下地 H=70、捨張合板 t9.0【新設】 長尺塩ビシート t=2.5【新設】	ソフト巾木 H=60【新設】	下地 仕上	既存モルタル/ライニング：LGS下地、石膏ボード t=12.5【新設】 下地調整の上、ソフトタイプ吹付【新設】/ライニング：メラミン化粧板 t=6【新設】	塩ビ製【新設】	下地 仕上	LGS下地【新設】 フレキシブルボード t=6.0 EP【新設】	2,500 (FL±0)	甲板：メラミン化粧板※アイカ ポストフォームカウンター同等品【新設】 小便器、洋風便器、紙巻器【新設】（機械設備工事）
前室	現況	下地 仕上	モルタル金ゴテ【存置】 長尺塩ビシート t=2.5【撤去】	ソフト巾木 H=90【撤去】	下地 仕上	モルタル金ゴテ【存置】/ライニング：GB t=100【撤去】 ソフトタイプ吹付【存置】/ライニング：半磁器質タイル 100角貼り【撤去】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 フレキシブルボード t=6.0 VP【撤去】	2,500 (FL±0)	甲板：メラミン化粧板※アイカ ポストフォームカウンター同等品【新設】 建具枠：SOP塗装、ドア【新設】 天板：マーブライトカウンター【新設】（機械設備工事）
	改修工事	下地 仕上	既存モルタル金ゴテ 長尺塩ビシート t=2.5【新設】	ソフト巾木 H=60【新設】	下地 仕上	既存モルタル/ライニング：LGS下地、石膏ボード t=12.5【新設】 下地調整の上、ソフトタイプ吹付【新設】/ライニング：メラミン化粧板 t=6【新設】	塩ビ製【新設】	下地 仕上	LGS下地【新設】 フレキシブルボード t=6.0 EP【新設】	2,500 (FL±0)	ミラー【新設】（機械設備工事） 水栓、洗面ボウル【新設】（機械設備工事）
女子便所	現況	下地 仕上	軽量コンクリート押え t=55【存置】、モルタル t=30【撤去】 モザイクタイル 50角貼り【撤去】	半磁器質タイル 100角【撤去】	下地 仕上	モルタル【存置】/ライニング：GB t=100【撤去】 半磁器質タイル 100角貼り【撤去】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 フレキシブルボード t=6.0 VP【撤去】	2,550 (FL-50)	トイレブース【新設】 甲板：メラミン化粧板※アイカ ポストフォームカウンター同等品【新設】 建具枠：SOP塗装、ドア【新設】 天板：マーブライトカウンター【新設】（機械設備工事）
	改修工事	下地 仕上	置床下地 H=70、捨張合板 t9.0【新設】 長尺塩ビシート t=2.5【新設】	ソフト巾木 H=60【新設】	下地 仕上	既存モルタル/ライニング：LGS下地、石膏ボード t=12.5【新設】 下地調整の上、ソフトタイプ吹付【新設】/ライニング：メラミン化粧板 t=6【新設】	塩ビ製【新設】	下地 仕上	LGS下地【新設】 フレキシブルボード t=6.0 EP【新設】	2,500 (FL±0)	ミラー【新設】（機械設備工事） 洋風便器、紙巻器、水栓、洗面ボウル【新設】（機械設備工事）
浴室 ↓	現況	下地 仕上	軽量コンクリート押え t=55【存置】、モルタル t=30【撤去】 磁器質タイル 50角貼り【撤去】	—	下地 仕上	モルタル【存置】 半磁器質タイル 100角貼り【撤去】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 バスリブ【撤去】	2,500 (FL-80)	シャワーユニット 0812【新設】 三方枠（浴室ドア）【新設】
シャワー室	改修工事	下地 仕上	既存モルタル下地調整 シャワーユニット 0812【新設】	—	下地 仕上	既存モルタル下地調整 シャワーユニット 0812【新設】	塩ビ製【新設】	下地 仕上	— シャワーユニット 0812【新設】	—	
洗面・脱衣 ↓	現況	下地 仕上	モルタル金ゴテ【撤去】 GF t=2.3【撤去】、タイルカーペット【撤去】	ソフト巾木 H=100【撤去】	下地 仕上	モルタル金ゴテ【存置】 ソフトタイプ吹付【存置】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 フレキシブルボード t=6.0 VP【撤去】	2,600 (FL+120)	共通事項：可動棚 W1050×D300×5段 ポリ合板フラッシュ ※取付金物一式共【新設】 室名札：SUSフレーム室名札（正面型）×2 ※フジタ FK81同等品【新設】 ドア（建具枠）【新設】
女子脱衣室 男子脱衣室	改修工事	下地 仕上	置床下地 H=110、捨張合板 t9.0【新設】 長尺塩ビシート t=2.5【新設】	ソフト巾木 H=60【新設】	下地 仕上	新規壁部分：LGS下地、石膏ボード t=12.5【新設】 ソフトタイプ吹付【新設】	塩ビ製【新設】	下地 仕上	LGS下地【新設】 フレキシブルボード t=6.0 EP【新設】	2,600 (FL+120)	女子脱衣室：洗面化粧台 W750【新設】（機械設備工事） 男子脱衣室：収納棚 W1030×D400×H1200【新設】
洗濯室 ↓	現況	下地 仕上	モルタル金ゴテ【存置】 長尺塩ビシート t=2.5【撤去】	ソフト巾木 H=100【撤去】	下地 仕上	モルタル金ゴテ【存置】 ソフトタイプ吹付【存置】	塩ビ製【撤去】	下地 仕上	LGS下地【撤去】 フレキシブルボード t=6.0 VP【撤去】	2,720 (FL±0)	室名札：SUSフレーム室名札（側面型）×1 ※フジタ FKY81同等品【新設】 甲板：メラミン化粧板※アイカ ポストフォームカウンター同等品【新設】 天板：マーブライトカウンター【新設】（機械設備工事）
洗面所	改修工事	下地 仕上	既存モルタル金ゴテ 長尺塩ビシート t=2.5【新設】	ソフト巾木 H=60【新設】	下地 仕上	既存モルタル金ゴテ/ライニング：LGS下地、石膏ボード t=12.5【新設】 下地調整の上、ソフトタイプ吹付【新設】/ライニング：メラミン化粧板 t=6【新設】	塩ビ製【新設】	下地 仕上	LGS下地【新設】 フレキシブルボード t=6.0 EP【新設】	2,720 (FL±0)	下部収納：フロントパネル扉式【新設】（機械設備工事） ミラー【新設】（機械設備工事） 水栓、洗面ボウル【新設】（機械設備工事）
廊下	現況	下地 仕上	既存モルタル金ゴテ 長尺塩ビシート t=2.5【存置】	ソフト巾木 H=100【撤去】 （一面のみ）	下地 仕上	LGS下地、石膏ボード t=12.5【存置】 ソフトタイプ吹付【存置】	塩ビ製【撤去】 （天井改修範囲）	下地 仕上	LGS下地【存置】 石膏ボード t=9.5【撤去】、岩綿吸音板リブ付き t=15【撤去】	2,600 (FL±0)	室名札：SUSフレーム室名札（正面型）×1 ※フジタ FK81同等品【新設】
	改修工事	下地 仕上	既存モルタル金ゴテ 長尺塩ビシート t=2.5	ソフト巾木 H=100【新設】 （一面のみ）	下地 仕上	LGS下地、石膏ボード t=12.5【存置】 ソフトタイプ吹付【新設】一面のみ	塩ビ製【新設】 （天井改修範囲）	下地 仕上	LGS下地 石膏ボード t=9.5【撤去】、岩綿吸音板リブ付き t=15【新設】	2,600 (FL±0)	

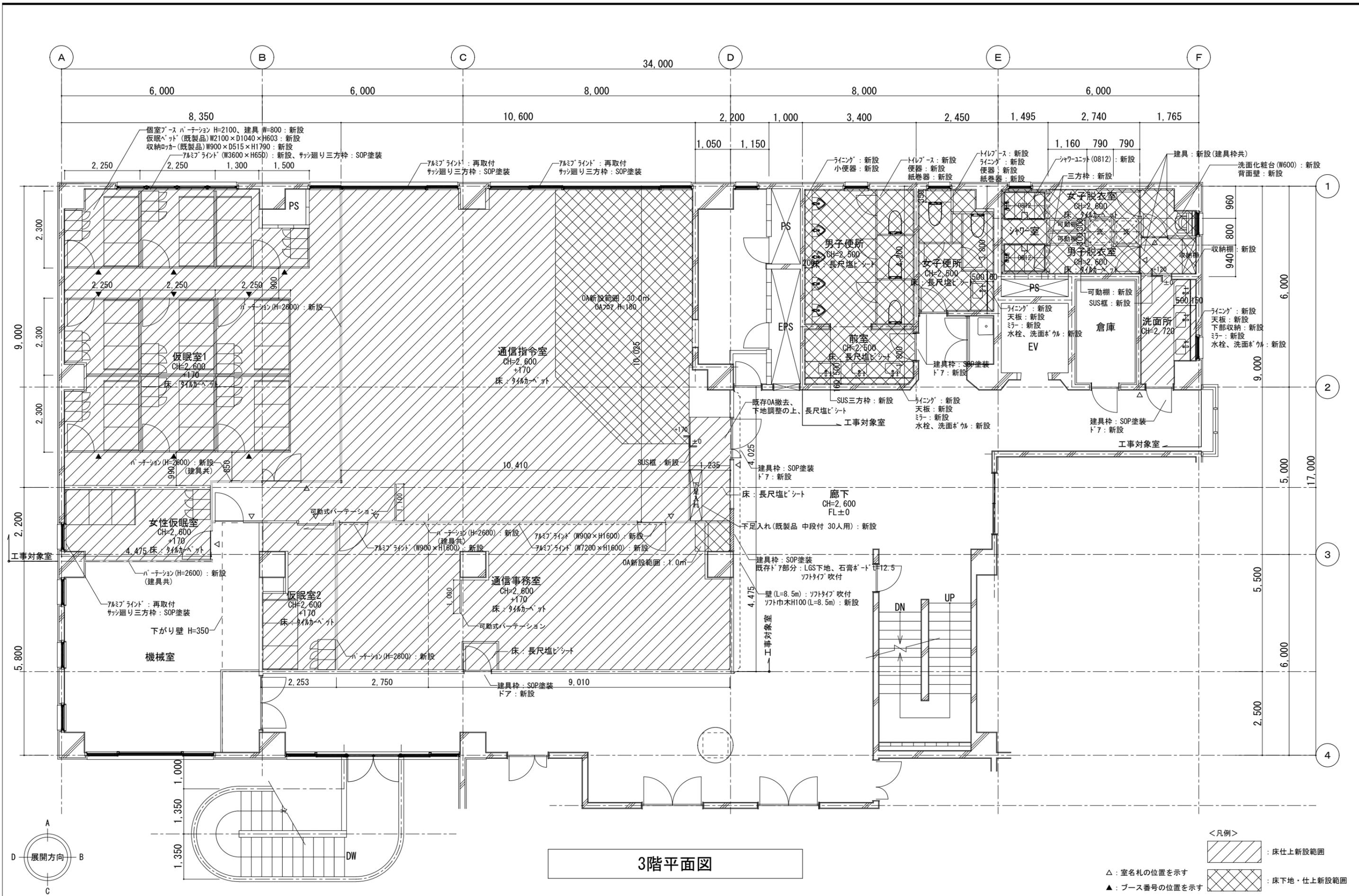
備 考	
<p>【施工数量調査】</p> <p>工事着手後、速やかに施工数量調査を行い、監理者へ報告すること。 設計では下記数量を見込むが、施工数量調査の結果を踏まえ、改修対象数量を協議により決定する。</p> <p>【事前調査による補修概要】</p> <p>クラック補修 (0.2mm未満) : シール工法 可とう性エポキシ樹脂充填工法 クラック補修 (0.2mm以上) : Uカットシーリング工法 可とう性エポキシ樹脂充填工法</p>	<p>◀改修範囲共通工事▶</p> <p>①サッシ廻りクラック補修 ②可動棚設置壁面はコンパネ下地とする。</p>



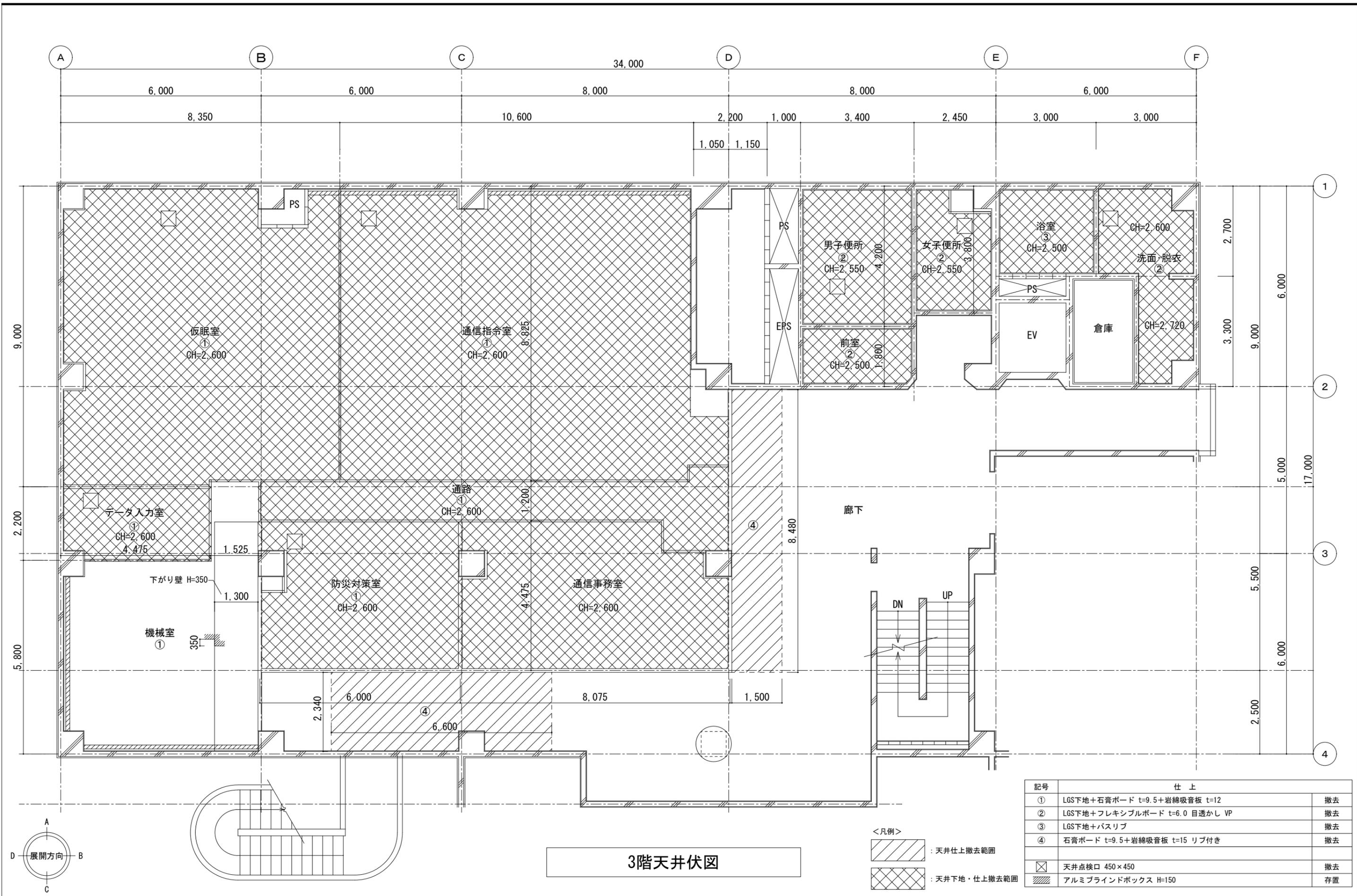
3階平面図

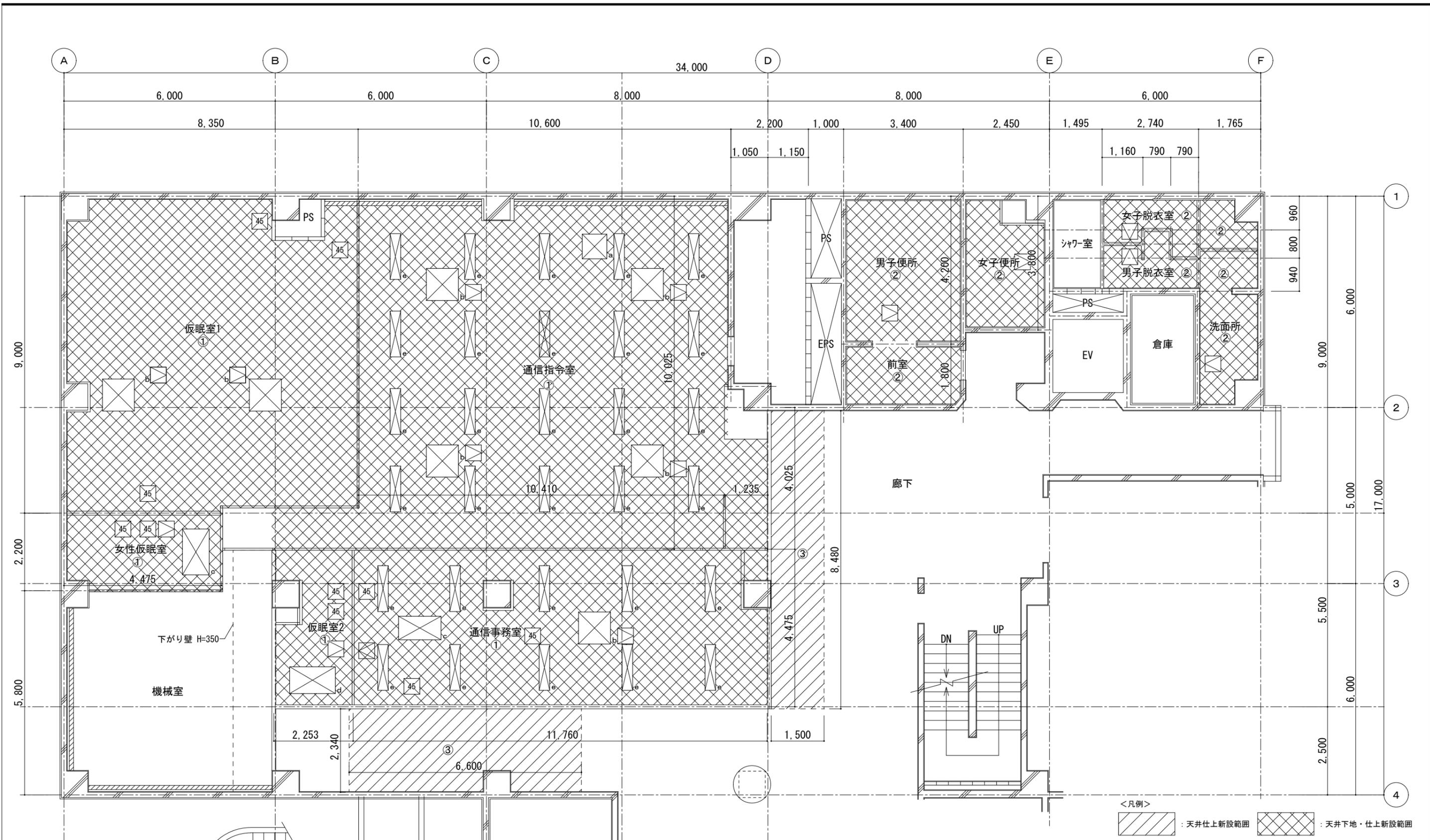
- <凡例>
- 床仕上撤去範囲
  - 床下地・仕上撤去範囲

特記事項	変更事項	<b>株式会社ディナック中日本</b> Design Room: 山梨県甲府市相生1-5-15-2F TEL: (055)-220-7600 山梨県知事登録 第1-031984号 一級建築士 第217345号 中込 秀	設計年月: 2025.03	工事名称 (仮称) 山梨県国中消防共同指令センター整備工事	図面名称 改修前3階平面図	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	図面番号 A-10
	承認		中込	担当	作図		



特記事項	変更事項	DNAC DIGITAL NETWORK AND COMMUNICATION	株式会社ダイナック中日本 Design Room: 山梨県甲府市相生1-5-15-2F TEL: (055)-220-7600 山梨県知事登録第 1-031984 号 一級建築士 第 217345 号 中込 秀	設計年月: 2025.03	工事名称 (仮称) 山梨県国中消防共同指令センター整備工事	図面名称 改修後3階平面図	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	図面番号 A-11
				承認 中込 担当 作図				

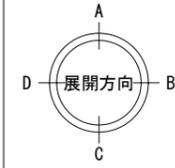


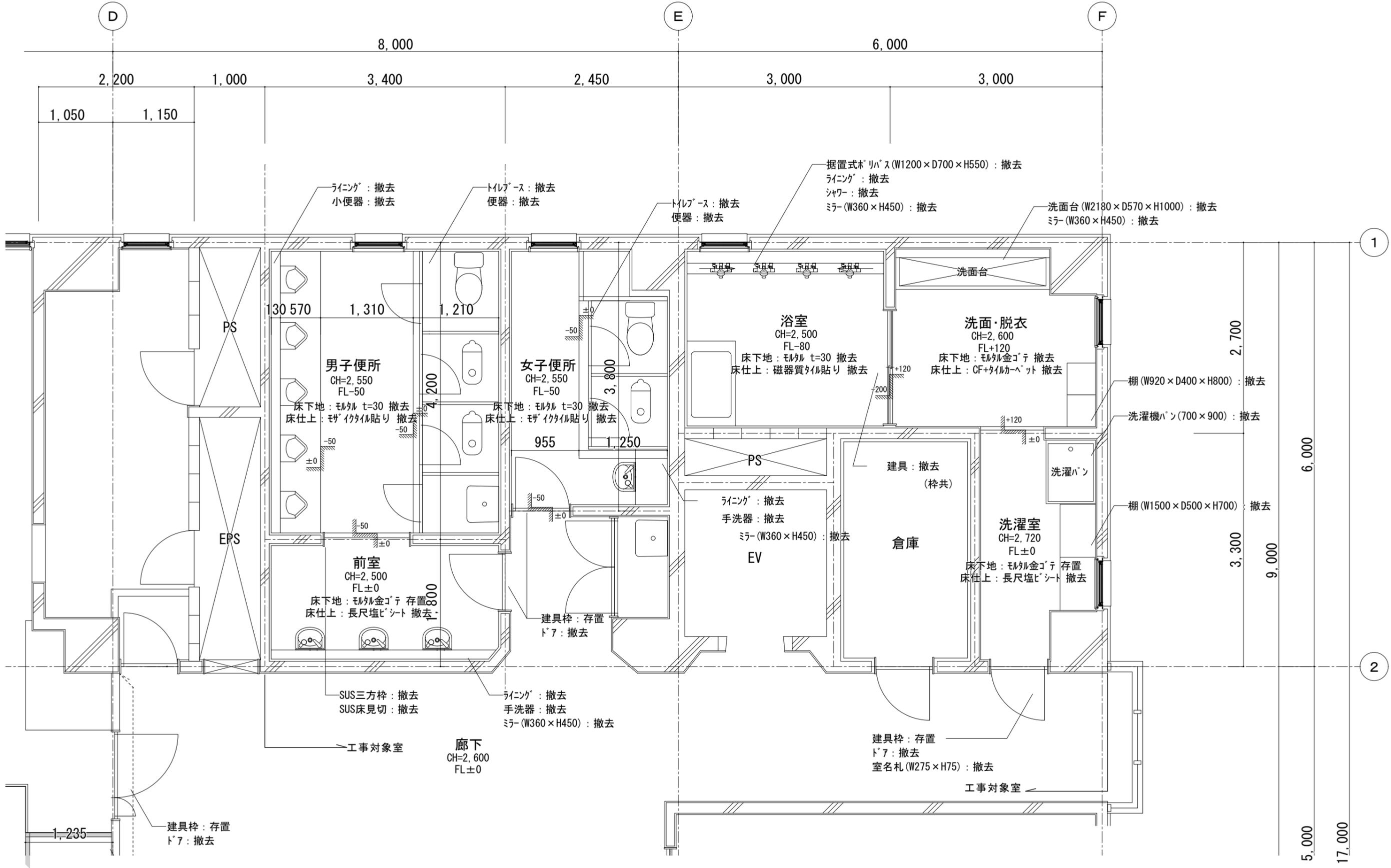


3階天井伏図

<凡例>  
 : 天井仕上新設範囲  
 : 天井下地・仕上新設範囲

記号	仕上	記号	仕上
①	LGS下地+石膏ボード t=9.5+岩綿吸音板 t=12	新設	開口補強 (450×450程度) 10箇所 新設
②	LGS下地+フレキシブルボード t=6.0 目透かし EP	新設	開口補強 (700×700程度) 1箇所 新設
③	石膏ボード t=9.5+岩綿吸音板 t=15 リブ付き	新設	開口補強 (910×910程度) 7箇所 新設
			開口補強 (1210×670程度) 2箇所 新設
	天井点検口 450×450、開口補強共	15箇所 新設	開口補強 (1300×760程度) 1箇所 新設
	アルミブラインドボックス H=150	存置	開口補強 (1300×300程度) 30箇所 新設





特記事項	変更事項



株式会社 **ディナック** 中日本  
Design Room: 山梨県甲府市相生1-5-15-2F  
 TEL: (055) 220-7400  
 山梨県知事登録第 1-031984 号  
 一般建築士 第 217345 号 中込 秀

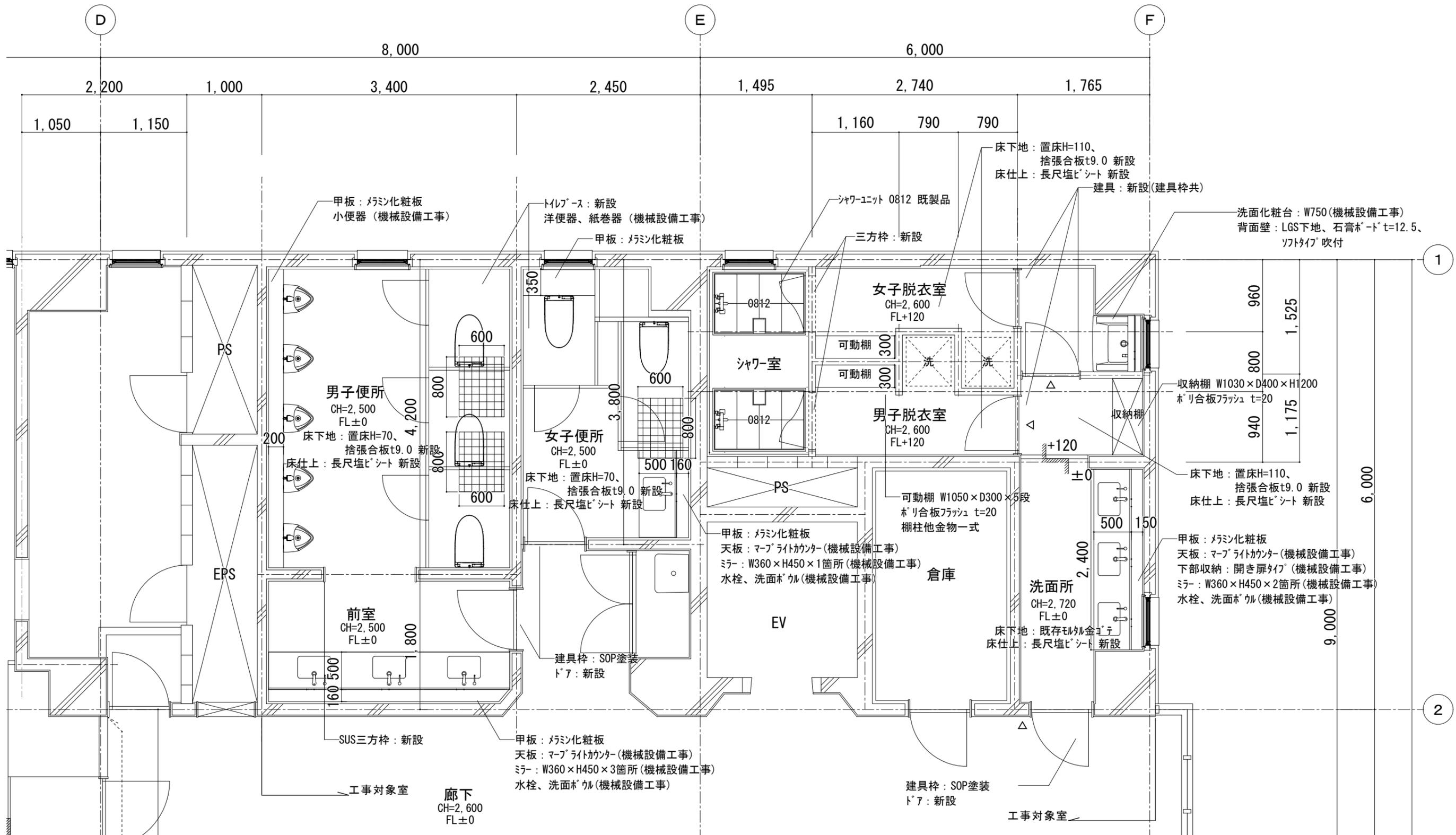
設計年月: 2025.03  
 承認 中込 担当 作図

工事名称  
 (仮称) 山梨県国中消防共同指令センター整備工事

図面名称  
 改修前水廻り詳細図

縮尺  
 A1: 1/25  
 A3: 1/50

図面番号  
 A-14



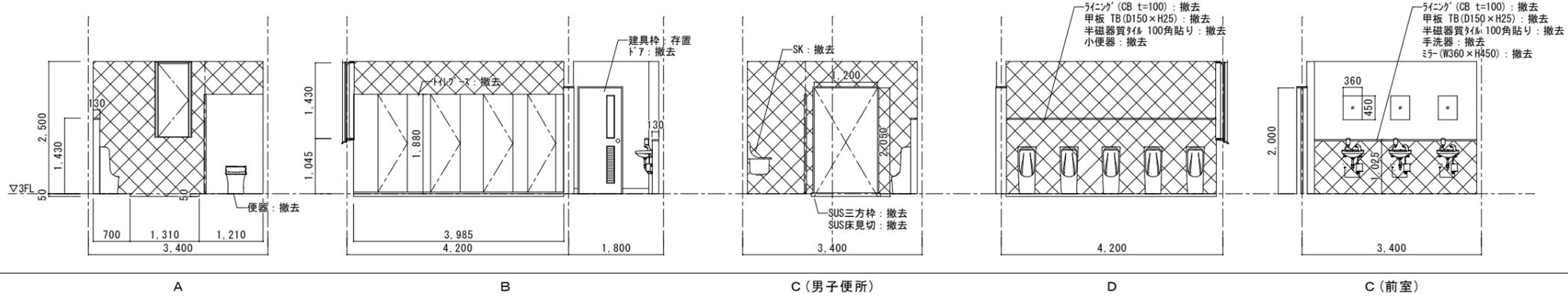
△：室名札の位置を示す

和便器撤去後補修箇所  
スラブはつり（既存鉄筋部分まで）  
ワイヤメッシュφ6 網目100  
コンクリート充填

特記事項	変更事項		株式会社 <b>ディナック</b> 中日本 <small>Design Room：山梨県甲府市相生1-5-15-2F TEL：(055) 220-7600 山梨県知事登録第 1-031984 号 一級建築士 第 217345 号 中込 秀</small>	設計年月： 2025.03 承認 中込 担当 作図	工事名称 (仮称)山梨県国中消防共同指令センター整備工事	図面名称 改修後水廻り詳細図	縮尺 A1：1/50 A3：1/100	図面番号 A-15
------	------	--	--	------------------------------	---------------------------------	-------------------	---------------------------	--------------

【男子便所・前室】

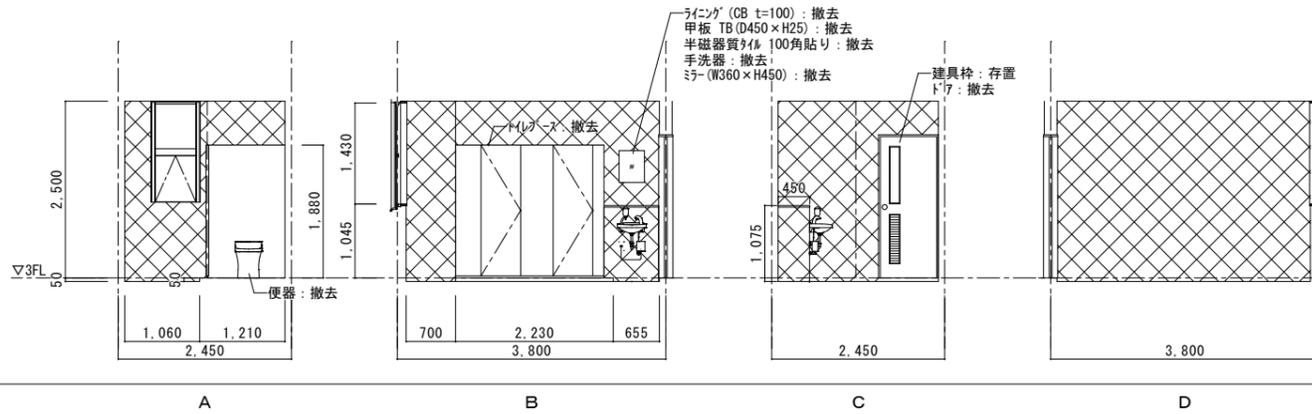
床	男子便所：軽量コンクリート押え t=55【存置】、モルタル t=30【撤去】、モザイクタイル 50角貼り【撤去】 前室：モルタル金ゴテ【存置】の上、長尺塩ビシート t=2.5【撤去】
巾木	男子便所：半磁器質タイル 100角【撤去】 前室：ソフト巾木 H=100【撤去】
壁	男子便所：半磁器質タイル 100角貼り【撤去】 前室：ソフトタイル吹付【存置】 前室ライニング壁面：半磁器質タイル 100角貼り【撤去】
天井	フレスコボード t=6.0 VP【撤去】
廻縁	—
備考	—



凡例 : 壁(下地共)撤去範囲

【女子便所】

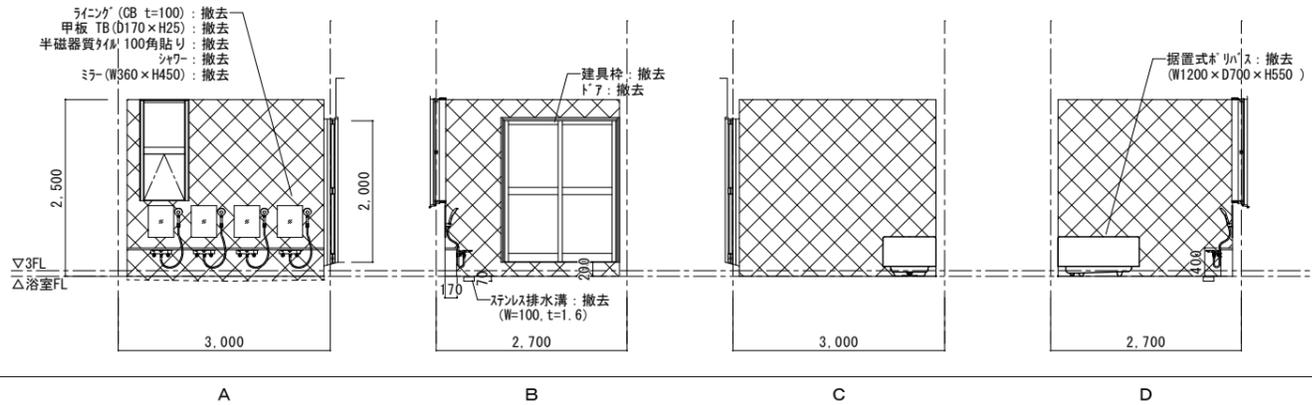
床	軽量コンクリート押え t=55【存置】、モルタル t=30の上【撤去】 モザイクタイル 50角貼り【撤去】
巾木	半磁器質タイル 100角【撤去】
壁	半磁器質タイル 100角貼り【撤去】 ライニング壁面：半磁器質タイル 100角貼り【撤去】
天井	フレスコボード t=6.0 VP【撤去】
廻縁	—
備考	—



凡例 : 壁(下地共)撤去範囲

【浴室】

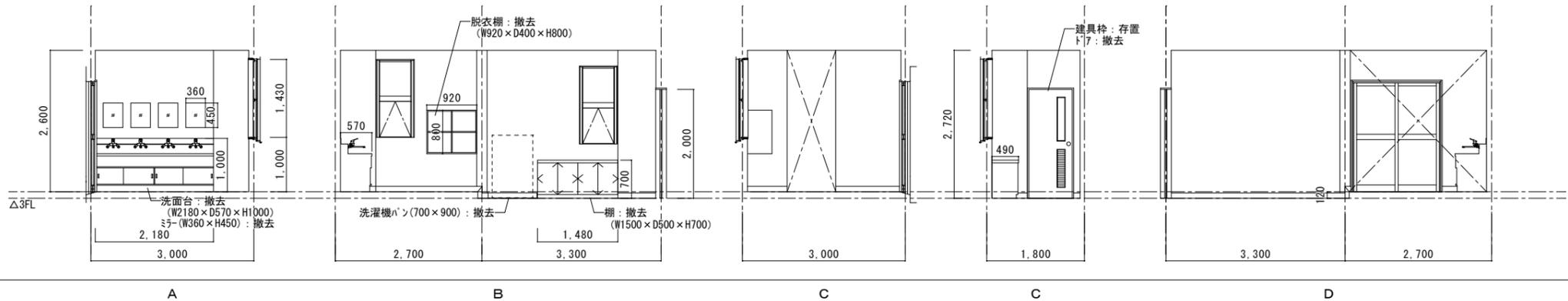
床	軽量コンクリート押え t=55【存置】、モルタル t=30の上【撤去】 磁器質タイル 50角貼り【撤去】
巾木	—
壁	半磁器質タイル 100角貼り【撤去】
天井	パネリング【撤去】
廻縁	—
備考	—



凡例 : 壁(下地共)撤去範囲

【洗面・脱衣】

床	モルタル金ゴテの上、CF t=2.3【撤去】、タイルペット【撤去】 モルタル金ゴテ【存置】の上、長尺塩ビシート t=2.5【撤去】
巾木	ソフト巾木 H=100【撤去】
壁	ソフトタイル吹付【存置】
天井	フレスコボード t=6.0 VP【撤去】
廻縁	塩ビ製【撤去】
備考	—



特記事項	変更事項



株式会社 ディナック 中日本  
Design Room : 山梨県甲府市相生1-5-15-2F  
TEL : 055-230-7400  
山梨県知事登録第 1-031984 号  
一級建築士 第 217345 号 中込 秀

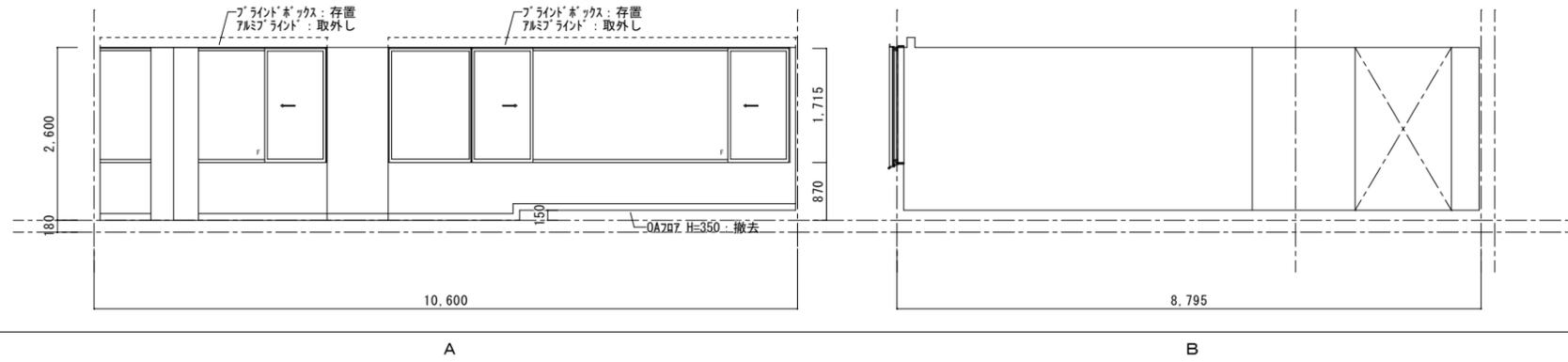
設計年月 : 2025.03  
承認 中込 担当 作図

工事名称  
(仮称)山梨県中消防指令センター整備工事

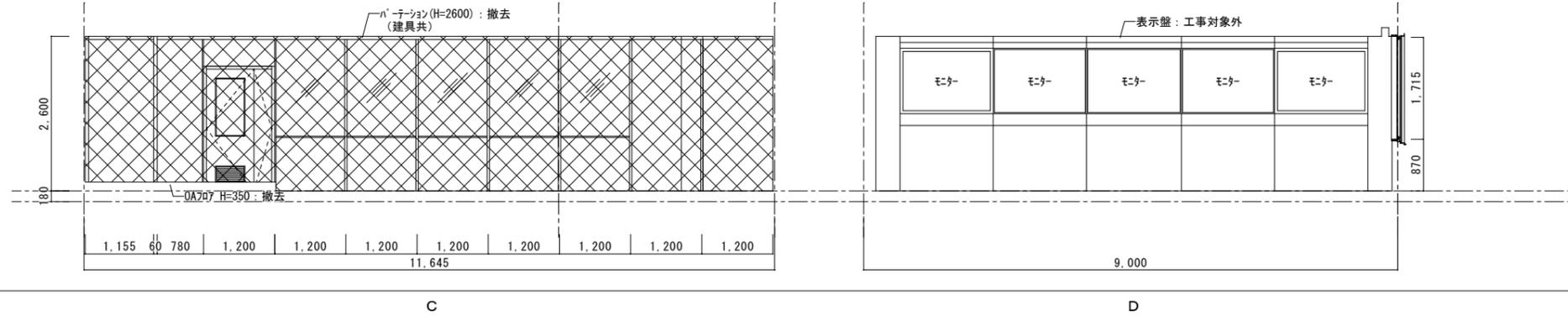
図面名称  
改修前展開図 (1)

縮尺  
A1 : 1/50  
A3 : 1/100  
図面番号  
A-16

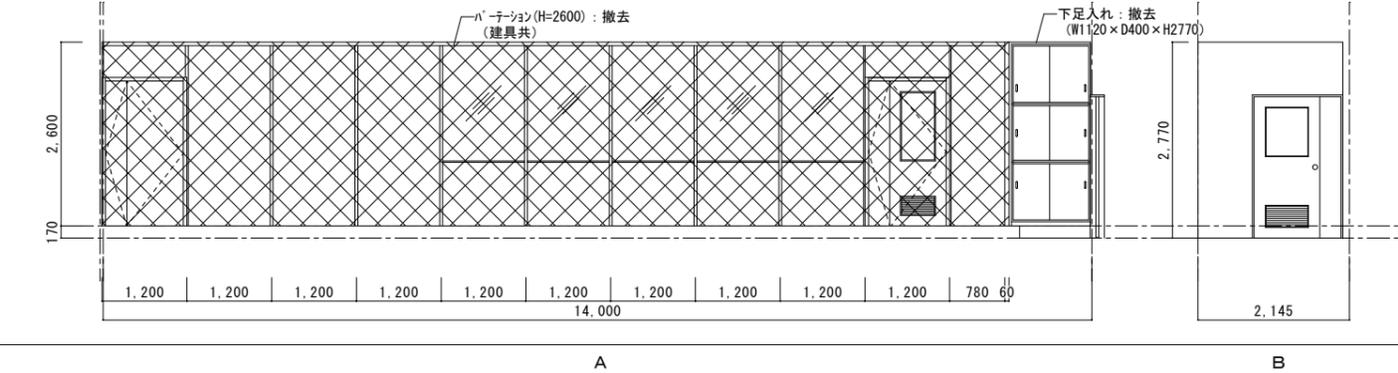
【通信指令室】	
床	フリーアセスフロア【存置】の上、タイルカーペット【撤去】
巾木	ソフト巾木 H=100【撤去】
壁	ソフトタイフ 吹付【存置】 スチールパネーション t=60【撤去】
天井	石膏ボード t=9.5【撤去】の上、岩綿吸音板 t=12【撤去】
廻縁	塩ビ製【撤去】
備考	ブラインドボックス【取外し】



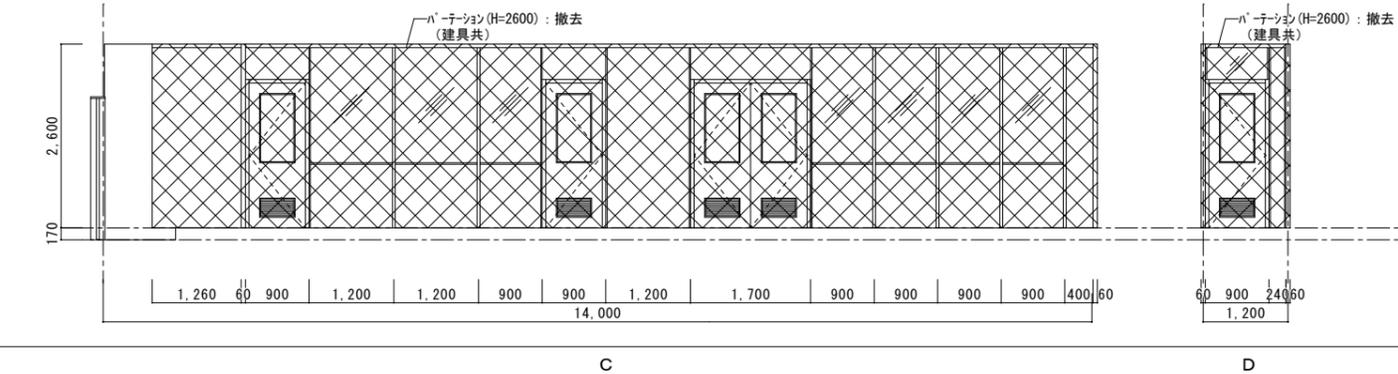
【	
床	
巾木	
壁	
天井	
廻縁	
備考	



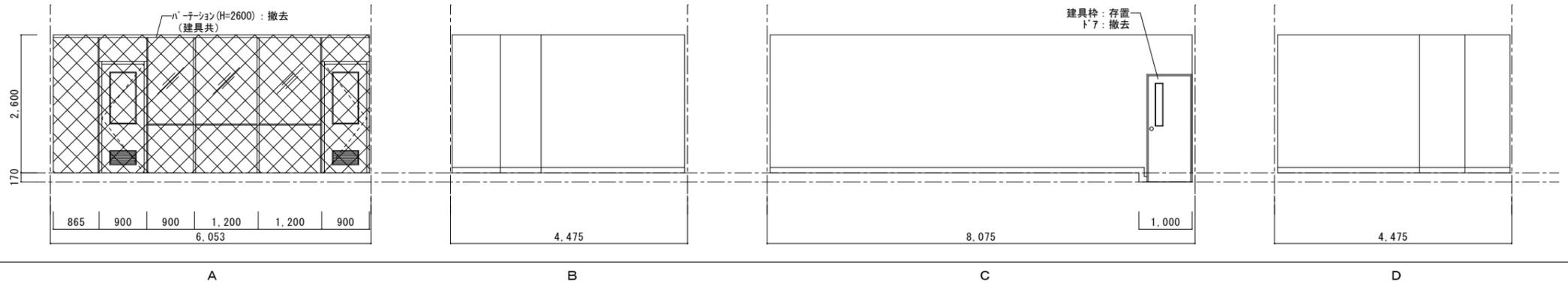
【通路】	
床	フリーアセスフロア【存置】の上、タイルカーペット【撤去】 モザイクタイル【存置】の上、長尺塩ビシート t=2.5【撤去】
巾木	ソフト巾木 H=100【撤去】
壁	ソフトタイフ 吹付【存置】 スチールパネーション t=60【撤去】
天井	石膏ボード t=9.5【撤去】の上、岩綿吸音板 t=12【撤去】
廻縁	—
備考	



【	
床	
巾木	
壁	
天井	
廻縁	
備考	

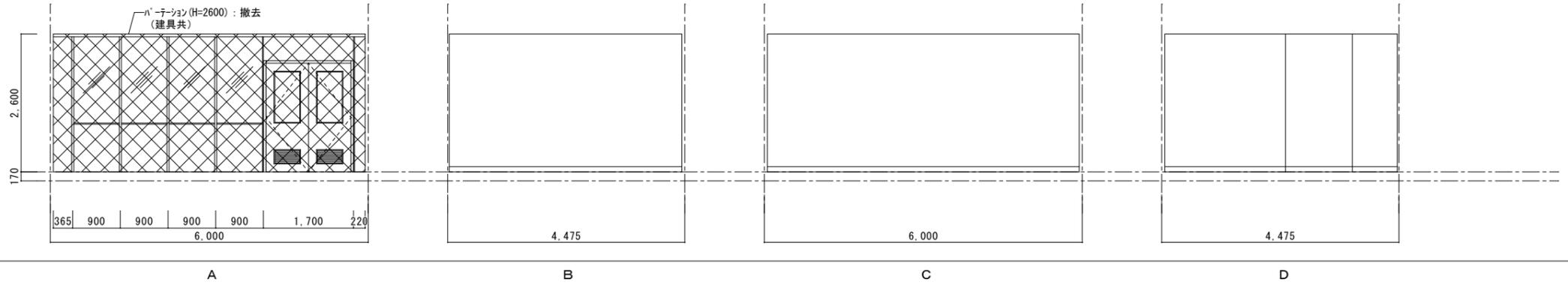


【通信事務室】	
床	フリアクレスフロア【存置】の上、タイルカーペット【撤去】
巾木	ソフト巾木 H=100【撤去】
壁	ソフトタイフ吹付【存置】 スチールパーティション t=60【撤去】
天井	石膏ボード t=9.5【撤去】の上、岩綿吸音板 t=12【撤去】
廻縁	塩ビ製【撤去】
備考	



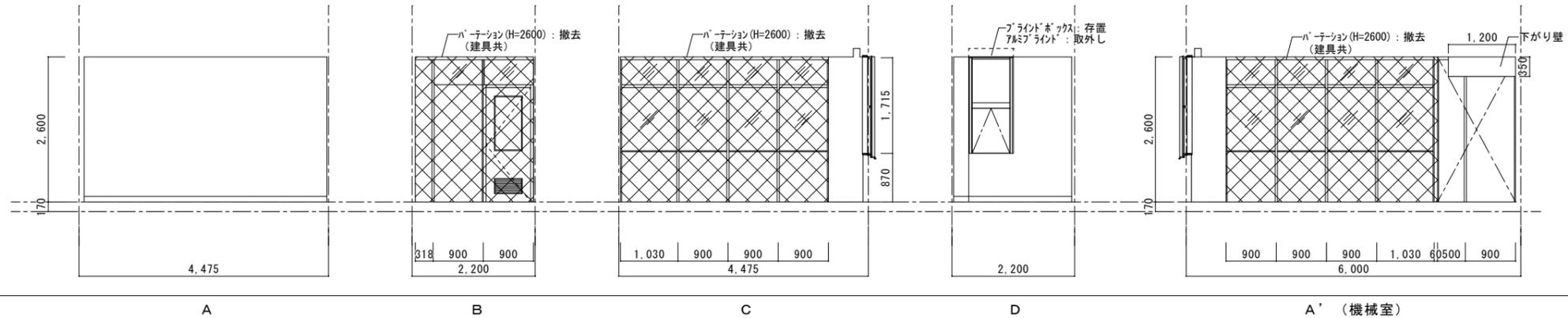
凡例  
壁(下地共)撤去範囲

【防災対策室】	
床	フリアクレスフロア【存置】の上、タイルカーペット【撤去】
巾木	ソフト巾木 H=100【撤去】
壁	ソフトタイフ吹付【存置】 スチールパーティション t=60【撤去】
天井	石膏ボード t=9.5【撤去】の上、岩綿吸音板 t=12【撤去】
廻縁	塩ビ製【撤去】
備考	



凡例  
壁(下地共)撤去範囲

【データ入力室】	
床	フリアクレスフロア【存置】の上、タイルカーペット【撤去】
巾木	木製巾木 H=90【撤去】
壁	LGS下地、石膏ボード t=12.5【存置】、ビニルクロス貼り【撤去】 スチールパーティション t=60【撤去】
天井	石膏ボード t=9.5【撤去】の上、岩綿吸音板 t=12【撤去】
廻縁	塩ビ製【撤去】
備考	ブラインドボックス【取外し】



凡例  
壁(下地共)撤去範囲

【 】	
床	
巾木	
壁	
天井	
廻縁	
備考	

特記事項	変更事項



株式会社 **ディナック** 中日本  
Design Room: 山梨県甲府市相生1-5-15-2F  
TEL: (055) 220-7600  
山梨県知事登録第 1-031984 号  
一級建築士 第 217345 号 中込 秀

設計年月: 2025.03

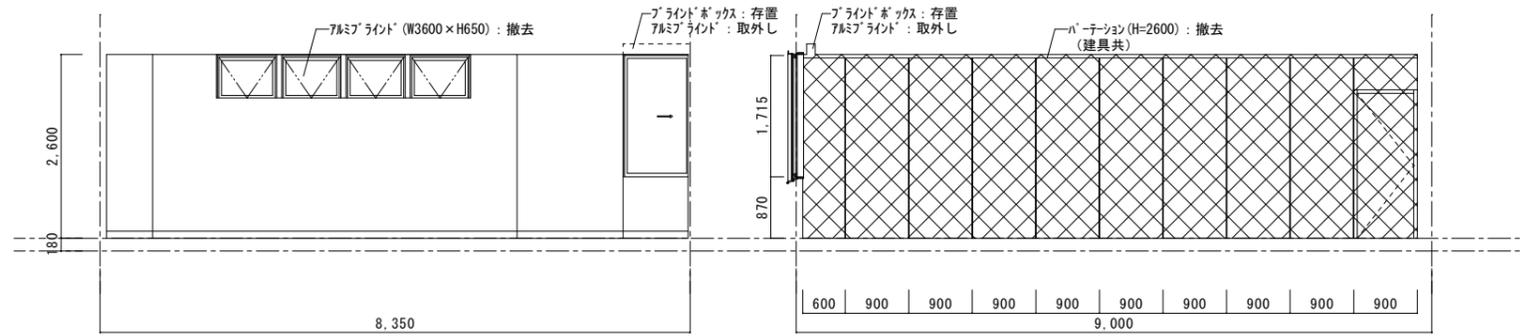
承認	中込	担当	作図
----	----	----	----

工事名称  
(仮称)山梨県中消防共同指令センター整備工事

図面名称  
改修前展開図 (3)

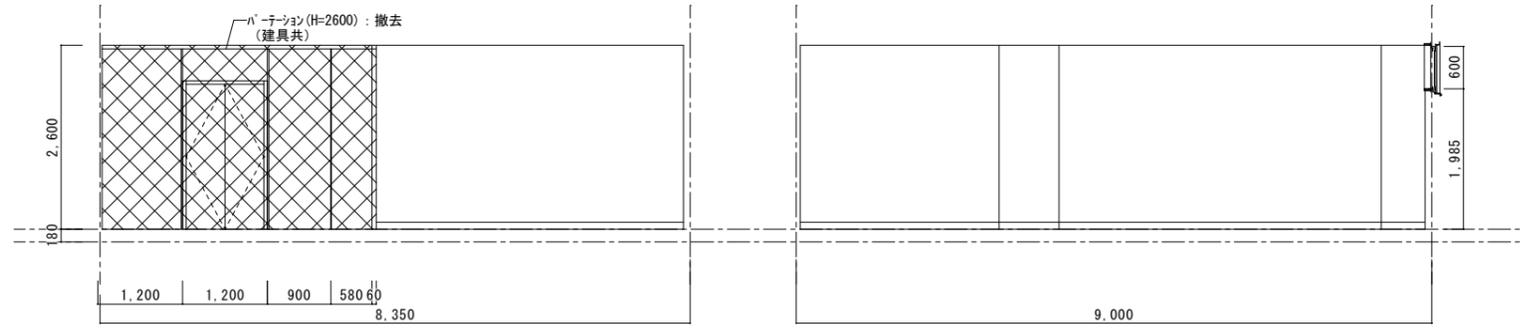
縮尺  
A1: 1/50  
A3: 1/100  
図面番号  
A-18

【仮眠室】	
床	フリアクレス707【存置】の上、タイルカーペット【撤去】
巾木	ソフト巾木 H=100【撤去】
壁	ソフトタイフ 吹付【存置】 スチールパーティション t=60【撤去】
天井	石膏ボード t=9.5【撤去】の上、岩綿吸音板 t=12【撤去】
廻縁	塩ビ製【撤去】
備考	ブラインドボックス【取外し】



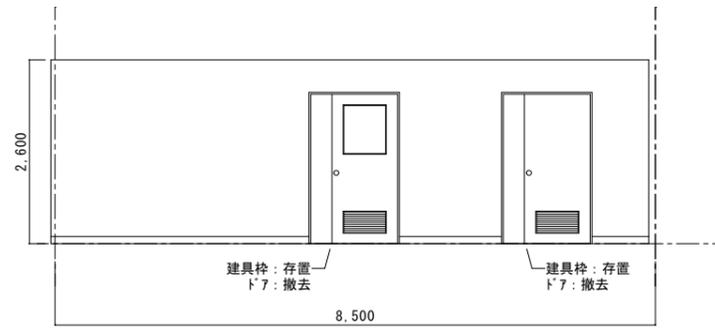
凡例 : 壁(下地共)撤去範囲

【 】	
床	
巾木	
壁	
天井	
廻縁	
備考	



凡例 : 壁(下地共)撤去範囲

【廊下】	
床	モザイクタイル【存置】の上、長尺塩ビシート t=2.5【存置】
巾木	ソフト巾木 H=100【撤去】
壁	ソフトタイフ 吹付【存置】
天井	石膏ボード t=9.5【撤去】の上、岩綿吸音板 t=12【撤去】
廻縁	塩ビ製【存置】
備考	



D

【 】	
床	
巾木	
壁	
天井	
廻縁	
備考	

特記事項	変更事項



株式会社 **ディナック** 中日本  
 Design Room : 山梨県甲府市相生1-5-15-2F  
 TEL: (055)-220-7400  
 山梨県知事登録第 1-031984 号  
 一級建築士 第 217345 号 中込 秀

設計年月: 2025.03  
 承認 中込 担当 作図

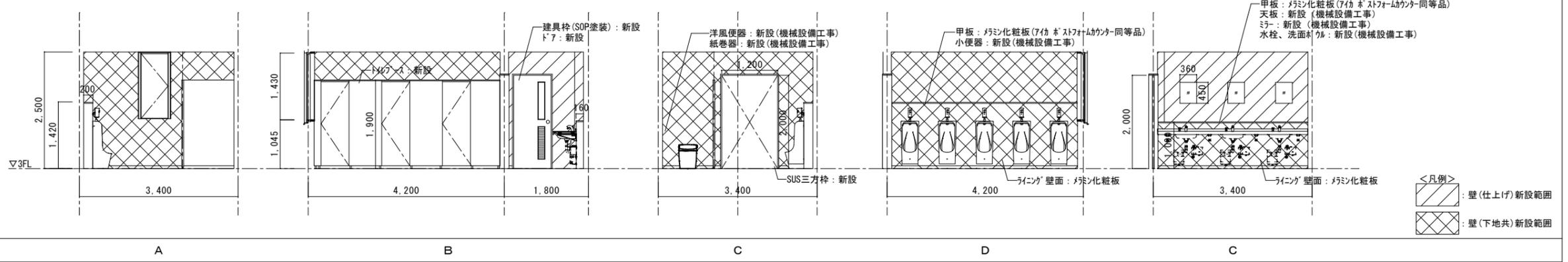
工事名称  
 (仮称)山梨県中消防共同指令センター整備工事

図面名称  
 改修前展開図 (4)

縮尺  
 A1 : 1/50  
 A3 : 1/100  
 図面番号  
 A-19

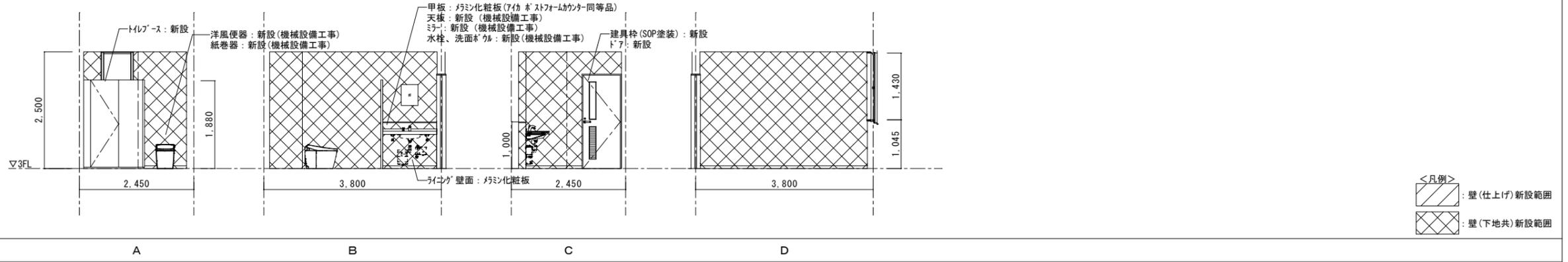
【男子便所・前室】

床	置床下地、捨張合板 t=9.0【新設】 長尺塩ビシート t=2.5【新設】 前室：既存モルタル/長尺塩ビシート t=2.5【新設】
巾木	男子便所：ソト巾木 H=60【新設】 前室：ソト巾木 H=60【新設】
壁	男子便所：既存モルタル/下地調整の上、ソトタイフ吹付【新設】 前室：既存モルタル/下地調整の上、ソトタイフ吹付【新設】 ライン：LGS下地、石膏ボード t=12.5、珪藻土化粧板 t=6.0【新設】
天井	男子便所：LGS下地/珪藻土ボード t=6.0 EP【新設】 前室：LGS下地/珪藻土ボード t=6.0 EP【新設】
廻縁	塩ビ製【新設】
備考	



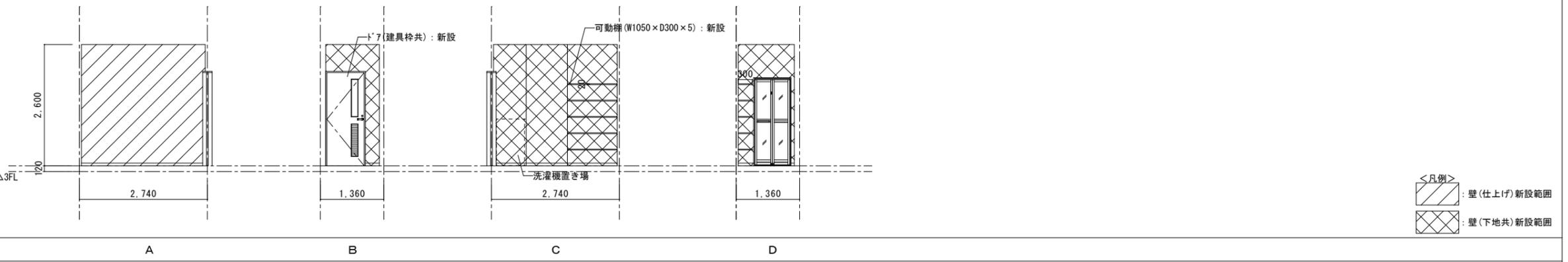
【女子便所】

床	置床下地、捨張合板 t=9.0【新設】 長尺塩ビシート t=2.5【新設】
巾木	ソト巾木 H=60【新設】
壁	既存モルタル/下地調整の上、ソトタイフ吹付【新設】 ライン：LGS下地、石膏ボード t=12.5、珪藻土化粧板 t=6.0【新設】
天井	LGS下地【新設】 珪藻土ボード t=6.0 EP【新設】
廻縁	塩ビ製【新設】
備考	



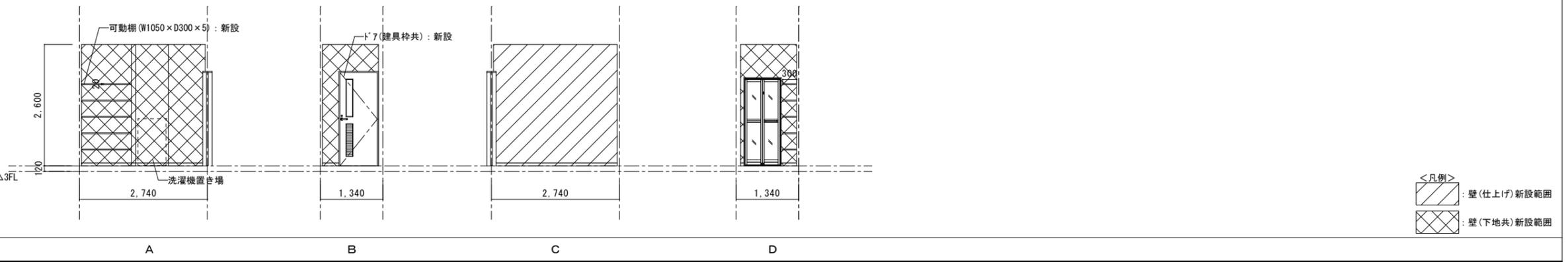
【女子脱衣室】

床	置床下地、捨張合板 t=9.0【新設】 長尺塩ビシート t=2.5【新設】
巾木	ソト巾木 H=60【新設】
壁	新規壁部分：LGS下地、石膏ボード t=12.5【新設】 ソトタイフ吹付【新設】
天井	LGS下地【新設】 珪藻土ボード t=6.0 EP【新設】
廻縁	塩ビ製【新設】
備考	可動柵：ホリ合板フラッシュ t=20 (柵柱他取付金物一式)

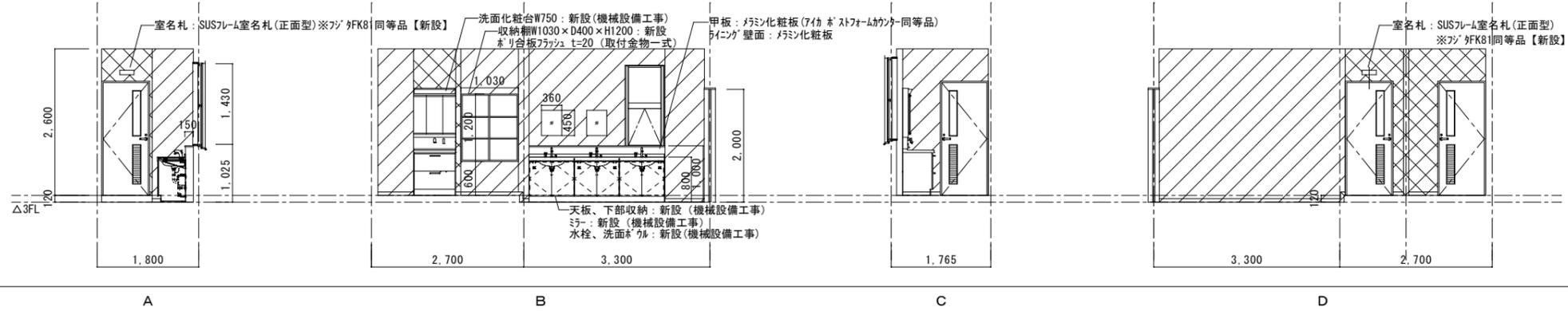


【男子脱衣室】

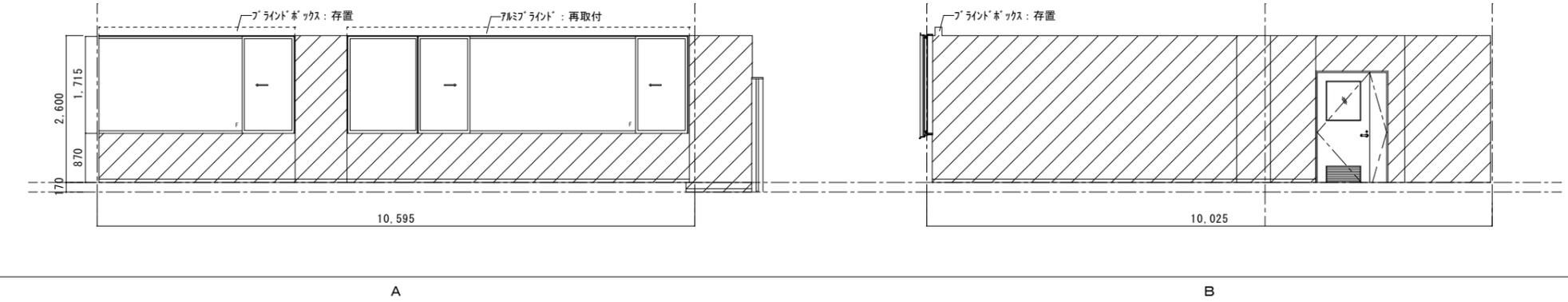
床	置床下地、捨張合板 t=9.0【新設】 長尺塩ビシート t=2.5【新設】
巾木	ソト巾木 H=60【新設】
壁	新規壁部分：LGS下地、石膏ボード t=12.5【新設】 ソトタイフ吹付【新設】
天井	LGS下地【新設】 珪藻土ボード t=6.0 EP【新設】
廻縁	塩ビ製【新設】
備考	可動柵：ホリ合板フラッシュ t=20 (柵柱他取付金物一式)



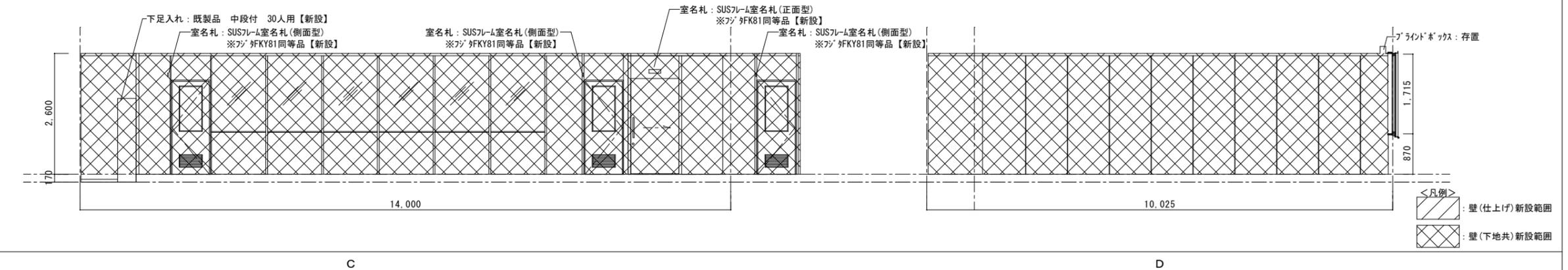
【洗面所】	
床	既存モルタル 長尺塩ビシート t=2.5【新設】
巾木	ソフト巾木 H=60【新設】
壁	既存モルタル、ソフト吹付【新設】 珪藻土吹付【新設】 珪藻土：LGS下地、石膏ボード t=12.5、珪藻土化粧板 t=6.0【新設】
天井	LGS下地【新設】、珪藻土ボード t=6.0 EP【新設】
廻縁	塩ビ製【新設】
備考	室名札：SUS7L-M室名札(側面型)※フジ FKY81同等品【新設】 室名札：SUS7L-M室名札(正面型)※フジ FK81同等品【新設】



【通信指令室】	
床	既存フローリング/一部フローリング【新設】 タイルカーペット【新設】
巾木	ソフト巾木 H=60【新設】
壁	既存モルタル、ソフト吹付【新設】 パネーション t=60【新設】
天井	LGS下地【新設】 石膏ボード t=9.5【新設】、岩綿吸音板 t=12【新設】
廻縁	塩ビ製【新設】
備考	室名札：SUS7L-M室名札(側面型)※フジ FKY81同等品【新設】 室名札：SUS7L-M室名札(正面型)※フジ FK81同等品【新設】 可動式パネーション W1100 x H1500【新設】

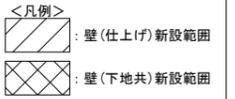
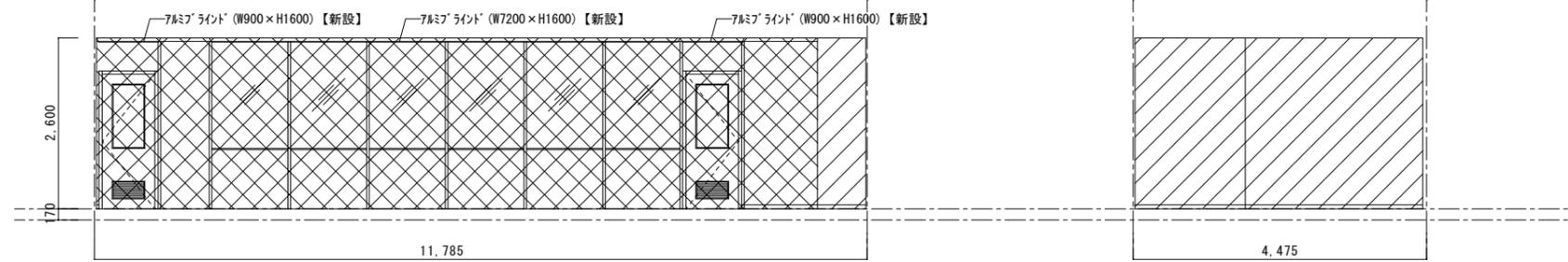


【 】	
床	
巾木	
壁	
天井	
廻縁	
備考	

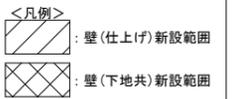
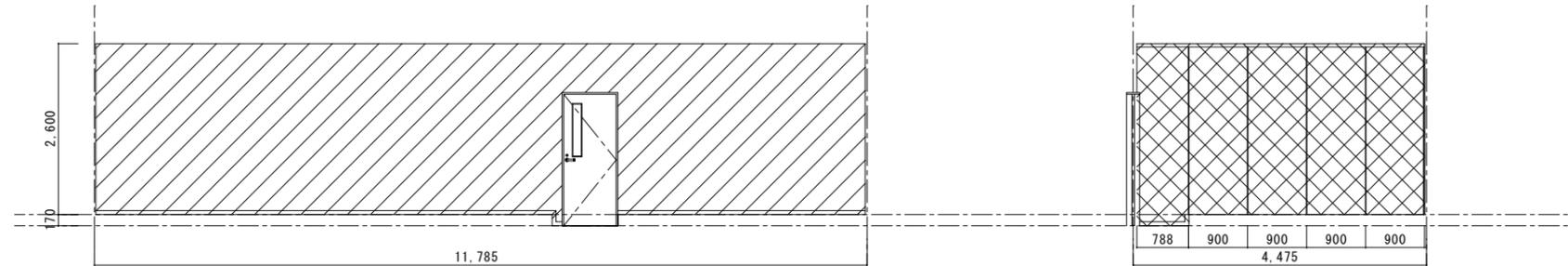


【 】	
床	
巾木	
壁	
天井	
廻縁	
備考	

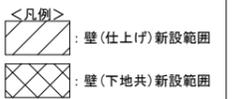
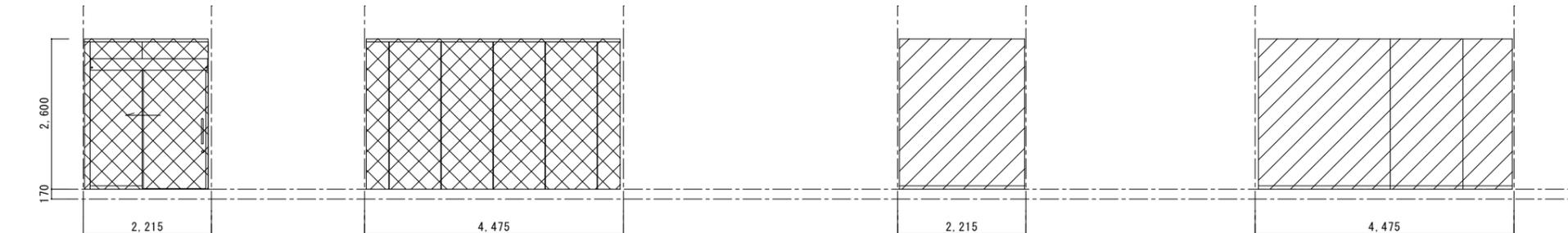
【通信事務室】	
床	既存フローリング / 一部フローリング【新設】 / 既存タイル / 床 タイルベットの【新設】 / 長尺塩ビシート t=2.5【新設】
巾木	ソフト巾木 H=60【新設】
壁	既存LGS下地、石膏ボード t=12.5 ソフト吹付【新設】 / パーテーション t=60【新設】
天井	LGS下地【新設】 石膏ボード t=9.5【新設】、岩綿吸音板 t=12【新設】
廻縁	塩ビ製【新設】
備考	室名札：SUSアルミ室名札(側面型)※FKY81同等品【新設】 可動式パーテーションW1000×H1500：新設



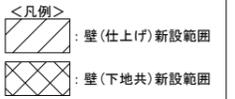
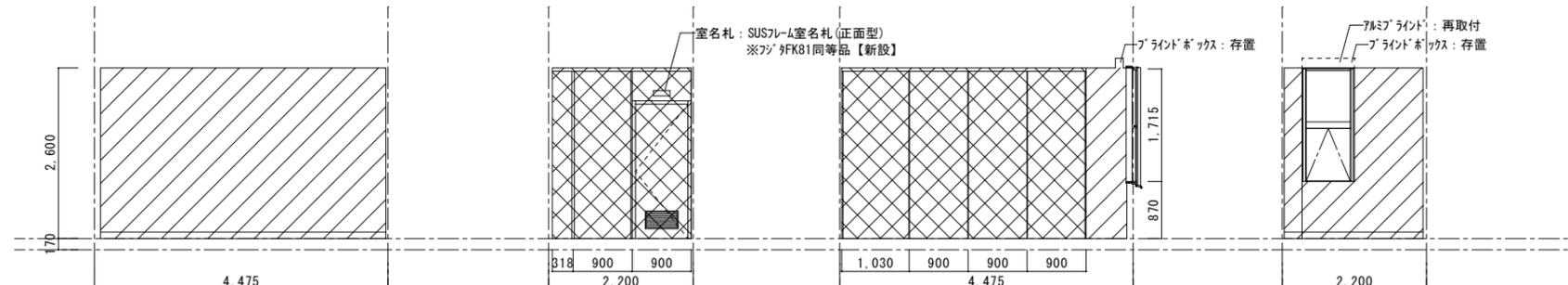
【 】	
床	
巾木	
壁	
天井	
廻縁	
備考	



【仮眠室2】	
床	既存フローリング タイルベットの【新設】
巾木	ソフト巾木 H=60【新設】
壁	既存LGS下地、石膏ボード t=12.5、ソフト吹付【新設】 パーテーション t=60【新設】
天井	LGS下地【新設】 石膏ボード t=9.5【新設】、岩綿吸音板 t=12【新設】
廻縁	塩ビ製【新設】
備考	室名札：SUSアルミ室名札(側面型)※FKY81同等品【新設】



【女性仮眠室】	
床	既存フローリング タイルベットの【新設】
巾木	木製巾木 H=60【新設】
壁	LGS下地、石膏ボード t=12.5 ビニルクロス貼り【新設】 / パーテーション t=60【新設】
天井	LGS下地【新設】 石膏ボード t=9.5【新設】、岩綿吸音板 t=12【新設】
廻縁	塩ビ製【新設】
備考	室名札：SUSアルミ室名札(正面型)※FKY81同等品【新設】 仮眠ベッド(既製品)、収納ロッカー鍵付(既製品)【新設】



特記事項	変更事項



株式会社 **ディナック** 中日本  
DNAC Group : 山梨県甲府市相生1-5-15-2F  
 TEL: (055)-220-7600  
 山梨県知事登録第 1-031984 号  
 一級建築士 第 217345 号 中込 秀

設計年月：2025.03  
 承認 中込 担当 作図

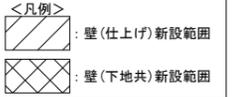
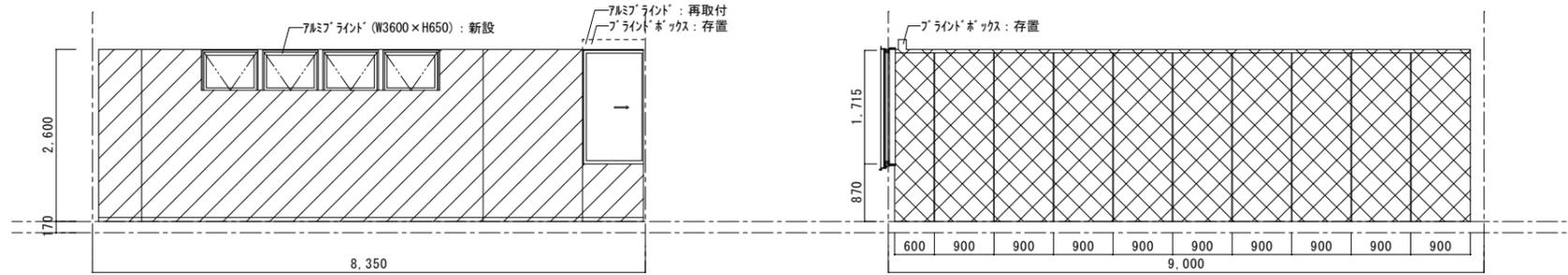
工事名称  
 (仮称)山梨県中消防共同指令センター整備工事

図面名称  
 改修後展開図 (3)

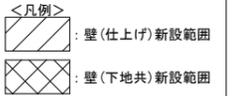
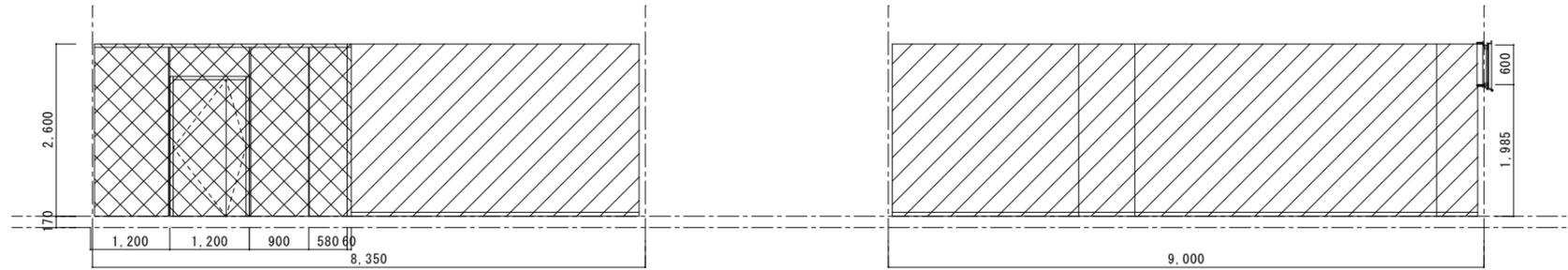
縮尺  
 A1 : 1/50  
 A3 : 1/100

図面番号  
 A-22

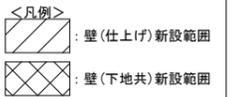
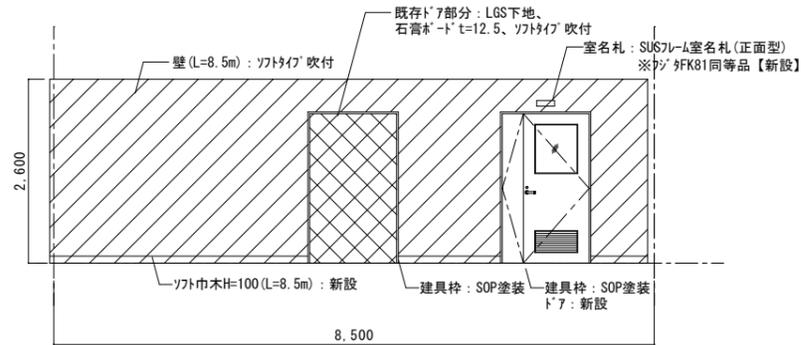
【仮眠室1】	
床	既存フローリング クッションマット【新設】
巾木	ソフト巾木 H=60【新設】
壁	既存LGS下地、石膏ボード t=12.5 ソフト吹付【新設】/パネーション t=60【新設】
天井	LGS下地【新設】 石膏ボード t=9.5【新設】、岩綿吸音板 t=12【新設】
廻縁	塩ビ製【新設】
備考	室名札：SUS7レム室名札(側面型)※7/ FKY81同等品【新設】 個室ブース：パネーションH=2000、建具W=800【新設】 仮眠ベッド(既製品)、収納ロッカー鍵付(既製品)：新設



【  】	
床	
巾木	
壁	
天井	
廻縁	
備考	



【廊下】※一面のみ改修	
床	タタキ【存置】の上、長尺塩ビシート t=2.5【存置】
巾木	ソフト巾木 H=100【新設】
壁	下地調整の上、ソフト吹付【新設】
天井	石膏ボード t=9.5【新設】、岩綿吸音板 t=15 リア付き【新設】
廻縁	塩ビ製【存置】
備考	室名札：SUS7レム室名札(正面型)※7/ FK81同等品【新設】



【  】	
床	
巾木	
壁	
天井	
廻縁	
備考	

特記事項	変更事項



株式会社 **ディナック** 中日本  
DNAC Head Office : 山梨県甲府市相生1-5-15-2F  
 TEL : (055)-220-7600  
 山梨県知事登録第 1-031984 号  
 一級建築士 第 217345 号 中込 秀

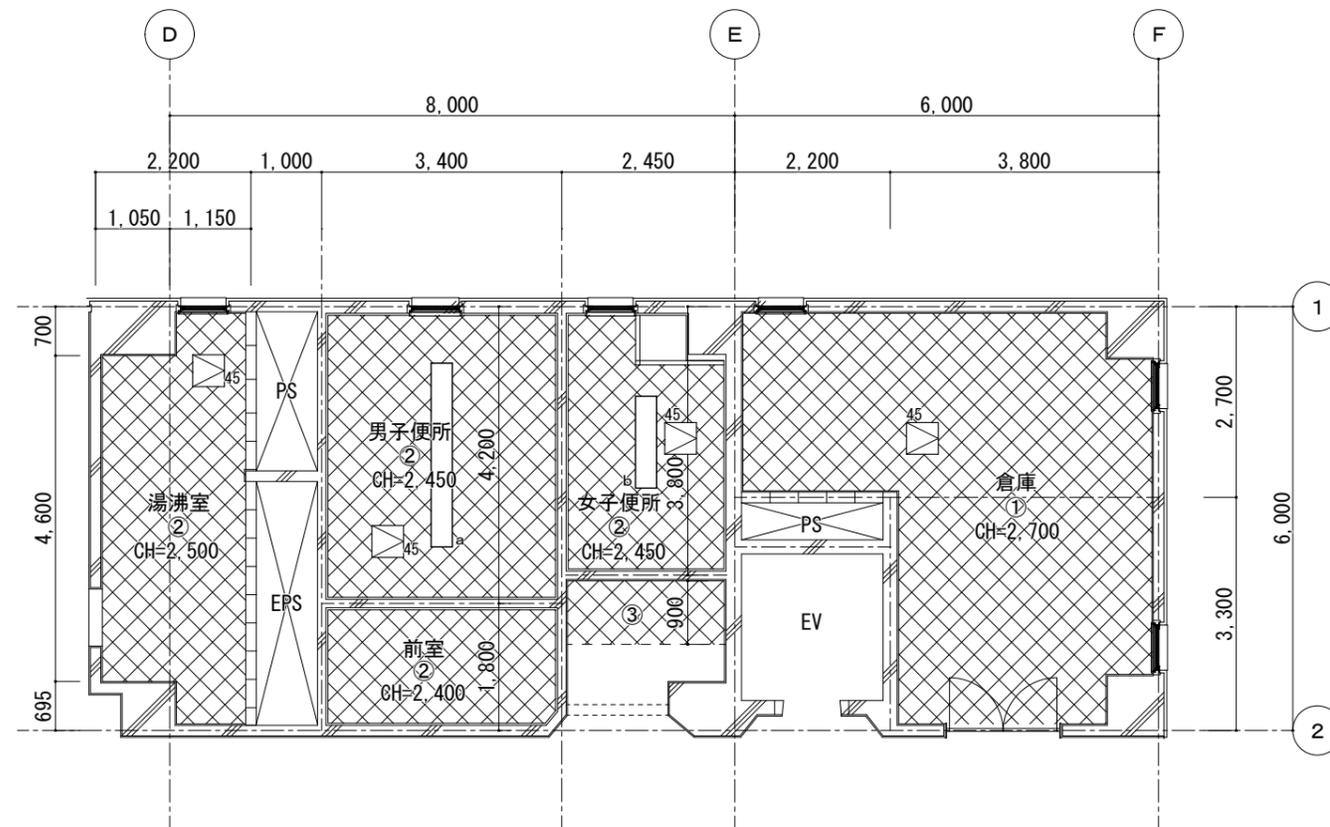
設計年月	2025.03
承認	中込 担当 作図

工事名称  
 (仮称)山梨県中消防共同指令センター整備工事

図面名称  
 改修後展開図 (4)

縮尺  
 A1 : 1/50  
 A3 : 1/100

図面番号  
 A-23



2階天井伏図

<凡例>

 : 天井下地・仕上新設範囲

記号	仕上	
①	LGS下地+化粧石膏ボード t=9.0	撤去・新設
②	LGS下地+フレキシブルボード t=6.0 目透かし EP	撤去・新設
③	LGS下地+石膏ボード t=9.5+岩綿吸音板リフ付き t=15	撤去・新設
廻り縁	塩ビ製	撤去・新設
	天井点検口 450×450、開口補強共	4箇所 新設
	開口補強 (2600×300程度)	1箇所 新設
	開口補強 (1300×300程度)	1箇所 新設

特記事項	変更事項	

**DNAC**  
DIGITAL NETWORK AND COMMUNICATION

株式会社 **ディナック** 中日本  
Design Room: 山梨県甲府市相生1-5-15-2F  
TEL: (055)・220・7400  
山梨県知事登録第 1-031984 号  
一級建築士 第 217345 号 中込 秀

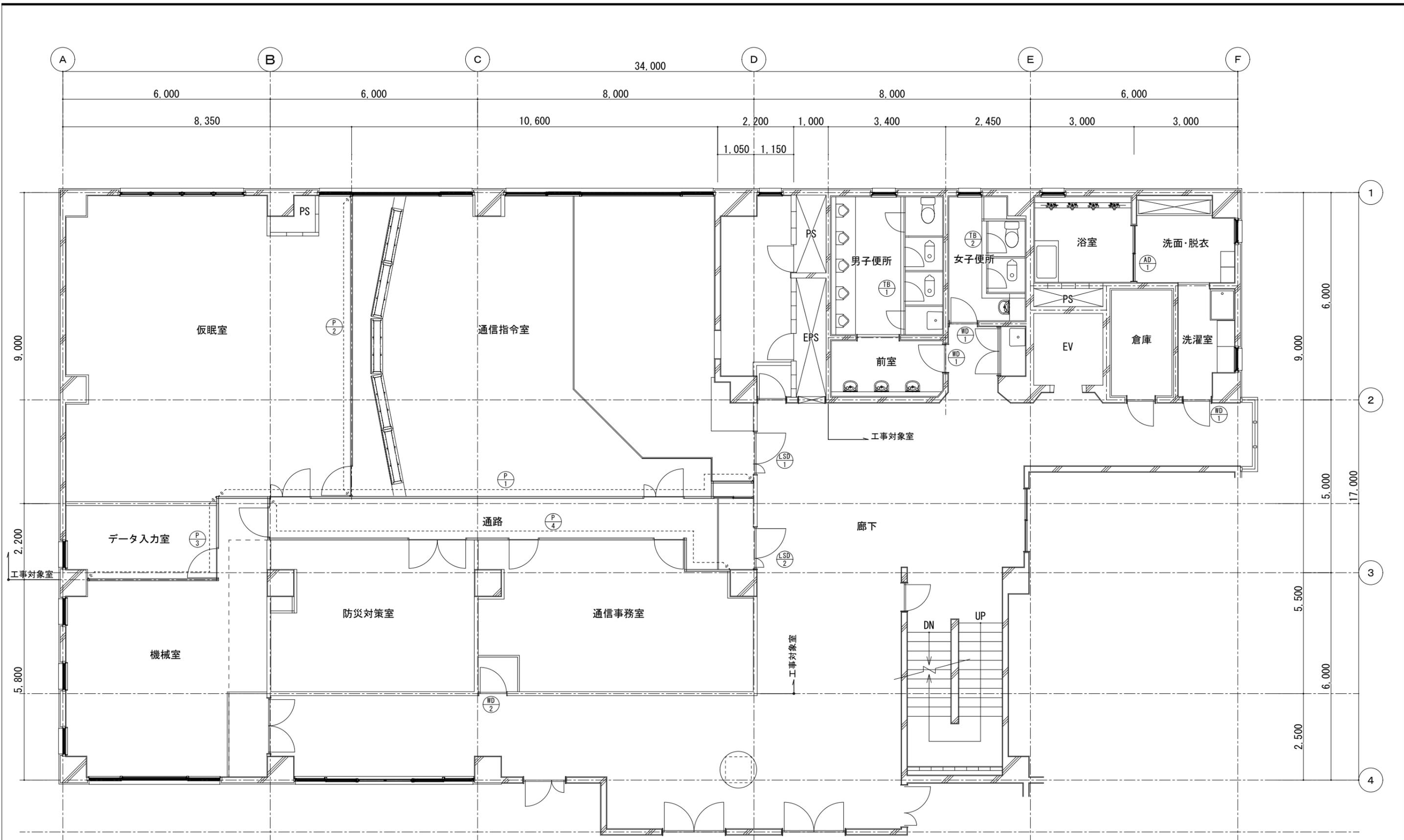
設計年月: 2025.03  
承認 中込 担当 作図

工事名称  
(仮称)山梨県中消防共同指令センター整備工事

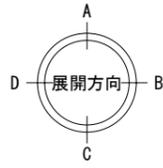
図面名称  
2階天井伏図

縮尺  
A1: 1/50  
A3: 1/100

図面番号  
A-24



3階平面図



特記事項	変更事項

**DNAC**  
DIGITAL NETWORK AND COMMUNICATION

株式会社 **ディナック** 中日本  
Design Room: 山梨県甲府市相生1-5-15-2F  
TEL: (055)-220-7600  
山梨県知事登録 第 1-031984 号  
一級建築士 第 217345 号 中込 秀

設計年月: 2025.03

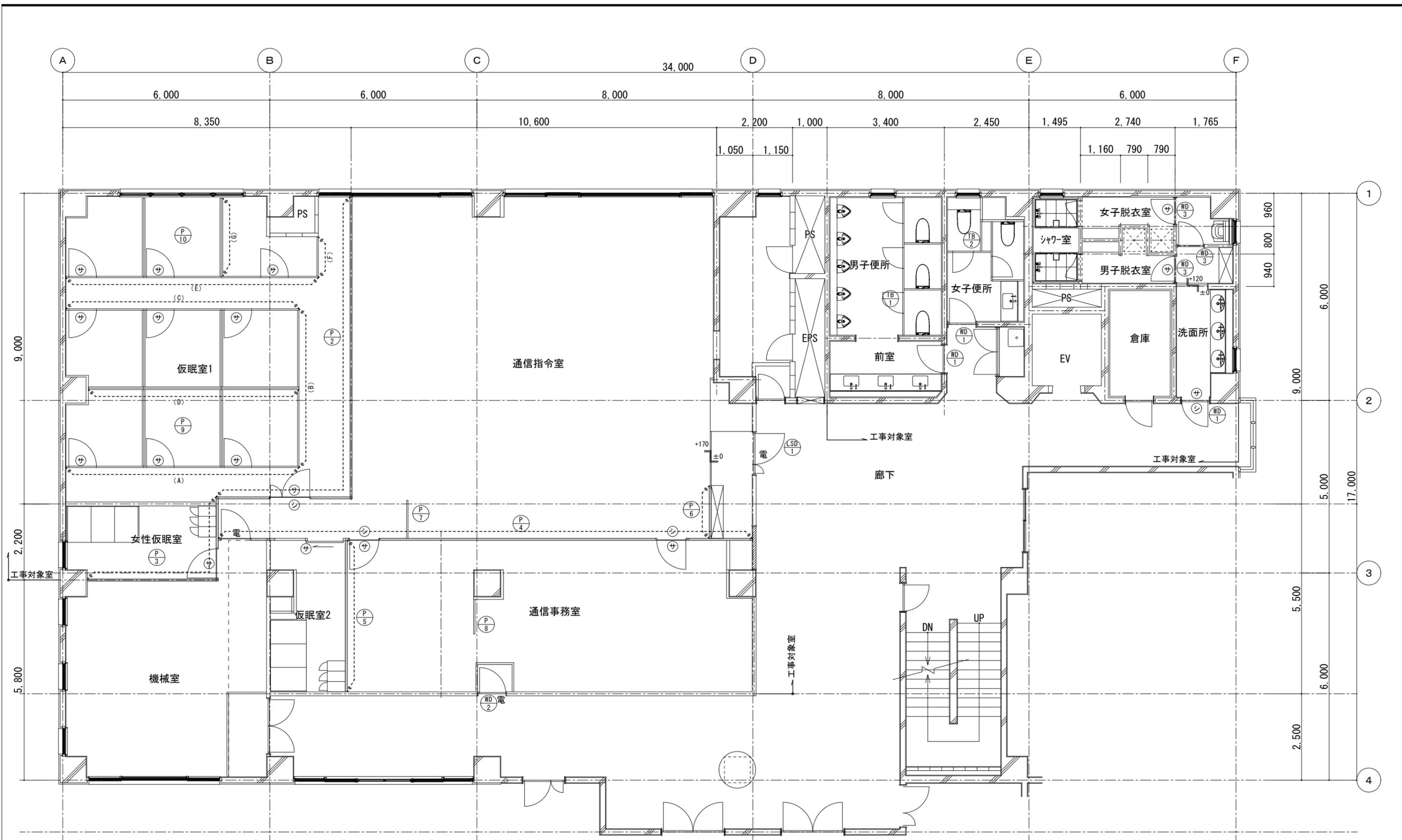
承認 中込 担当 作図

工事名称  
(仮称) 山梨県中消防共同指令センター整備工事

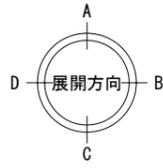
図面名称  
改修前キープラン

縮尺  
A1: 1/50  
A3: 1/100

図面番号  
A-25



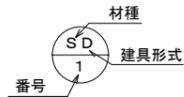
3階平面図



- 電 : 電気錠を示す
- シ : シリンダー錠を示す
- サ : サムターン錠を示す

特 記 事 項	変 更 事 項	 <b>株式会社 ディナック中日本</b> <small>Design Room : 山梨県甲府市相生1-5-15-2F TEL : (055)-220-7400 山梨県知事登録第 1-031984 号 一般建築士 第 217345 号 中込 秀</small>	設計年月 : 2025.03	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
			承認 中込 担当 作図	(仮称)山梨県中消防共同指令センター整備工事	改修後キープラン	A1 : 1/50 A3 : 1/100	A-26

■ 建具記号



■ 略号

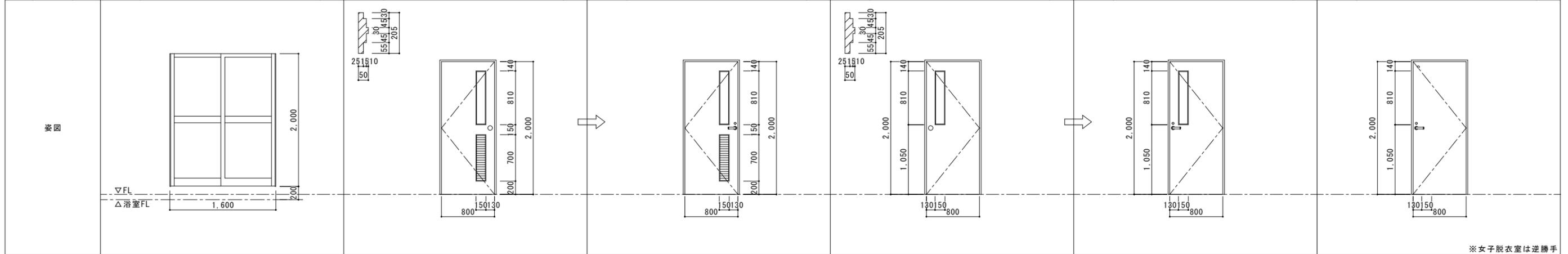
- DC ドアクローザ      FB フランス落し
- TH 丁番                OB 押棒
- LH レバーハンドル   PD シリンダー錠
- ND 握玉                C 空錠
- MH 面付ハンドル    G ガラリ

■ 特記事項

- ・建具寸法は近似値を示すものとする。
- ・壁面を傷つける恐れのある箇所には、戸当たりを取り付ける。
- ・ストッパーは、引渡時にはフリーの状態にすること。
- ・特記無き新設SD・LSDの扉鋼板厚はSDはt=1.6、LSDはt=0.6以上とする。
- ・既存建具再利用のものは、全てクリーニングを見込む。

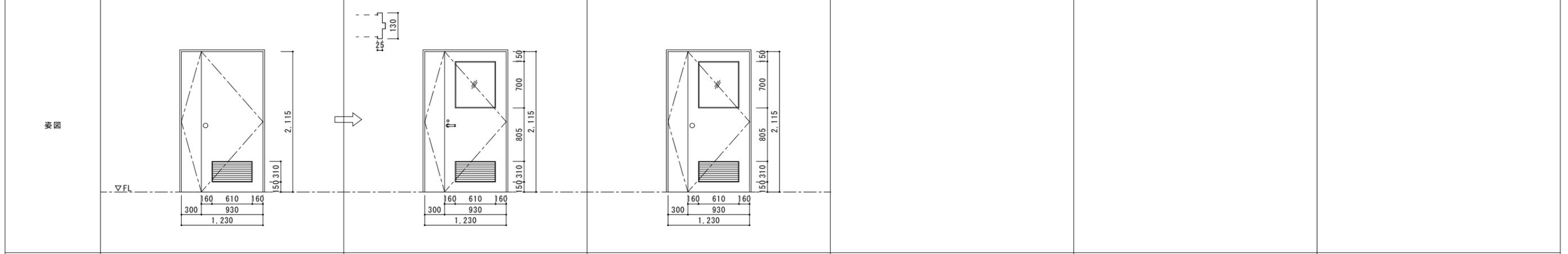
■ 備考

番号	使用箇所	数量	AD 1	浴室	1	WD 1	撤去	男子便所、女子便所、洗面・脱衣	3	WD 1	新設	男子便所、女子便所、洗面所	3	WD 2	撤去	通信事務室	1	WD 2	新設	通信事務室	1	WD 3	新設	洗面所、女子脱衣室、男子脱衣室	3
----	------	----	---------	----	---	---------	----	-----------------	---	---------	----	---------------	---	---------	----	-------	---	---------	----	-------	---	---------	----	-----------------	---



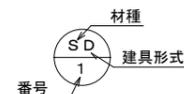
形式	アルミ引違戸	木製片開き戸	木製片開き戸	木製片開き戸	木製片開き戸	木製片開き戸
材質・仕上	電解着色	ポリ合板フラッシュ、アルミガラリ	ポリ合板フラッシュ、アルミガラリ	ポリ合板フラッシュ	ポリ合板フラッシュ	ポリ合板フラッシュ
見込	70	戸厚30、枠見込み205	戸厚30、枠見込み205	戸厚30、枠見込み205	戸厚30、枠見込み205	戸厚30、枠見込み110
ガラス等	フロートガラス t4	フロートガラス t4	フロートガラス t4	フロートガラス t4	フロートガラス t4	—
金物	取付金物一式	TH、ドアチェック、戸当り、ND、C、G	TH、LH、FB、戸当り、G、PD(洗面所のみ)	TH、ドアチェック、戸当り、ND、C	TH、LH、電気錠、FB、戸当り	TH、LH、表示錠、FB、戸当り、明かり窓
改修内容	撤去	撤去 ドア(取付金物一式共)：撤去 三方枠：存置	新設 ドア(取付金物一式共)：新設 既存三方枠：25×205 SOP塗装	撤去 ドア(取付金物一式共)：撤去 三方枠：存置	新設 ドア(取付金物一式共)：新設 既存三方枠：25×205 SOP塗装	新設(三方枠共)

番号	使用箇所	数量	LSD 1	撤去	司令課	1	LSD 1	新設	司令課	1	LSD 2	撤去	指令課入口	1
----	------	----	----------	----	-----	---	----------	----	-----	---	----------	----	-------	---



形式	片開きフラッシュ	片開きフラッシュ	片開きフラッシュ
材質・仕上	SOP	SOP	SOP
見込	40	40	40
ガラス等	—	フロートガラス t4	—
金物	DC、TH、ND、PD	DC、TH、LH、電気錠、G、戸当り	DC、TH、ND、PD、G
改修内容	撤去 ドア(取付金物一式共)：撤去 三方枠：存置	新設 ドア(取付金物一式共)：新設 既存三方枠：SOP塗装	撤去 ドア(取付金物一式共)：撤去 三方枠：存置(SOP塗装)

■ 建具記号



■ 略号

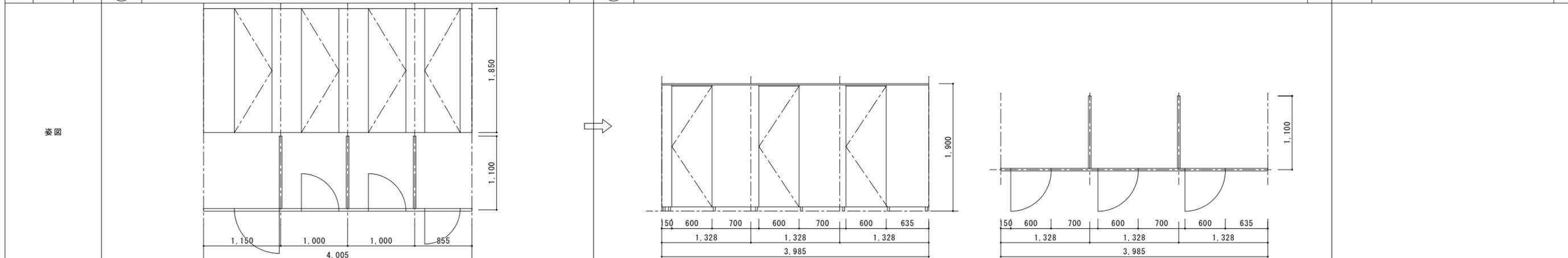
- DC ドアクローザ      FB フランス落し
- TH 丁番                OB 押棒
- LH レバーハンドル   PD シリンダー錠
- ND 握玉                C 空錠
- MH 面付ハンドル    G ガラリ

■ 特記事項

- ・建具寸法は近似値を示すものとする。
- ・壁面を傷つける恐れのある箇所には、戸当たりを取り付ける。
- ・ストッパーは、引渡時にはフリーの状態にすること。
- ・特記無き新設SD・LSDの扉鋼板厚はSDはt=1.6、LSDはt=0.6以上とする。
- ・既存建具再利用のものは、全てクリーニングを見込む。

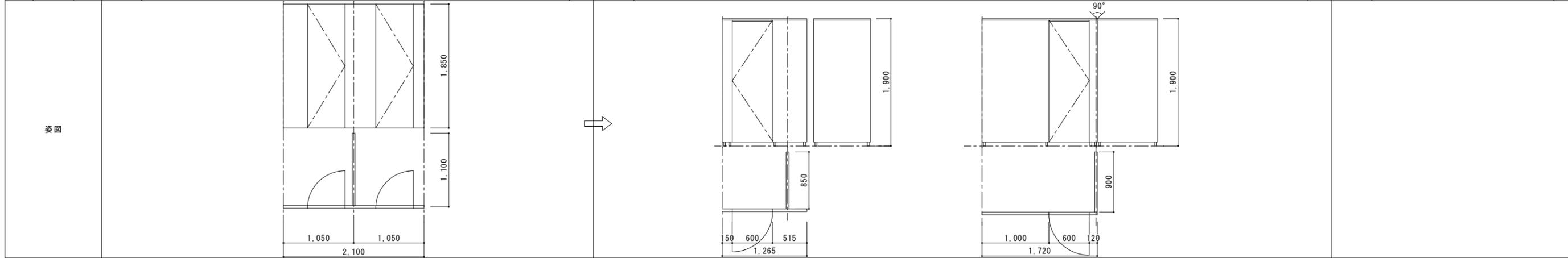
■ 備考

番号	使用箇所	数量	(TB) 1 撤去 男子便所		1	(TB) 1 新設 男子便所		1		
----	------	----	----------------	--	---	----------------	--	---	--	--



形式	トイレブース	形式	トイレブース		
材質・仕上	化粧鋼板 t=0.5	材質・仕上	高圧メラミン樹脂化粧板		
見込	40	見込	40		
ガラス等	—	ガラス等	—		
金物	取付金物一式	金物	取付金物一式		
改修内容	撤去	改修内容	新設		

番号	使用箇所	数量	(TB) 2 撤去 女子便所		1	(TB) 2 新設 女子便所		1		
----	------	----	----------------	--	---	----------------	--	---	--	--



形式	トイレブース	形式	トイレブース		
材質・仕上	化粧鋼板 t=0.5	材質・仕上	高圧メラミン樹脂化粧板		
見込	40	見込	40		
ガラス等	—	ガラス等	—		
金物	取付金物一式	金物	取付金物一式		
改修内容	撤去	改修内容	新設		

特記事項		変更事項	



株式会社 **ディナック** 中日本  
DNAC ROOM : 山梨県甲府市相生1-5-15-2F  
 TEL: (055)-220-7600  
 山梨県知事登録 第 1-031984 号  
 一級建築士 第 217345 号 中込 秀

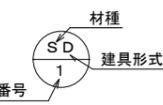
設計年月: 2025.03  
 承認 中込 担当 作図

工事名称  
 (仮称)山梨県中消防共同指令センター整備工事

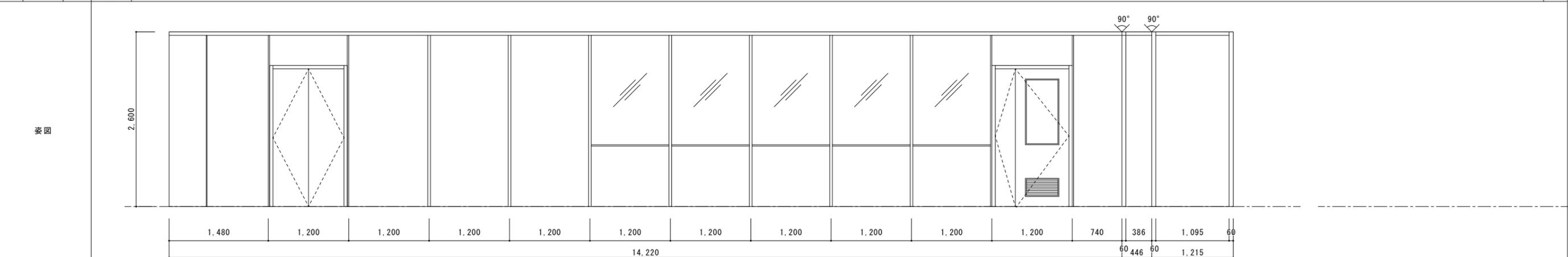
図面名称  
 建具表 (2)

縮尺  
 A1: 1/30  
 A3: 1/60

図面番号  
 A-28

<b>■ 建具記号</b>  <b>■ 略号</b> DC ドアクローザ    FB フランス落し TH 丁番            OB 押棒 LH レバーハンドル   PD シリンダー錠 ND 握玉            C 空錠 MH 面付ハンドル    G ガラリ	<b>■ 特記事項</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建具寸法は近似値を示すものとする。</li> <li>・壁面を傷つける恐れのある箇所には、戸当たりを取り付ける。</li> <li>・ストッパーは、引渡時にはフリーの状態にすること。</li> <li>・特記無き新設SD・LSDの扉鋼板厚はSDはt=1.6、LSDはt=0.6以上とする。</li> <li>・既存建具再利用のものは、全てクリーニングを見込む。</li> </ul>	<b>■ 備考</b>
--	---	-------------

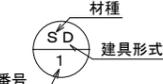
番号	使用箇所	数量	撤去	通信指令室	1
----	------	----	----	-------	---



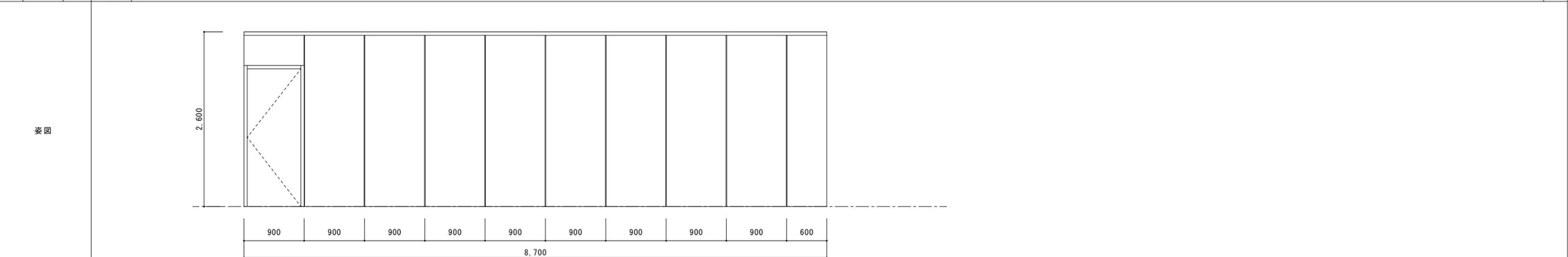
形式	スチールパーテーション
材質・仕上	溶融亜鉛メッキ鋼板
見込	60
ガラス等	強化ガラス t5.0
金物	取付金物一式
改修内容	撤去

番号	使用箇所	数量	1
----	------	----	---

<b>■ 建具記号</b> DC ドアクローザ    FB フランス落し TH 丁番            OB 押棒 LH レバーハンドル   PD シリンダー錠 ND 握玉            C 空錠 MH 面付ハンドル    G ガラリ	<b>■ 特記事項</b>	<b>■ 備考</b>
形式		
材質・仕上		
見込		
ガラス等		
金物		
改修内容		

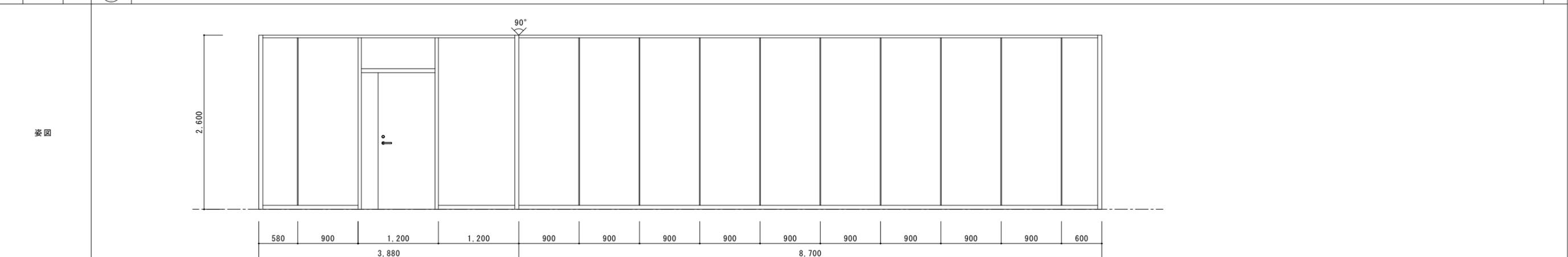
<b>■ 建具記号</b> 材種  番号		<b>■ 特記事項</b> ・建具寸法は近似値を示すものとする。 ・壁面を傷つける恐れのある箇所には、戸当たりを取り付ける。 ・ストッパーは、引渡時にはフリーの状態にすること。 ・特記無き新設SD・LSDの扉鋼板厚はSDはt=1.6、LSDはt=0.6以上とする。 ・既存建具再利用のものは、全てクリーニングを見込む。		<b>■ 備考</b>	
<b>■ 略号</b> DC ドアクローザ    FB フランス落し TH 丁番            OB 押棒 LH レバーハンドル   PD シリンダー錠 ND 握玉            C 空錠 MH 面付ハンドル    G ガラリ					

番号	使用箇所	数量	 撤去 仮眠室1	1
----	------	----	--	---



形式	スチールパーテーション
材質・仕上	溶融亜鉛メッキ鋼板
見込	60
ガラス等	—
金物	取付金物一式
改修内容	撤去

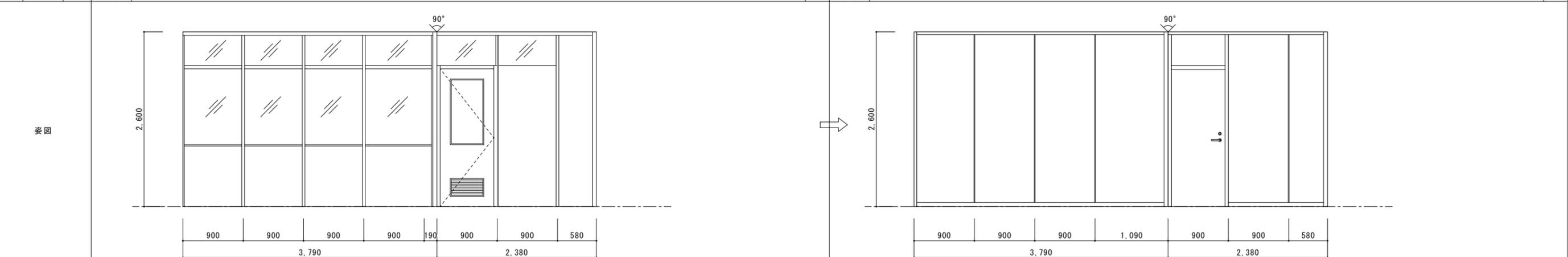
番号	使用箇所	数量	 新設 仮眠室1	1
----	------	----	--	---



形式	スチールパーテーション
材質・仕上	溶融亜鉛メッキ鋼板
見込	60
ガラス等	—
金物	DC、TH、LH、PD、戸当り、取付金物一式
改修内容	新設 穴あけ加工：1箇所（電気スイッチ用）

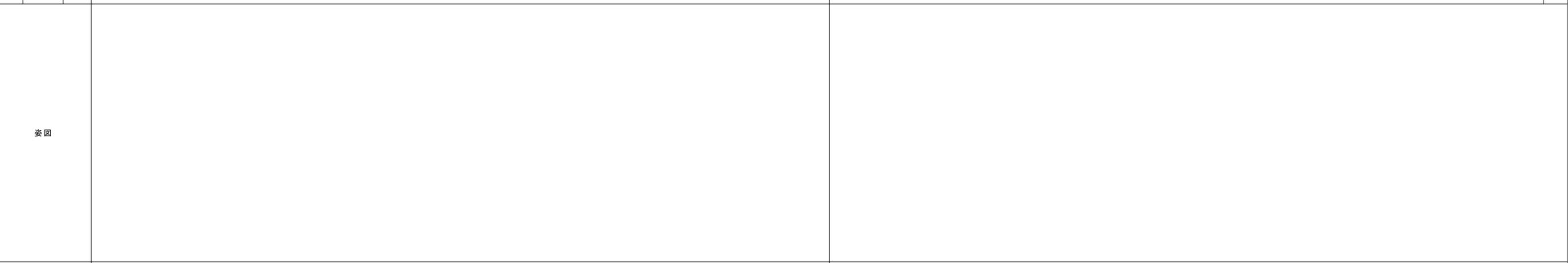
<b>■ 建具記号</b> 材種  番号 <b>■ 略号</b> DC ドアクローザ    FB フランス落し TH 丁番            OB 押棒 LH レバーハンドル   PD シリンダー錠 ND 握玉            C 空錠 MH 面付ハンドル    G ガラリ		<b>■ 特記事項</b> ・建具寸法は近似値を示すものとする。 ・壁面を傷つける恐れのある箇所には、戸当たりを取り付ける。 ・ストッパーは、引渡時にはフリーの状態にすること。 ・特記無き新設SD・LSDの扉鋼板厚はSDはt=1.6、LSDはt=0.6以上とする。 ・既存建具再利用のものは、全てクリーニングを見込む。		<b>■ 備考</b>	
--	--	--	--	-------------	--

番号	使用箇所	数量	 撤去 データ入力室	1	 新設 女子仮眠室	1
----	------	----	--	---	---	---



形式	スチールパーテーション	形式	スチールパーテーション
材質・仕上	溶融亜鉛メッキ鋼板	材質・仕上	溶融亜鉛メッキ鋼板
見込	60	見込	60
ガラス等	強化ガラス t5.0	ガラス等	—
金物	取付金物一式	金物	DC、TH、LH、表示錠、戸当たり、取付金物一式
改修内容	撤去	改修内容	新設 穴あけ加工：1箇所（電気スイッチ用）

番号	使用箇所	数量		1
----	------	----	--	---



形式		形式	
材質・仕上		材質・仕上	
見込		見込	
ガラス等		ガラス等	
金物		金物	
改修内容		改修内容	

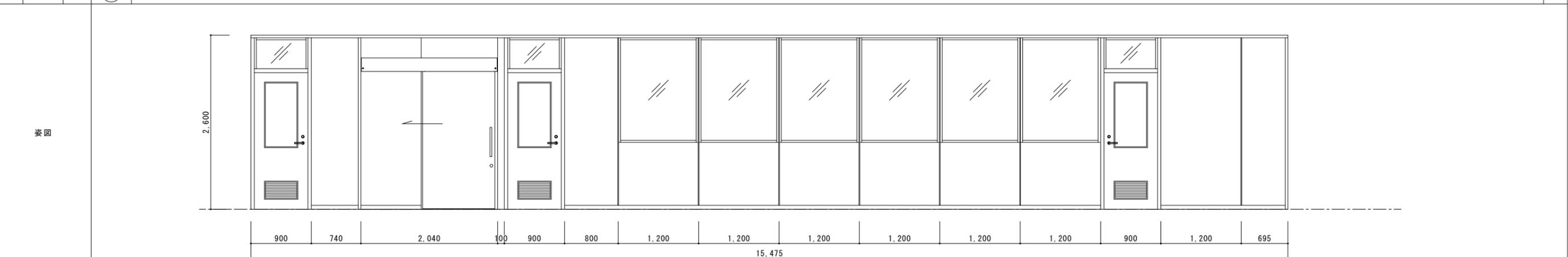
<b>■ 建具記号</b> 材種  <b>■ 略号</b> DC ドアクローザ    FB フランス落し TH 丁番            OB 押棒 LH レバーハンドル   PD シリンダー錠 ND 握玉            C 空錠 MH 面付ハンドル   G ガラリ	<b>■ 特記事項</b> ・建具寸法は近似値を示すものとする。 ・壁面を傷つける恐れのある箇所には、戸当たりを取り付ける。 ・ストッパーは、引渡時にはフリーの状態にすること。 ・特記無き新設SD・LSDの扉鋼板厚はSDはt=1.6、LSDはt=0.6以上とする。 ・既存建具再利用のものは、全てクリーニングを見込む。	<b>■ 備考</b>
--	--	-------------

番号	使用箇所	数量	撤去 通信事務室・防災対策室	1
----	------	----	-------------------	---

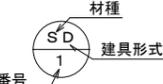


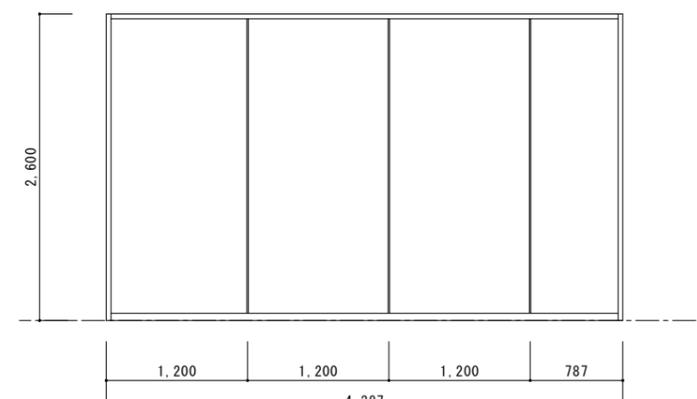
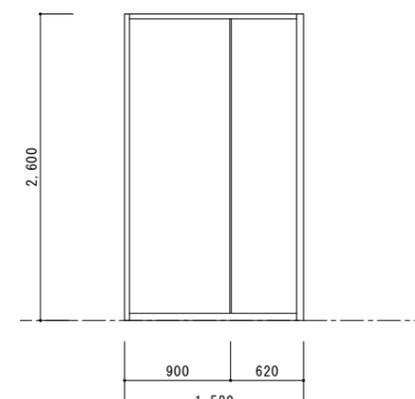
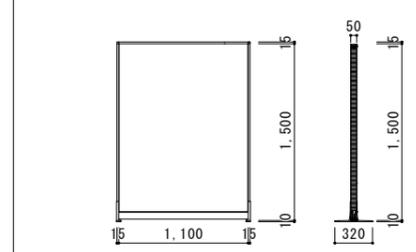
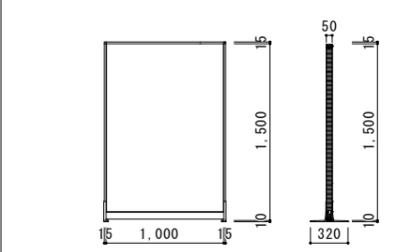
形式	スチールパーテーション
材質・仕上	溶融亜鉛メッキ鋼板
見込	60
ガラス等	強化ガラス t5.0
金物	取付金物一式
改修内容	撤去

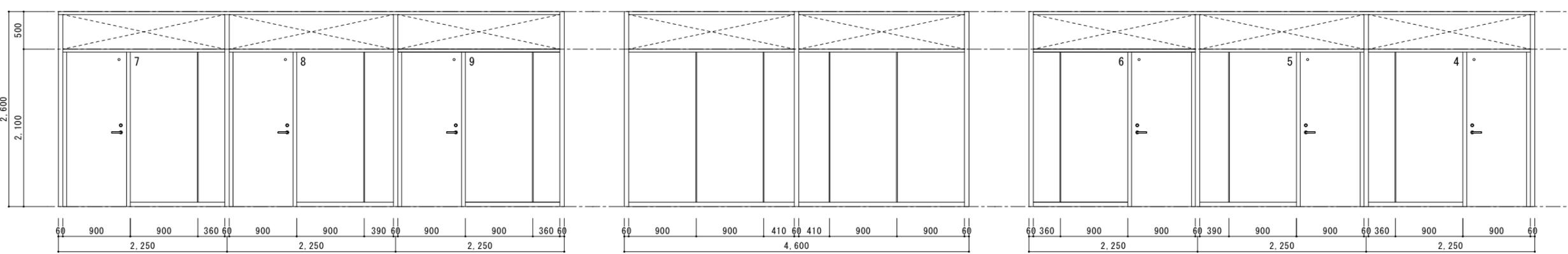
番号	使用箇所	数量	新設 通信事務室・仮眠室2・機械室	1
----	------	----	----------------------	---



形式	スチールパーテーション
材質・仕上	溶融亜鉛メッキ鋼板
見込	60
ガラス等	強化ガラス t5.0
金物	DC、TH、LH、引戸ハンドル、戸当り、取付金物一式取付金物一式、PD(通信事務室)、表示錠(仮眠室2)、電気錠(機械室)
改修内容	新設 穴あけ加工：2箇所(電気スイッチ用)

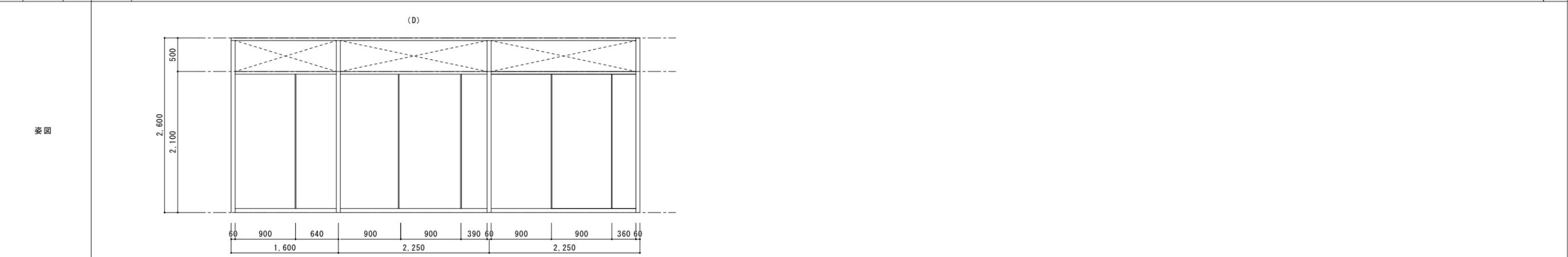
<b>■ 建具記号</b> 材種  番号		<b>■ 特記事項</b> ・建具寸法は近似値を示すものとする。 ・壁面を傷つける恐れのある箇所には、戸当たりを取り付ける。 ・ストッパーは、引渡時にはフリーの状態にすること。 ・特記無き新設SD・LSDの扉鋼板厚はSDはt=1.6、LSDはt=0.6以上とする。 ・既存建具再利用のものは、全てクリーニングを見込む。		<b>■ 備考</b>	
<b>■ 略号</b> DC ドアクローザ    FB フランス落とし TH 丁番                OB 押棒 LH レバーハンドル   PD シリンダー錠 ND 握玉                C 空錠 MH 面付ハンドル    G ガラリ					

番号	使用箇所	数量	新設	1	新設	1	新設	1	新設	1		
			仮眠室2		通信指令室		通信指令室		通信事務室			
姿図												
形式	スチールパーテーション			スチールパーテーション			ローパーテーション			ローパーテーション		
材質・仕上	溶融亜鉛メッキ鋼板			溶融亜鉛メッキ鋼板			両面クロス貼り平面パネル			両面クロス貼り平面パネル		
見込	60			60			50			50		
ガラス等	-			-			-			-		
金物	取付金物一式			取付金物一式			取付金物一式			取付金物一式		
改修内容	新設 穴あけ加工：1箇所（電気スイッチ用）			新設			新設			新設		

番号	使用箇所	数量	新設	1
			仮眠室2 個室ブース	
姿図				
形式	スチールパーテーション			
材質・仕上	溶融亜鉛メッキ鋼板			
見込	60			
ガラス等	-			
金物	DC、TH、LH、戸当り、表示錠、取付金物一式、明かり窓			
改修内容	新設 ブース番号：カッティングシート 穴あけ加工：3箇所（電気スイッチ用、コンセント用、照明用）※ブースごと			

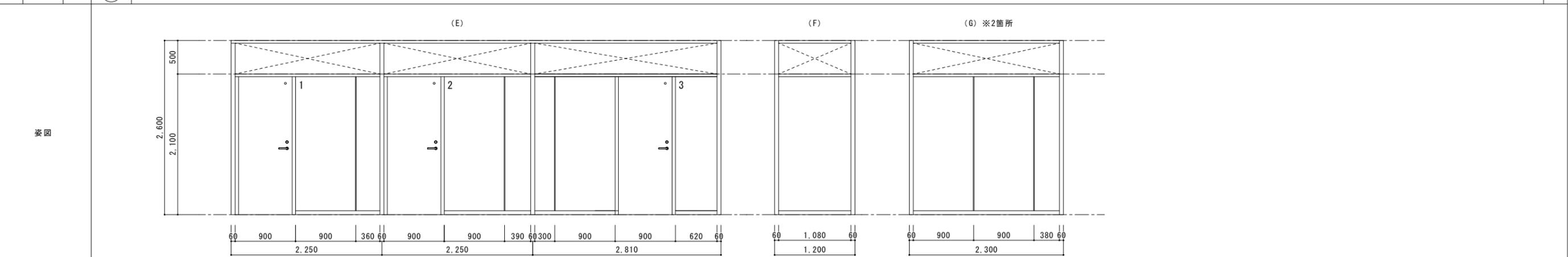
<b>■ 建具記号</b> 材種  番号 <b>■ 略号</b> DC ドアクローザ    FB フランス落し TH 丁番            OB 押棒 LH レバーハンドル   PD シリンダー錠 ND 握玉            C 空錠 MH 面付ハンドル    G ガラリ		<b>■ 特記事項</b> ・建具寸法は近似値を示すものとする。 ・壁面を傷つける恐れのある箇所には、戸当たりを取り付ける。 ・ストッパーは、引渡時にはフリーの状態にすること。 ・特記無き新設SD・LSDの扉鋼板厚はSDはt=1.6、LSDはt=0.6以上とする。 ・既存建具再利用のものは、全てクリーニングを見込む。		<b>■ 備考</b>	
--	--	--	--	-------------	--

番号	使用箇所	数量	 新設 仮眠室2 個室ブース	1
----	------	----	--	---

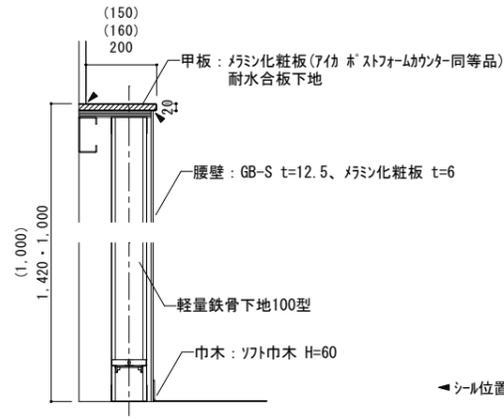


形式	スチールパーテーション
材質・仕上	溶融亜鉛メッキ鋼板
見込	60
ガラス等	—
金物	取付金物一式
改修内容	新設

番号	使用箇所	数量	 新設 仮眠室2 個室ブース	1
----	------	----	--	---

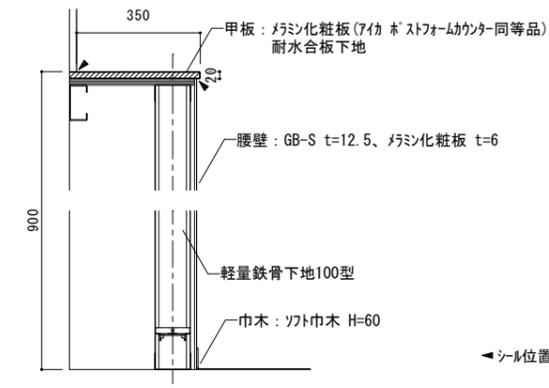


形式	スチールパーテーション
材質・仕上	溶融亜鉛メッキ鋼板
見込	60
ガラス等	—
金物	DC、TH、LH、戸当たり、表示錠、取付金物一式、明かり窓
改修内容	新設 ブース番号：カッティングシート 穴あけ加工：3箇所（電気スイッチ用、コンセント用、照明用）※ブースごと



- ・D150 洗面所
- ・D160 男子便所前室、女子便所
- ・D200 男子便所

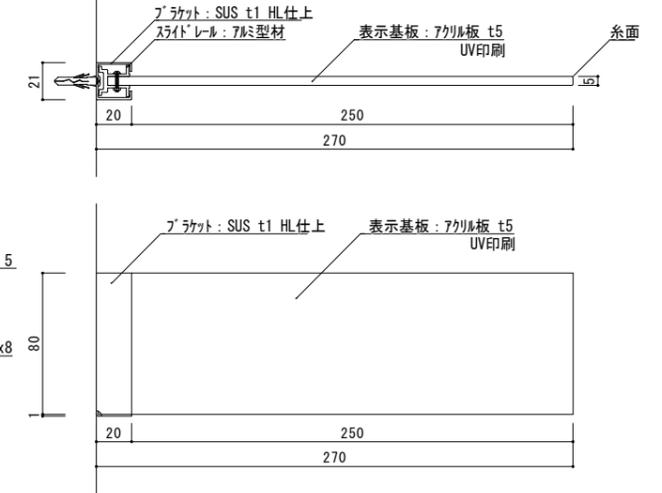
シール位置を示す



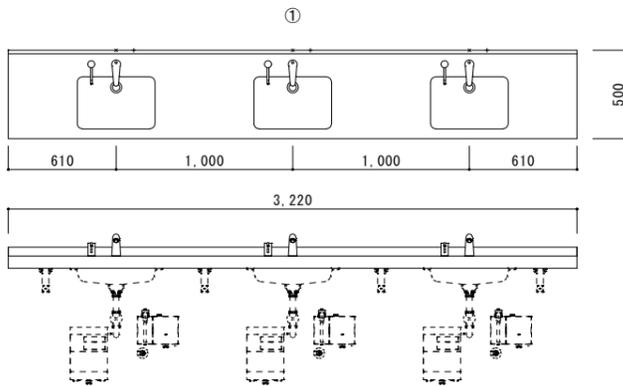
- ・D350 女子便所トイレブース

シール位置を示す

- SUSフレーム室名札 (フジタ FKY81 同等品) ...計4箇所
- ・通信事務室
- ・仮眠室 1
- ・仮眠室 2
- ・洗面所

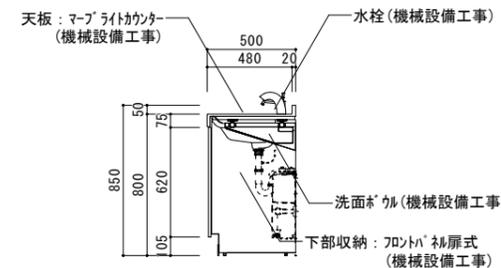
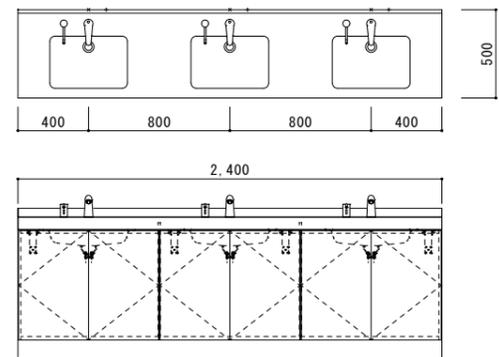
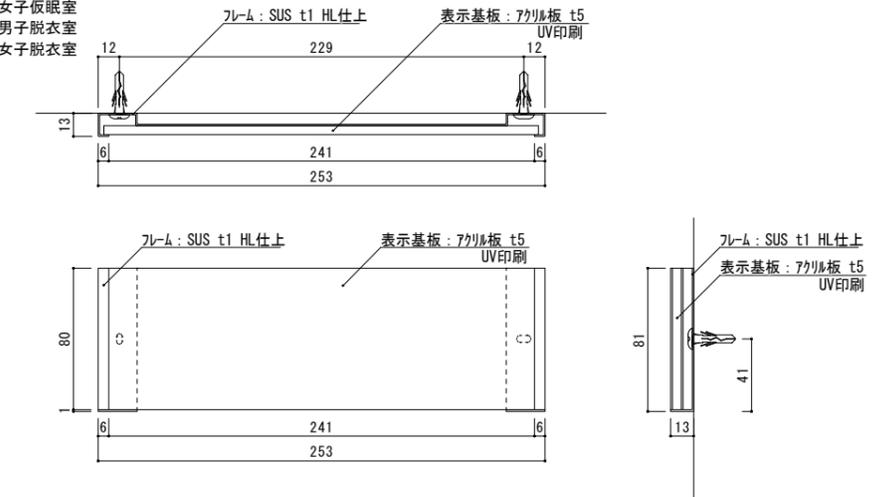


※取付ビス位置



- ① 男子便所前室
- ② 女子便所

- SUSフレーム室名札 (フジタ FK81 同等品) ...計4箇所
- ・通信事務室
- ・女子仮眠室
- ・男子脱衣室
- ・女子脱衣室



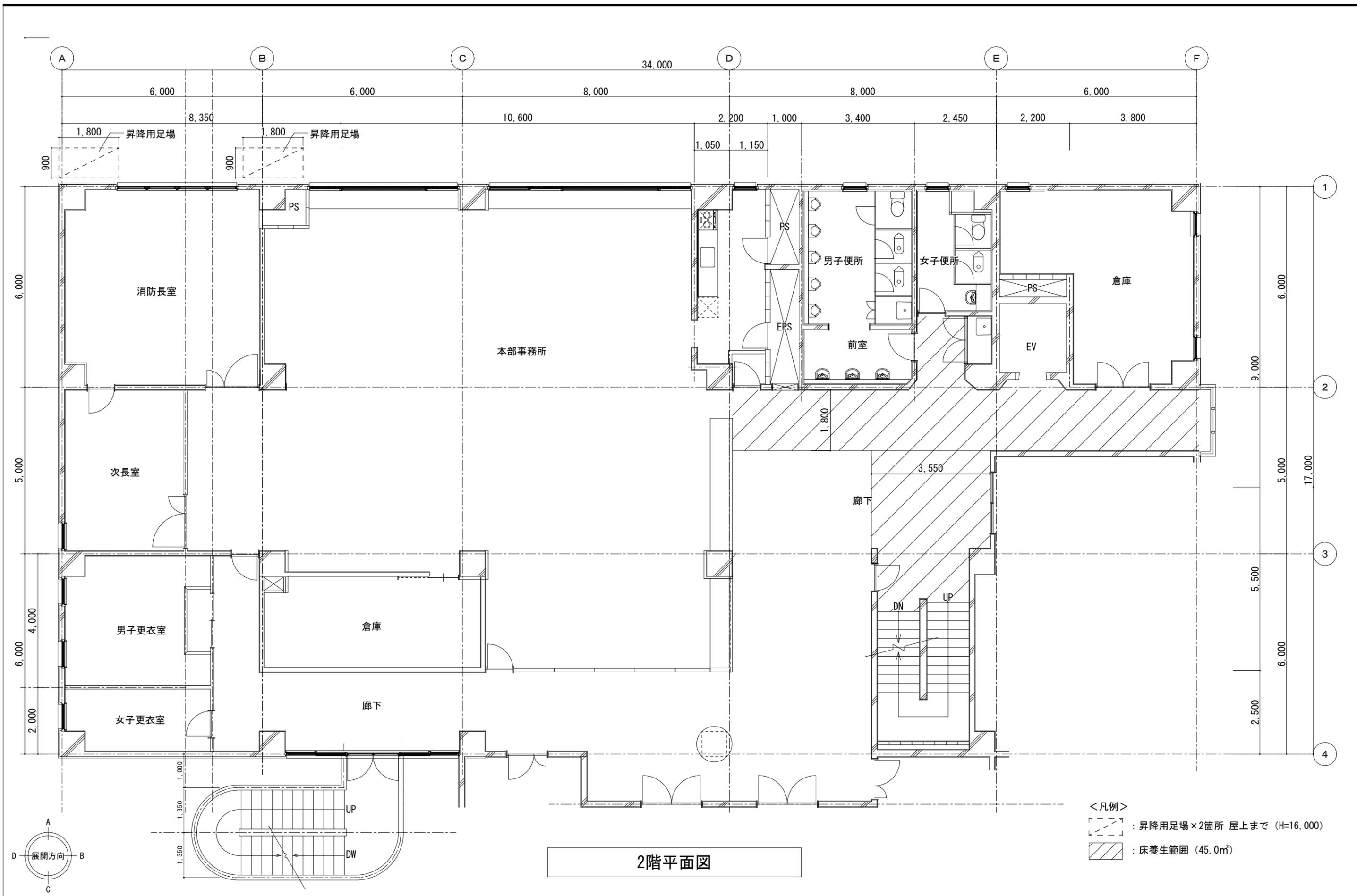
特記事項	変更事項	

**DNAC**  
DIGITAL NETWORK AND COMMUNICATION

**株式会社 ディナック 中日本**  
Design Room : 山梨県甲府市相生1-5-15-2F  
TEL: (055) 220-7400  
山梨県知事登録 第 1-031984 号  
一級建築士 第 217345 号 中込 秀

設計年月:	2025.03	工事名称	(仮称)山梨県国中消防共同指令センター整備工事
承認	中込 担当	作図	

図面名称	部分詳細図	縮尺	A1: 1/2, 1/10, 1/20 A3: 1/4, 1/20, 1/40	図面番号	A-35
------	-------	----	--	------	------



2階平面図

- <凡例>
- : 昇降用足場×2箇所 屋上まで (H=16,000)
  - : 床養生範囲 (45.0㎡)

特記事項	変更事項

**DNAC**  
DIGITAL NETWORK AND COMMUNICATION

株式会社 **ディナック** 中日本  
Design Room: 山梨県甲府市相生1-5-15-2F  
TEL: (055) 220-7400  
山梨県知事登録第 1-031984 号  
一般建築士 第 217345 号 中込 秀

設計年月: 2025.03

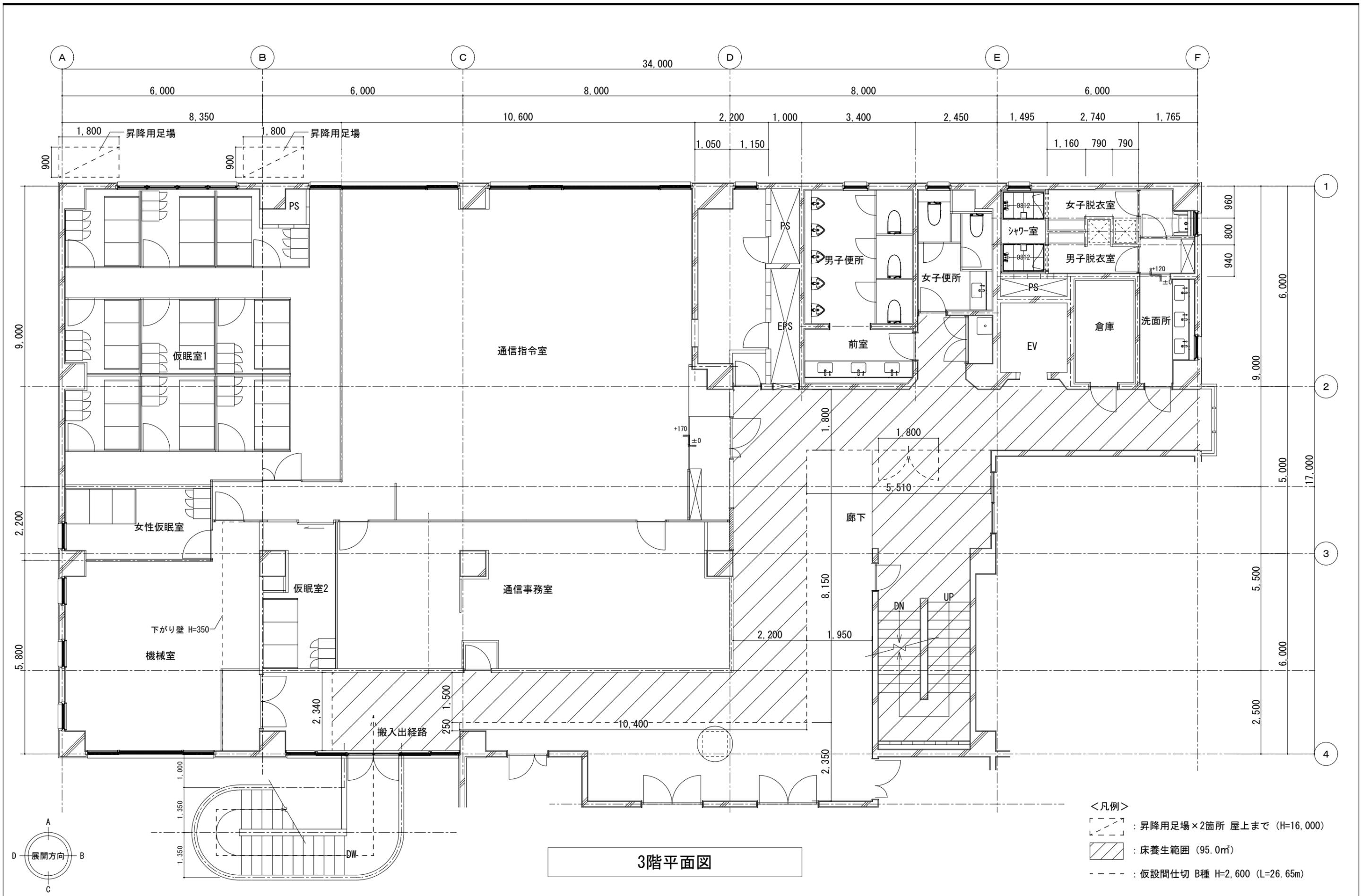
承認 中込 担当 作図

工事名称  
(仮称)山梨県中消防共同指令センター整備工事

図面名称  
2階仮設計計画図

縮尺  
A1: 1/50  
A3: 1/100

図面番号  
A-36



3階平面図

- <凡例>
- : 昇降用足場×2箇所 屋上まで (H=16,000)
  - : 床養生範囲 (95.0㎡)
  - : 仮設間仕切 B種 H=2,600 (L=26.65m)

特 記 事 項	変 更 事 項	 <b>株式会社 ディナック 中日本</b> <small>Design Room : 山梨県甲府市相生1-5-15-2F          TEL : (055) 220-7400          山梨県知事登録第 1-031984 号          一般建築士 第 217345 号 中込 秀</small>	設計年月 : 2025.03	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
			承認 中込 担当 作図	(仮称) 山梨県中消防共同指令センター整備工事	3階仮設計計画図	A1 : 1/50 A3 : 1/100	A-37